

Hitachi Command Suite

Compute Systems Manager

メッセージ

3021-9-100-A0

対象製品

Hitachi Compute Systems Manager 8.5.0

適用 OS の詳細については「ソフトウェア添付資料」でご確認ください。

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

HITACHI, BladeSymphony, HiRDB, JP1, ServerConductor は、株式会社日立製作所の商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft .NET は、お客様、情報、システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

Red Hat は、米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。

RSA および BSAFE は、米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SUSE は、米国およびその他の国における SUSE LLC の登録商標または商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

Hitachi Compute Systems Manager には、日本電気株式会社が著作権を有している部分が含まれています。

Hitachi Compute Systems Manager は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE[®] ソフトウェアを搭載しています。

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from <ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (<http://www.modssl.org/>).

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>).

This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://java.apache.org/>).

This product includes software developed by Andy Clark.

Java is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

HITACHI
Inspire the Next

株式会社 日立製作所



発行

2016年10月 3021-9-100-A0

著作権

All Rights Reserved. Copyright © 2014, 2016, Hitachi, Ltd.

目次

はじめに.....	9
対象読者.....	10
マニュアルの構成.....	10
マイクロソフト製品の表記について.....	10
このマニュアルで使用している記号.....	10
1. メッセージおよびアラートの概要.....	13
1.1 メッセージおよびアラートの構成.....	14
1.2 メッセージ ID およびアラート ID の形式と種類.....	14
2. KASV で始まるメッセージ.....	17
2.1 KASV00000~KASV09999.....	18
2.2 KASV10000~KASV19999.....	73
2.3 KASV20000~KASV29999.....	98
2.4 KASV30000~KASV39999.....	124
2.5 KASV40000~KASV49999.....	207
2.6 KASV50000~KASV59999.....	215
2.7 KASV70000~KASV79999.....	245
3. Compute Systems Manager が出力するアラート.....	251
3.1 0x0000~0x12FF.....	252
付録 A このマニュアルの参考情報.....	255
A.1 関連マニュアル.....	256
A.2 このマニュアルでの表記.....	256
A.3 英略語.....	256
A.4 KB（キロバイト）などの単位表記について.....	257



表目次

表 1-1 メッセージ ID およびアラート ID と対応する機能.....	14
表 2-1 KASV00000~KASV09999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ.....	18
表 2-2 KASV10000~KASV19999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ.....	73
表 2-3 KASV20000~KASV29999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ.....	98
表 2-4 KASV30000~KASV39999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ.....	124
表 2-5 KASV40000~KASV49999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ.....	207
表 2-6 KASV50000~KASV59999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ.....	215
表 2-7 KASV70000~KASV79999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ.....	245
表 3-1 0x0000~0x12FF : Compute Systems Manager が出力するアラート.....	252



はじめに

このマニュアルは、Hitachi Compute Systems Manager が出力するメッセージ、アラート、およびエラー状態を解消するために推奨する対処について説明したものです。

以降、このマニュアルでは、Hitachi Compute Systems Manager を Compute Systems Manager または HCSM と呼びます。

- 対象読者
- マニュアルの構成
- マイクロソフト製品の表記について
- このマニュアルで使用している記号

対象読者

このマニュアルは、次の方を対象としています。

- Compute Systems Manager を使用したサーバ管理システムを構築するシステム管理者の方
- Compute Systems Manager を使用してサーバを運用および管理するサーバ管理者の方

前提 OS に関する基本的な知識があることを前提としています。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

1. メッセージおよびアラートの概要

メッセージおよびアラートの形式と種類について説明しています。

2. KASV で始まるメッセージ

Compute Systems Manager に関するメッセージについて説明しています。

3. Compute Systems Manager が出力するアラート

Compute Systems Manager が出力するアラートについて説明しています。

付録 A. このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明しています。

マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記	製品名
.NET Framework	Microsoft® .NET Framework
IIS	Microsoft® Internet Information Services
Windows	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">• Microsoft® Windows® 7• Windows® 8• Windows® 8.1• Windows® 10• Microsoft® Windows Server® 2008• Microsoft® Windows Server® 2008 R2• Microsoft® Windows Server® 2012• Microsoft® Windows Server® 2012 R2• Microsoft® Windows Vista®
Windows Installer	Microsoft® Windows® Installer

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、次に示す記号を用いて特記事項を説明します。

記号	意味
	複数の項目に対して項目間の区切りを示し、「または」の意味を示します。

記号	意味
(ストローク)	(例) 「A B C」は、「A, B, または C」を示します。
{ } (波括弧)	この記号で囲まれている複数の項目の中から、必ず一組の項目を選択します。項目と項目の区切りは「 」で示します。 (例) 「{A B C}」は、「A, B, または C のどれかを必ず指定する」ことを示します。
[] (角括弧)	GUI 操作の説明 メニュータイトル, メニュー項目, およびボタンの名称を示します。メニュー項目を連続して選択する場合は, [] を「-」(ハイフン) でつないで説明しています。 キー操作の説明 キーの名称を示します。
< > (山括弧)	可変値であることを示します。

メッセージおよびアラートの概要

この章では、メッセージおよびアラートの形式と種類について説明します。

- 1.1 メッセージおよびアラートの構成
- 1.2 メッセージ ID およびアラート ID の形式と種類

1.1 メッセージおよびアラートの構成

Compute Systems Manager のメッセージは、メッセージ ID とメッセージテキストから構成されます。

また、Compute Systems Manager のアラートは、アラート ID、アラートレベル、アラートテキストから構成されます。

1.2 メッセージ ID およびアラート ID の形式と種類

メッセージ ID とアラート ID の形式を次に示します。

メッセージ ID

KASVnnnnn-Z

アラート ID

nxnnnn

n は 16 進数の値を表します。

メッセージ ID は次の要素から構成されます。

KASV

Compute Systems Manager のメッセージであることを示します。

nnnnn

メッセージの通し番号を示します。

Z

メッセージの種類を示します。メッセージの種類と意味を次に示します。

I (Information) ユーザーに情報を通知するメッセージです。

W (Warning) 処理は続行されますが、制限があることをユーザーに通知するメッセージです。

E (Error) 処理が続行できないエラーをユーザーに通知するメッセージです。

メッセージ ID およびアラート ID と対応する機能を次の表に示します。

表 1-1 メッセージ ID およびアラート ID と対応する機能

メッセージ ID またはアラート ID	説明
0x0000~0x12FF	SNMP トラップ、性能監視、および N+M 構成変更に関するアラート
KASV00000~ KASV34999	GUI, CLI, およびサーバに関するメッセージ
KASV35000~ KASV37999	インストーラーに関するメッセージ
KASV40000~ KASV59999	GUI およびサーバに関するメッセージ
KASV70000~ KASV79999	インストーラーに関するメッセージ

推奨する対処を 2 章以降で説明します。対処に「障害対応窓口に連絡してください。」と記載されているメッセージが出力された場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。マニュアル「Hitachi Command Suite Compute Systems Manager 導入・設定ガイド」を参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

KASV 以外で始まるメッセージについては、マニュアル「*Hitachi Command Suite* メッセージ」を参照してください。

KASV で始まるメッセージ

この章では、Compute Systems Manager に関するメッセージについて説明します。

- 2.1 KASV00000～KASV09999
- 2.2 KASV10000～KASV19999
- 2.3 KASV20000～KASV29999
- 2.4 KASV30000～KASV39999
- 2.5 KASV40000～KASV49999
- 2.6 KASV50000～KASV59999
- 2.7 KASV70000～KASV79999

2.1 KASV00000～KASV09999

Compute Systems Manager に関するメッセージ (KASV00000～KASV09999) を次の表に示します。

表 2-1 KASV00000～KASV09999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV00000-E	指定したパスワードに誤りがあります。(詳細=<詳細情報>)	要因 - 対処 正しいパスワードを指定してください。
KASV00001-E	無効なユーザー ID が指定されています。(ユーザー ID=<ユーザー ID>, 詳細=<詳細情報>)	要因 - 対処 正しいユーザー ID を指定してください。
KASV00003-E	ユーザー情報が見つかりません。(ユーザー ID = <ユーザー ID >)	要因 - 対処 いったん操作を終了し、ユーザーの状態を確認してください。
KASV00004-E	サーバが起動していません。	要因 - 対処 サーバの状態を確認してください。(保守情報:<保守情報>)
KASV00013-I	<製品名>に対するライセンスキーファイルがありません。	要因 - 対処 ライセンスが未登録の状態では処理を続けます。
KASV00018-E	データベースからデータを取得できませんでした。	要因 データベースが正常に動作していません。 対処 データベースと Compute Systems Manager サーバを再起動してから操作し直してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00019-E	サーバと通信できませんでした。(保守情報 : <保守情報>)	要因 - 対処 再実行してください。問題が継続している場合は、次の対策を実施してください。 1. Compute Systems Manager サーバを再起動する。 2. Hitachi Command Suite 共通コンポーネントが別マシンにある場合はそれを再起動する。 それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00020-E	外部認証サーバとの通信に失敗したため、ユーザーを認証できません。	要因 - 対処 外部認証サーバとの通信が正常であることを確認したあと、再度ログインしてください。問題が継続している場合は、次の対策を実施してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>1. Compute Systems Manager サーバを再起動する。</p> <p>2. Hitachi Command Suite 共通コンポーネントが別マシンにある場合はそれを再起動する。</p> <p>それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV00021-E	指定したユーザー ID、パスワードではログインできません。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>ユーザー ID とパスワードが正しいことを確認し、割り当てられているリソースグループとロールが適切であることをシステム管理者に確認してください。</p>
KASV00023-E	ユーザー (<ユーザー ID >) は登録されていません。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>正しいユーザー ID を指定してください。</p>
KASV00024-E	タスク (<タスク名 >) に対応するプランが見つかりません。	<p>要因</p> <p>プランが削除されたおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>いったん操作を終了し、タスクの状態を確認してください。</p>
KASV00025-E	タスクが見つかりません。	<p>要因</p> <p>タスクが削除されたおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>いったん操作を終了し、タスクの状態を確認してください。</p>
KASV00026-E	検索条件 (<検索条件名 >) が削除されているため、編集できません。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>検索条件をクリアしてください。</p>
KASV00027-E	指定したタスク名はすでに使用されているため、タスクを登録できません。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>タスク名を変更してください。</p>
KASV00028-E	予期しないエラーが発生しました。	<p>要因</p> <p>内部エラーのおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV00029-E	サーバと通信できません。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>再実行してください。問題が継続している場合は、次の対策を実施してください。</p> <p>1. Compute Systems Manager サーバを再起動する。</p> <p>2. Hitachi Command Suite 共通コンポーネントが別マシンにある場合はそれを再起動する。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00030-W	設定内容を保存できませんでした。	要因 - 対処 再実行してください。問題が継続している場合は、次の対策を実施してください。 1. Compute Systems Manager サーバを再起動する。 2. Hitachi Command Suite 共通コンポーネントが別マシンにある場合はそれを再起動する。 それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00031-E	セッションの有効期限が切れました。	要因 - 対処 ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00032-E	グローバルモニタリングエリアのデータを取得できませんでした。(保守情報=<保守情報>)	要因 環境が正しくありません。 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00033-E	製品の一部としてインストールされているファイル "<ファイル名>" が見つかりません。	要因 インストールディレクトリが不整合になっているおそれがあります。 対処 上書きインストールをしてください。
KASV00034-E	内部エラーが発生しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00035-E	製品の内部ファイル"<ファイル名>"へのアクセスでエラーが発生しました(操作名 "<操作名>")。	要因 インストールディレクトリが不整合になっているか、または管理サーバプロセスが正しい権限で起動されていないことが考えられます。 対処 プロセスの実行権限を確認してください。製品の内部ファイルがない、または壊れていると思われる場合は、製品を上書きインストールしてください。
KASV00036-E	セッションが無効です。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		サーバが起動していることを確認し、再度ログインしてください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00037-I	アプリケーションを起動しています。 (保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00038-E	アプリケーションを起動できません。 (保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 アプリケーションを再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合は、 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV00039-I	アプリケーションが正常に終了しました。	要因 - 対処 -
KASV00058-I	サーバとの接続状態をテストします。 (試行した回数: <試行した回数>, 試行する最大回数: <試行する最大回数>, 接続名: <接続名>)	要因 - 対処 -
KASV00059-E	サーバとの接続テストができません。 (接続名: <接続名>)	要因 - 対処 各種サービスの稼働状態を確認してください。
KASV00060-I	サーバとの接続テストに成功しました。 (接続名: <接続名>)	要因 - 対処 -
KASV00061-E	データを取得できませんでした。(保守情報=<保守情報>)	要因 環境が正しくありません。 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV00062-E	データ構造を取得できませんでした。 (保守情報=<保守情報>)	要因 環境が正しくありません。 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV00063-E	ユーザーの設定情報を保存できませんでした。(ユーザー名=<ユーザー名>, 保守情報=<保守情報>)	要因 環境が正しくありません。 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00064-E	タスクを履歴へ移動できませんでした。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 タスクが履歴タブにあることを確認してください。ない場合は、再実行してください。
KASV00065-E	予期しないエラーが発生しました。(<詳細情報>)	要因 - 対処 再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00066-E	タスクのスケジュールを変更できませんでした。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00067-E	子ノードの情報を取得できませんでした。(ノード名=<ノード名>)	要因 環境が正しくありません。 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00068-E	ルートノードの情報を取得できませんでした。(ノード名=<ノード名>)	要因 環境が正しくありません。 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00069-E	予期しないエラーが発生しました。	要因 - 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00071-E	指定したユーザーを認証できません。	要因 ユーザー ID が登録されていないか、またはパスワードに誤りがあります。(ユーザー ID=<ユーザー ID>) 対処 ユーザー ID およびパスワードを確認してください。
KASV00072-E	指定したプロパティを読み込めません。(プロパティ名=<プロパティ名>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV00073-E	指定したテーブルを読み込めません。(テーブル名=<テーブル名>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV00074-E	データベースへのアクセス中にエラーが発生しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00076-E	パスワードを変更できませんでした。(ユーザー ID=<ユーザー ID>)	要因 - 対処 いったん操作を終了し、ユーザーの状態を確認してください。
KASV00080-E	ユーザーの設定情報を削除できませんでした。(ユーザー ID=<ユーザー ID セット>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV00081-E	アプリケーション (<アプリケーション名>) に対する権限を持つユーザーの情報を取得できませんでした。	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV00082-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。(ユーザー ID=<ユーザー ID >)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV00083-E	ユーザー権限の情報を取得できませんでした。(ユーザー ID=<ユーザー ID >)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV00084-E	サーバのサービスにアクセスできません。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。
KASV00085-E	認証サービスにアクセスできません。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00086-E	サーバ API を実行できません。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。
KASV00088-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。(グループ名=<グループ名>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV00093-E	認証サービスにアクセスできません。	要因 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。(保守情報=<保守情報>)</p>
KASV00096-E	ユーザーの設定情報を削除できませんでした。(ユーザー ID=<ユーザー ID セット>)	<p>要因 -</p> <p>対処 いったん操作を終了し、ユーザーの状態を確認してください。</p>
KASV00097-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。(ユーザー ID=<ユーザー ID >)	<p>要因 -</p> <p>対処 いったん操作を終了し、ユーザーの状態を確認してください。</p>
KASV00098-E	ユーザー権限の情報を取得できませんでした。(ユーザー ID=<ユーザー ID >)	<p>要因 -</p> <p>対処 いったん操作を終了し、ユーザーの状態を確認してください。</p>
KASV00101-E	ユーザーの情報が見つかりません。(ユーザー ID=<ユーザー ID >)	<p>要因 ユーザーはすでに削除されています。</p> <p>対処 いったん操作を終了し、ユーザーの状態を確認してください。</p>
KASV00103-E	パスワードに誤りがあります。(詳細=<詳細>)	<p>要因 -</p> <p>対処 正しいパスワードを指定してください。</p>
KASV00104-E	指定したユーザー ID は無効です。(ユーザー ID=<ユーザー ID >, 詳細=<詳細情報>)	<p>要因 -</p> <p>対処 正しいユーザー ID を指定してください。</p>
KASV00105-I	アプリケーションの起動に成功しました。(保守情報: <保守情報>)	<p>要因 -</p> <p>対処 -</p>
KASV00106-I	アプリケーションの終了を開始しました。	<p>要因 -</p> <p>対処 -</p>
KASV00107-E	ユーザーの設定情報を保存できません。(ユーザー名=<ユーザー ID >, 保守情報=<保守情報>)	<p>要因 環境が正しくありません。</p> <p>対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV00108-E	ユーザー (<ユーザー ID >) は登録されていません。	<p>要因 -</p> <p>対処 正しいユーザー ID を指定してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV00109-E	リストへのフィルターの反映ができません。	要因 フィルター条件が多過ぎます。 対処 フィルターの条件数, または条件の値を短く設定してください。
KASV00110-W	この SNMP 設定のアラート ID は, (<関連するデータ>) から参照されています。	要因 - 対処 アラート ID を変更する場合は, スクリプトコマンドの設定でも同じアラート ID を使用するように変更してください。SNMP トラップを追加する場合は, そのトラップをスクリプトコマンドの起動条件にして問題ないことを確認してください。
KASV00111-W	選択した SNMP 設定のアラート ID は, スクリプトコマンドから参照されています。	要因 - 対処 この SNMP 設定を削除してよいか確認してください。
KASV00112-W	このリソースは, (<関連するデータ>) から参照されています。	要因 - 対処 リソースを削除すると, タスクやスクリプトコマンドはそのリソースに対して動作しなくなります。削除してよいか確認してください。また, 動作しなくなったタスクやスクリプトコマンドは削除してください。
KASV00113-W	このリソースは, (<関連するデータ>) からすでに参照されています。	要因 - 対処 リソースを管理対象外にすると, タスクやスクリプトコマンドはそのリソースに対して動作しなくなります。管理対象外にしてよいか確認してください。また, 動作しなくなったタスクやスクリプトコマンドは削除してください。
KASV00118-E	設定名(<IP アドレス範囲の設定名>)はすでに使用されています。	要因 - 対処 異なる設定名を指定してください。
KASV00122-W	この<BMC>設定は, <原因となったデータ>のデータから参照されています。	要因 - 対処 設定に誤りがある場合, タスクが失敗したり, タスクの登録時とは異なる管理対象の電源 ON が行われたりするので, 十分注意して変更してください。
KASV00123-E	この<BMC>設定は, <原因となったデータ>から参照されています。	要因 - 対処 タスクを削除するか, またはタスク状態が変わってから再実行してください。
KASV00124-W	この IPMI 認証情報は, <原因となったデータ>から参照されています。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		設定に誤りがある場合、管理対象との通信は失敗するため、十分注意して認証情報を変更してください。
KASV00125-E	この IPMI 認証情報は、<原因となったデータ>から参照されているため、編集できません。	要因 - 対処 タスクをキャンセルするか、タスク状態が変わるのを待ってから再度実行してください。
KASV00126-E	このリソースは、<関連するデータ>から利用されているため、削除できません。	要因 - 対処 タスクをキャンセルするか、タスク状態が変わるのを待ってから再実行してください。
KASV00127-E	このリソースは、<関連するデータ>から利用されているため、管理対象外にできません。	要因 - 対処 タスクをキャンセルするか、タスク状態が変わるのを待ってから再実行してください。
KASV00128-W	解決済みでないアラートを削除しようとしています。	要因 - 対処 削除してよいことを確認してください。
KASV00129-E	アラート情報が不正です。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00130-E	管理対象ホストがありません。	要因 - 対処 ホストが管理対象になっていることを確認してください。
KASV00132-W	アラート ID と SNMP トラップの関係を変更すると、変更前に受信済みの SNMP トラップと、変更後に受信する SNMP トラップとの間でアラート ID の一貫性がなくなります。	要因 - 対処 -
KASV00133-W	この SNMP 設定を削除すると、これまでその設定でアラートとして管理していた SNMP トラップを受信できなくなります。	要因 - 対処 -
KASV00134-I	アプリケーションの起動に成功しました。	要因 - 対処 -
KASV00135-E	アプリケーションを起動できません。	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバを起動してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00136-I	アプリケーションの終了に成功しました。	要因 - 対処 -
KASV00137-W	この IPMI 認証情報は、<原因となったデータ>から参照されています。	要因 実行中または実行待ちタスク、または BMC 設定が IPMI 認証情報を参照しています。 対処 この IPMI 認証情報を参照しているデータを見直してください。
KASV00138-E	この IPMI 認証情報は、<原因となったデータ>から参照されているため、削除できません。	要因 - 対処 タスクのキャンセルまたは削除を実行するか、またはタスク状態が変わるのを待ってから再実行してください。IPMI 認証情報が BMC 設定から参照されている場合は、該当する BMC 設定側も見直してください。
KASV00140-E	指定した IP アドレス(<IP アドレス>)はすでに BMC 設定で使われています。	要因 - 対処 異なる IP アドレスを指定してください。
KASV00141-E	入力した認証情報名 (<認証情報名>)は、探索で使用される認証情報と同じ名称です。	要因 - 対処 異なる認証情報名を指定してください。
KASV00142-E	入力した認証情報名(<認証情報名>)は、BMC アドレス設定で使用されている認証情報と同じ名称です。	要因 - 対処 異なる認証情報名を指定してください。
KASV00143-E	論理グループを作成できませんでした。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 いったん操作を終了し、サーバの状態を確認してください。
KASV00144-E	論理グループの条件をすべて削除できませんでした。(グループ名=<グループ名>)	要因 - 対処 再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00145-E	削除する条件がありません。(グループ名=<グループ名>)	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00146-E	指定した条件を満たすホストが見つかりません。(条件=<条件>)	要因 - 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00147-E	論理グループを削除できませんでした。(ユニークキー=<ユニークキー>)	要因 - 対処 いったん操作を終了し、論理グループの状態を確認してください。
KASV00148-E	論理グループを変更できませんでした。(パラメーター=<パラメーター>)	要因 - 対処 いったん操作を終了し、論理グループの状態を確認してください。
KASV00149-E	指定した論理グループ名はすでに作成されています。(グループ名=<グループ名>)	要因 - 対処 異なる論理グループ名を指定してください。
KASV00150-E	指定した論理グループが見つかりません。(保守情報=<保守情報>)	要因 論理グループが削除されたことが考えられます。 対処 いったん操作を終了し、論理グループが削除されていないことを確認してください。
KASV00151-E	選択したホストは、すでに削除されているか管理対象から外されています。	要因 - 対処 検索し直してください。
KASV00152-E	選択した論理グループは、すでに削除されています。	要因 - 対処 検索し直してください。
KASV00153-E	論理グループの階層が 32 を超えるため作成できません。(グループ名=<グループ名>)	要因 - 対処 別の論理グループを指定してください。
KASV00154-E	論理グループを変更できませんでした。	要因 - 対処 いったん操作を終了し、論理グループを確認してください。
KASV00158-E	この OID (<OID 値>) は別の SNMP 設定で使用されています。	要因 - 対処 異なる OID を指定してください。
KASV00159-W	この SNMP トラップは、SNMP 設定の中でアラート ID に関連づけられています。	要因 - 対処 SNMP トラップを削除すると、この SNMP トラップはアラートとして通知されなくなります。削除してよいか確認してください。また、SNMP

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		設定が不要となった場合は、SNMP 設定も削除してください。
KASV00160-E	Compute Systems Manager Web クライアントの内部エラーが発生しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00161-E	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントへのログインに失敗しました。いったんログアウトしてからログインし直してください。	要因 - 対処 -
KASV00162-I	スクリプトコマンドが実行されました。(コマンド名:<コマンド名>, コマンド:<コマンド>, 終了コード:<終了コード>)	要因 - 対処 -
KASV00163-E	スクリプトコマンドは実行されませんでした。(コマンド名:<コマンド名>)	要因 コマンドラインが長過ぎます。 対処 コマンドラインを短くしてください。
KASV00164-I	リクエスト [<操作名>] が正常に実行されました。	要因 - 対処 -
KASV00165-E	リクエスト [<操作名>] はできません。	要因 - 対処 このメッセージの直前のメッセージを参照して、エラー原因を取り除いたあと、再実行してください。
KASV00166-I	アラートを受信しました。(バージョン=<バージョン>, IP アドレス=<IP アドレス>, OID=<OID 値>)	要因 - 対処 -
KASV00167-E	Compute Systems Manager が使用するデータベースが閉塞しました。閉塞した部位は、Compute Systems Manager です。	要因 - 対処 サーバ管理者に連絡してください。
KASV00168-E	Compute Systems Manager が使用するデータベースが閉塞しました。閉塞した部位は、Hitachi Command Suite 共通コンポーネントです。	要因 - 対処 サーバ管理者に連絡してください。
KASV00169-E	選択したシャーシは、すでに削除されたか管理対象から外されています。	要因 - 対処 -
KASV00170-E	選択したブレードは、すでに削除されたか管理対象から外されています。	要因 - 対処 -
KASV00171-E	選択した<リソースタイプ>は、(<関連するデータ>)によって参照されています。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		タスクをキャンセルするか、またはタスク状態が変わってから再実行してください。
KASV00172-E	選択した<リソースタイプ>は、(<関連するデータ>)によって参照されています。	要因 - 対処 タスクをキャンセルするか、またはタスク状態が変わってから再実行してください。
KASV00173-E	管理対象のシャーシやサーバがありません。	要因 - 対処 シャーシやサーバが管理対象になっていることを確認してください。
KASV00174-E	管理対象のリソースがありません。	要因 - 対処 リソースが管理対象になっていることを確認してください。
KASV00175-E	<製品名>に対するプラグインライセンスが登録されていません。	要因 - 対処 <ライセンスタイプ>のライセンスキーまたはライセンスファイルを登録して、操作し直してください。
KASV00176-E	管理対象の数がライセンスで許される上限を超えています。	要因 - 対処 十分なリソース数を持つライセンスキーまたはライセンスファイルを登録して、操作し直してください。
KASV00177-W	非常ライセンスは、あと<日数>日間有効です。	要因 - 対処 -
KASV00178-W	一時ライセンスは、あと<日数>日間有効です。	要因 - 対処 -
KASV00179-E	管理対象の数がライセンスで許される上限を超えています。	要因 - 対処 -
KASV00180-I	管理対象の数がライセンスで許される上限に達しました。	要因 - 対処 -
KASV00181-W	指定した<リソースタイプ>は、(<関連するデータ>)によって参照されています。	要因 - 対処 タスクから参照されている場合は、そのタスクを削除するか、またはタスクが完了してから再実行してください。スクリプトコマンドから参照されている場合は、スクリプトコマンドからこのリソースを削除してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV00182-W	指定した<リソースタイプ>は、(<関連するデータ>)によって参照されています。	要因 - 対処 タスクから参照されている場合は、そのタスクを削除するか、またはタスクが完了してから再実行してください。スクリプトコマンドから参照されている場合は、スクリプトコマンドからこのリソースを削除してください。
KASV00183-E	この操作をサポートしていない<リソースタイプ>が選択されました。	要因 - 対処 -
KASV00184-I	このアラートに対応するトラブルシューティング情報はありません。	要因 - 対処 -
KASV00185-I	このブレードの BMC の IP アドレスが設定されていないか、またはサポート外の構成のため、KVM 通信ができません。	要因 - 対処 ブレードの BMC の IP アドレスが設定されていることを確認してください。未設定の場合は、シャーシの BladeSymphony Web コンソールで設定してください。
KASV00186-I	選択したリソースへの KVM 通信はできません。	要因 選択したリソースへの KVM 通信はサポートされていないか、管理データに不整合があります。 対処 サポート対象構成の場合にこのメッセージが表示されたときは、データに不整合があるおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00187-E	電源操作対象のブレードが N+M コールドスタンバイの実行中、または N+M コールドスタンバイに失敗した状態のため、処理を中止しました。	要因 切り替え状態がチェック中、切り替え中、または切り戻し中のブレードは、N+M コールドスタンバイの実行中のため、操作できません。切り替え状態が、切り替え失敗、または切り戻し失敗のブレードは、N+M コールドスタンバイに失敗した状態であるため、状態を回復しないと操作できません。切り替え状態が切り替え成功の場合、ホストは予備ブレードに移っているため、現用ブレードに対して電源を操作できません。 対処 N+M コールドスタンバイの実行中のブレードの場合は、実行が完了したあと、必要に応じてタスクを再実行してください。N+M コールドスタンバイに失敗した状態のブレードの場合は、切り替え状態を復旧したあと、必要に応じてタスクを再実行してください。現用ブレードの電源を操作する場合は、現用ブレードへの切り戻し、または予備ブレードを現用ブレードに変更してから、必要に応じてタスクを再実行してください。
KASV00188-E	N+M の切り替え処理ができません。	要因 タスク実行中に Compute Systems Manager が停止しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00189-I	現用ブレード（シャーシ名=<シャーシ名>、スロット番号=<スロット番号>）は切り替え済みの状態です。	要因 - 対処 -
KASV00190-E	データベースにアクセスできません。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消（1.と2.）と、回復および再実行（3.以降）をしてください。 1. データベースが起動していることを確認し、起動していない場合は、データベースを起動してください。 2. データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 3. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00191-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消（1.）と、回復および再実行（2.以降）をしてください。 1. ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 3. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00192-E	SVP との通信でタイムアウトが発生しました。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消（1.）と、回復および再実行（2.以降）をしてください。 1. ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 3. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV00193-E	<現用または予備>ブレードの電源 ON 抑止ができません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.と 2.) と、回復および再実行 (3.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00194-E	データベースにアクセスできません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.と 2.) と、回復および再実行 (3.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データベースが起動していることを確認し、起動していない場合は、起動してください。 2. データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 3. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00195-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 3. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00196-E	SVP との通信でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 3 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00197-E	現用ブレードと予備ブレードの構成情報が不一致です。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現用と予備のブレードの構成情報が一致していることを確認してください。 2 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 3 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00198-E	< Active or Standby >ブレードがシャットダウンできません。認証情報のユーザーの権限が不足しています。	<p>要因 認証情報の権限が不十分です。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 シャットダウンされるブレードの OS の管理者権限の認証情報を使用してください。 2 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 4 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00199-E	< Active or Standby >ブレードがシャットダウンできません。管理対象ホストと通信できません。	<p>要因 管理対象ホストまたはネットワークに問題があります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.と 2.) と、回復および再実行 (3.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2 管理対象ホストが Windows の場合、Compute Systems Manager サーバの DCOM が有効か確認してください。管理対象ホストが Linux の場合、通信ポートの設定を確認してください。 3 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>4. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。</p> <p>5. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。</p> <p>6. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。</p>
KASV00200-E	<現用または予備>ブレードがシャットダウンできません。	<p>要因 管理対象ホストまたはネットワークに問題があります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. シャットダウン失敗の原因が取り除けない場合は、解決のため、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00201-E	<現用または予備>ブレードのシャットダウンでタイムアウトが発生しました。	<p>要因 管理対象ホストかネットワークに問題があるおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Compute Systems Manager サーバと対象ブレードおよびホストとの通信、ポート設定に問題ないことを確認し、電源制御タスク完了までの待ち時間が短過ぎないか見直してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00202-E	<現用または予備>ブレードの電源 OFF ができません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 電源 OFF に失敗したブレードを電源 OFF にしてください。
KASV00203-E	<現用または予備>ブレードの電源 OFF でタイムアウトが発生しました。	要因 管理対象サーバかネットワークに問題があるおそれがあります。(保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。 1. ネットワーク, SVP, および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00204-E	<現用または予備>ブレードの構成情報が更新できません。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。 1. ネットワーク, ハードウェア, および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。操作手順が不明な場合は、障害対応窓口に連絡してください。 4. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 5. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 6. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00205-E	データベースにアクセスできません。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) を行ってください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> 1. データベースが起動していることを確認し、起動していない場合は、データベースを起動してください。 2. データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 3. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 4. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。操作手順が不明なときは、障害対応窓口に連絡してください。 5. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 6. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 7. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00206-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。操作手順が不明な場合は、障害対応窓口に連絡してください。 4. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 5. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 6. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。
KASV00207-E	SVP との通信でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。操作手順が不明な場合は、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>4. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。</p> <p>5. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。</p> <p>6. 手動で予備ブレードへの切り替えを実行してください。</p>
KASV00208-E	データベースにアクセスできません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.と 2.) と、回復および再実行 (3.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データベースが起動していることを確認し、起動していない場合は、データベースを起動してください。 2. データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 3. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 4. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。
KASV00209-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。
KASV00210-E	SVP との通信でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV00211-E	<現用または予備>ブレードの電源ONができません。	<p>要因 管理対象サーバまたはネットワークに問題があるおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消(1.と2.)と、回復および再実行(3.以降)をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 管理対象ホストに接続するための認証情報を確認してください。 3. 現用と予備のブレードの電源ON抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 4. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。
KASV00212-E	<現用または予備>ブレードの電源ONでタイムアウトが発生しました。	<p>要因 管理対象サーバまたはネットワークに問題があるおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消(1.)と、回復および再実行(2.以降)をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Compute Systems Manager サーバと対象ブレードおよびホストとの通信、ポート設定に問題ないことを確認し、電源制御タスク完了までの待ち時間が短過ぎないか見直してください。 2. 現用と予備のブレードの電源ON抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。
KASV00213-E	現用ブレード(シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>)は切り戻し済みの状態です。	<p>要因 -</p> <p>対処 -</p>
KASV00214-E	データベースにアクセスできません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消(1.と2.)と、回復および再実行(3.以降)をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データベースが起動していることを確認し、起動していない場合は、データベースを起動してください。 2. データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV00215-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク, SVP, および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 3 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00216-E	SVP との通信でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク, SVP, および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 3 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00217-E	<現用または予備>ブレードの電源 ON 抑止ができません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク, SVP, および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 3 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00218-E	データベースにアクセスできません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.と 2.) と、回復および再実行 (3.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 データベースが起動していることを確認し、起動していない場合は、データベースを起動してください。 2 データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00219-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。 1. ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 3. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00220-E	SVP との通信でタイムアウトが発生しました。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。 1. ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 3. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00221-E	現用ブレード、および予備ブレードの構成情報が不一致です。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。 1. 現用と予備のブレードの構成情報が一致していることを確認してください。 2. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 3. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00222-E	<現用または予備>ブレードがシャットダウンできません。認証情報のユーザーの権限が不足しています。	要因 認証情報の権限が不十分です。(保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。 1. シャットダウンされるブレードの OS の管理者権限の認証情報を使用してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00223-E	<現用または予備>ブレードがシャットダウンできません。管理対象ホストと通信できません。	要因 管理対象ホストまたはネットワークに問題があります。(保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消(1.と2.)と、回復および再実行(3.以降)をしてください。 1. 管理対象ホストが起動していて、 Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 管理対象ホストが Windows の場合、 Compute Systems Manager サーバの DCOM が有効か確認してください。管理対象ホストが Linux の場合、通信ポートの設定を確認してください。 3. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 4. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 5. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 6. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00224-E	<現用または予備>ブレードがシャットダウンできません。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消(1.)と、回復および再実行(2.以降)をしてください。 1. ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00225-E	<現用または予備>ブレードのシャットダウンでタイムアウトが発生しました。	要因 管理対象ホストかネットワークに問題があるおそれがあります。(保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消(1.)と、回復および再実行(2.以降)をしてください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> 1. Compute Systems Manager サーバと対象ブレードおよびホストとの通信、ポート設定に問題ないことを確認し、電源制御タスク完了までの待ち時間が短過ぎないか見直してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00226-E	<現用または予備>ブレードの電源 OFF ができません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 電源 OFF に失敗したブレードを電源 OFF にしてください。
KASV00227-E	<現用または予備>ブレードの電源 OFF でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 管理対象サーバかネットワークに問題があるおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 4. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 5. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00228-E	<現用または予備>ブレードの構成情報が更新できません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク，ハードウェア，および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し，抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し，重複していた場合は，SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。操作手順が不明な場合は，障害対応窓口に連絡してください。 4. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 5. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 6. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00229-E	データベースにアクセスできません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.と 2.) と，回復および再実行 (3.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データベースが起動していることを確認し，起動していない場合は，データベースを起動してください。 2. データベースが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 3. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し，抑止が有効の場合は解除してください。 4. 現用および予備ブレードの WWN を確認し，重複していた場合は，SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。操作手順が不明な場合は，障害対応窓口に連絡してください。 5. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 6. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 7. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00230-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と，回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク，ハードウェア，および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し，抑止が有効の場合は解除してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。操作手順が不明な場合は、障害対応窓口にご連絡してください。</p> <p>4. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。</p> <p>5. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。</p> <p>6. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。</p>
KASV00231-E	SVP との通信でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <p>1. ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。</p> <p>2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。</p> <p>3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。操作手順が不明な場合は、障害対応窓口にご連絡してください。</p> <p>4. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。</p> <p>5. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。</p> <p>6. 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。</p>
KASV00232-E	データベースにアクセスできません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.と 2.) と、回復および再実行 (3.以降) をしてください。</p> <p>1. データベースが起動していることを確認し、起動していない場合は、データベースを起動してください。</p> <p>2. データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p> <p>3. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。</p> <p>4. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。</p>
KASV00233-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。
KASV00234-E	SVP との通信でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。
KASV00235-E	<現用または予備>ブレードの電源 ON ができません。	<p>要因 管理対象サーバまたはネットワークに問題があるおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.と 2.) と、回復および再実行 (3.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2 管理対象ホストに接続するための認証情報を確認してください。 3 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 4 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。
KASV00236-E	<現用または予備>ブレードの電源 ON でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 管理対象サーバまたはネットワークに問題があるおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 電源制御タスク完了までの待ち時間が短過ぎないことを見直してください。 2 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。
KASV00237-E	指定した N+M グループ名は、すでにあります。(グループ名=<グループ名>)	<p>要因 -</p> <p>対処 別のグループ名を選択してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV00238-E	選択したブレードの N+M 切り替え状態が<状態>のため、削除できません。	要因 - 対処 -
KASV00239-E	選択したブレードは管理対象から外したり、または削除したりできません。	要因 このブレードは、N+M コールドスタンバイグループに属しています 対処 -
KASV00240-E	<現用または予備>ブレードが正しくない状態です。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。 1. ネットワーク、ハードウェア、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。 3. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。
KASV00241-E	現用ブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する切り替えできる予備がありません。	要因 - 対処 現用ブレードと構成が一致しているブレードを 1 台以上予備ブレードとして登録してください。
KASV00242-I	N+M 切り替え処理をスキップしました。	要因 - 対処 -
KASV00243-E	N+M 切り替え処理中に予期しないエラーが発生しました。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00244-E	N+M 切り替えまたは切り戻しを、ブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対して実施できません。	要因 切り替えまたは切り戻し先のブレードに未確認の障害アラートが残っています。 対処 アラートを解決してください。
KASV00245-E	N+M 切り替えまたは切り戻しを、ブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対して実施できません。	要因 現用ブレードと関連づけられたホストがありません。 対処 手動で切り替えまたは切り戻しをしてください。
KASV00246-E	現用ブレード (シャーシ名=<シャーシ名(現用)>, スロット番号=<スロット番号(現用)>) と切り替え先候補の予備ブレード (シャーシ名=<シャーシ名(予備)>, スロット番号=<スロット番号(予備)>) との組み合わせでは切り替えできません。	要因 この予備ブレードは、すでに使用されています。 対処 切り替え可能な予備ブレードが一つもない場合は、使用できる予備ブレードを用意してから手動で切り替えを行ってください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV00247-E	ブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) を, N+M コールドスタンバイで, 切り替えまたは切り戻しできません。	要因 ブレードの Pre-configure が完了していません。 (保守情報=<保守情報>) 対処 SVP の Web コンソールを使用して Pre-configure を実行してください。操作手順は該当する機種ของผู้ザーズガイドを確認してください。
KASV00248-E	N+M 切り替えまたは切り戻しを, ブレード(シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対して実施できません。	要因 ブレードがないか, 入れ替えられたため, Compute Systems Manager のデータと現状が不整合になっています。(保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と, 回復および再実行 (2.以降) をしてください。 1 現用と予備ブレードの構成を一致させてください。 2 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 3 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4 手動で現用ブレードへの切り戻しを実行してください。
KASV00249-I	N+M 切り替え中に現用ブレードでエラーが発生したため, N+M 切り替え処理をスキップしました。	要因 切り替え処理がすでに失敗しているブレードへの, 新たな切り替え処理はできません。 対処 切り替えが失敗した状態のブレードを, 切り替えできる状態に復旧してください。
KASV00250-E	N+M 切り替え先または切り戻し先のブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する N+M 切り替えはできません。	要因 Compute Systems Manager の管理対象ホストが関連づけられたブレードへの切り替えまたは切り戻しはできません。 対処 このブレードと関連づけられているホストを削除または管理対象から外してください。
KASV00251-E	電源 OFF の現用ブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する N+M 切り替えテストはできません。	要因 Compute Systems Manager の管理対象ホストが関連づけられた現用ブレードからの切り替えは, ホストの電源状態が ON のときだけ実施できます。(保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と, 回復および再実行 (2.以降) をしてください。 1 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し, 抑止が有効の場合は解除してください。 2 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 3 現用ブレードの電源を ON にしてください。
KASV00252-E	電源 OFF の現用ブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する N+M 切り替えテストはできません。	要因 Compute Systems Manager の管理対象ホストが関連づけられた現用ブレードからの切り替え

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		は、ホストの電源状態が ON のときだけ実施できます。(保守情報=<保守情報>) 対処 現用ブレードの電源を ON にしてください。
KASV00253-E	電源 ON のブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する N+M 切り替えまたは切り戻しはできません。	要因 切り替え先または切り戻し先のブレードの電源が ON です。 対処 切り替え先または切り戻し先のブレードの電源を OFF にしてください。
KASV00254-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。 1. ネットワーク, ハードウェア, および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 3. 手動で切り替えテストをし直してください。
KASV00255-E	N+M 切り替え先のブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する N+M 切り替えはできません。	要因 N+M グループ登録時とブレード構成 (ブレード数) が異なります。 対処 ブレードの構成 (ブレード数) を元に戻してください。
KASV00256-E	N+M 切り替え先のブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する N+M 切り替えはできません。	要因 N+M グループ登録時とブレード構成 (ブレード種別) が異なります。 対処 ブレードの構成 (ブレード種別) を元に戻してください。
KASV00257-E	N+M 切り替え先のブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する N+M 切り替えはできません。	要因 N+M グループ登録時とブレード構成 (拡張ブレードの挿入状態) が異なります。 対処 ブレードの構成 (拡張ブレードの挿入状態) を元に戻してください。
KASV00258-E	N+M 切り替え先のブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する N+M 切り替えはできません。	要因 N+M グループ登録時とブレード構成 (拡張ブレード種別) が異なります。 対処 ブレードの構成 (拡張ブレード種別) を元に戻してください。
KASV00259-E	N+M 切り替え先のブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する N+M 切り替えはできません。	要因 N+M グループ登録時と I/O 構成が異なります。 対処 I/O 構成を元に戻してください。
KASV00260-E	N+M 切り替え先のブレード (シャーシ名=<シャーシ名>, スロット番号=<スロット番号>) に対する N+M 切り替えはできません。	要因 N+M グループ登録時と論理分割機構の有効状態が異なります。 対処 論理分割機構の有効状態を元に戻してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV00263-I	選択しているサーバへのリモート KVM 接続はサポートされていません。	要因 - 対処 -
KASV00264-E	データベースの空き容量がありません。	要因 Compute Systems Manager が管理しているデータのサイズが大きすぎます。この問題は、性能情報、電力情報、アラート情報のような単調増加するデータを削除していない場合に発生することがあります。 対処 Compute Systems Manager にログインして、古い電力情報や性能情報、アラート情報など不要なデータを削除してください。
KASV00265-E	データベースにアクセスできません。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 次の対処をしてください。 1. データベースが起動していることを確認し、起動していない場合は、データベースを起動してください。 2. データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00266-E	デプロイメントマネージャーがインストールされていません。	要因 - 対処 デプロイメントマネージャーをインストールして再実行してください。
KASV00267-E	デプロイメントマネージャーに対する正しいプラグインライセンスが登録されていません。	要因 - 対処 正しいデプロイメントマネージャーのライセンスキーまたはライセンスファイルを登録して、操作をやり直してください。
KASV00268-E	選択できるリソースの最大数は、現状のライセンスの上限の<最大ライセンス台数>台までです。	要因 - 対処 現状のライセンスで認められる最大数までのリソースを選択してください。
KASV00269-E	ターゲットの電源 OFF ができません。	要因 デプロイメントマネージャー対象のリソースまたはネットワークに問題がある可能性があります。(保守情報=<保守情報>) 対処 ネットワーク、ハードウェア、認証情報、IP アドレス範囲および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。
KASV00270-E	ターゲットの電源 ON ができません。	要因 デプロイメントマネージャー対象のリソースまたはネットワークに問題がある可能性があります。(保守情報=<保守情報>)

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		対処 ネットワーク、ハードウェア、認証情報、IP アドレス範囲および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。
KASV00271-E	ターゲットの電源状態が確認できません。	要因 デプロイメントマネージャー対象のリソースまたはネットワークに問題がある可能性があります。(保守情報=<保守情報>) 対処 ネットワーク、ハードウェア、認証情報、IP アドレス範囲および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。
KASV00272-I	このデプロイメントマネージャーのバージョンは、UEFI ブートモードの管理対象リソースをサポートしていません。	要因 - 対処 -
KASV00273-I	デプロイメントマネージャー対象追加のタスクをスキップしました。	要因 指定されたリソースは追加済みです。 対処 -
KASV00274-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	要因 デプロイメントマネージャーが管理するリソース数が、ライセンスの上限を超えています。 対処 リソースを管理するのに十分な数のライセンスキーまたはライセンスファイルを登録してください。
KASV00275-E	指定したターゲットがありません。	要因 指定したターゲットは、管理対象リソースから削除されたおそれがあります。 対処 ターゲットが削除されていないことを確認してください。
KASV00276-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	要因 ターゲットの電源が ON です。 対処 ターゲットの電源を OFF にしてから、操作し直してください。
KASV00277-E	デプロイメントマネージャーの処理中に予期しないエラーが発生しました。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00278-E	PXE ブートができるネットワークカードの MAC アドレスを取得できません。	要因 - 対処 MAC アドレスを手動で指定するか、次の対処をしてください。 1. 指定したサーバ/LPAR/VM が、Compute Systems Manager サーバを使用して PXE

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>ブートできる環境であることを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 指定したサーバ/LPAR/VM のネットワークアダプター構成を変更した場合、そのサーバ/LPAR/VM のハイパーバイザーを更新してください。 指定した VM が電源 OFF のときにそのハイパーバイザーを探索/更新していた場合は、その VM の電源を ON にしてから再度そのハイパーバイザーを更新してください。 Compute Systems Manager サーバが起動している間に、ターゲットに指定するサーバ/LPAR/VM を PXE ブートしてください。 タスクを再実行してください。
KASV00280-E	デプロイメントマネージャーの処理を中断しました。	<p>要因 デプロイメントマネージャーのタスクの実行中に、N+M コールドスタンバイの切り替えアラートを受信しました。</p> <p>対処 N+M 切り替えの障害に対処してください。対処完了後、デプロイメントマネージャーのタスクを再度作成してください。</p>
KASV00281-E	指定されたデプロイテンプレート名はすでに存在します。(設定名=<テンプレート名>)	<p>要因 -</p> <p>対処 デプロイテンプレート名を変更してください。</p>
KASV00282-E	デプロイメントマネージャーの処理を中断しました。	<p>要因 -</p> <p>対処 次の前提条件を満たしていることを確認して再実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ターゲットのハードウェアドライバグループ指定が正しいこと。 DHCP で配信する IP アドレスが重複しないこと。 <p>それでも解決しない場合、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV00283-E	デプロイ対象の OS にデプロイテンプレートの設定内容が反映できていないおそれがあります。	<p>要因 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ネットワークに問題があります。 デプロイテンプレートの設定内容が不正です。 マスターサーバの構成が不適切、または Sysprep ツールの実行手順に誤りがあります。 <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ターゲットに通信ができることを確認してください。その後デプロイを再度実行してください。 デプロイテンプレートの設定内容を見直してください。特に間違いやすい項目はパスワード、ドメイン名、ドメインユーザー名、ドメインパスワードです。デプロイテンプレ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>レートの設定を見直した後、再度デプロイを実行してください。</p> <p>3. Sysprep ツールの ReadMe の手順通りに実行したか確認し、再度 Sysprep ツールを実行した後、スナップショットを実行してください。その後、デプロイを実行してください。</p>
KASV00284-E	デプロイ対象の OS にデプロイテンプレートの設定内容が反映できていないおそれがあります。	<p>要因 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワークに問題があります。 2. デプロイテンプレートの設定内容が不正です。 3. マスターサーバの構成が不適切、または Sysprep ツールの実行手順に誤りがあります。 <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ターゲットに通信ができることを確認してください。その後デプロイを再度実行してください。 2. デプロイテンプレートの設定内容を見直してください。デプロイテンプレートの設定を見直した後、再度デプロイを実行してください。 3. Sysprep ツールの ReadMe の手順通りに実行したか確認し、再度 Sysprep ツールを実行した後、スナップショットを実行してください。その後、デプロイを実行してください。
KASV00285-E	現用ブレードと予備ブレードの構成情報の確認ができません。	<p>要因 切り替え先または切り戻し先のブレードが電源 OFF 状態ではありません。</p> <p>対処 エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 切り替え先または切り戻し先のブレードが電源 OFF 状態であることを確認してください。 2. 現用と予備のブレードに対してサーバ情報更新を実行してください。 3. 切り替えペアに対して切り替え状態復旧を実行してください。 4. 手動で切り替えまたは切り戻しを実行してください。
KASV00286-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 タスクを登録したあとに、処理対象のサーバの論理分割の設定が変更されました。</p> <p>対処 処理の対象が LPAR の場合、論理分割を有効にしてから、再実行してください。処理の対象がサーバの場合、論理分割を無効にしてから、再実行してください。</p>
KASV00287-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 操作対象の LPAR が稼働する HVM には HVM のライセンスが適用されていません。操作するためには、Logical Partitioning Manager プラグインライセンスのほかに、HVM のライセンスが必要です。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 操作対象の LPAR が稼働している HVM に HVM のライセンスを適用してから、再実行してください。
KASV00288-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	要因 LPAR のマイグレーションが実行中の場合、または LPAR のマイグレーションに失敗している場合は操作できません。 対処 LPAR のマイグレーションが完了してからタスクを再実行してください。 LPAR のマイグレーションに失敗している場合は、マイグレーションの状態を正常状態に戻したあと、タスクを再実行してください。
KASV00517-E	BMC アドレスを設定できません。選択したホストはハイパーバイザー経由で制御されるため、BMC アドレスの設定は必要ありません。	要因 - 対処 -
KASV00518-E	選択したハイパーバイザーはすでに削除されたか、管理対象から外されています。	要因 - 対処 -
KASV00519-E	選択した仮想マシンはすでに削除されたか、管理対象から外されています。	要因 - 対処 -
KASV00520-E	選択した仮想マシンマネージャーはすでに削除されたか、管理対象から外されています。	要因 - 対処 -
KASV00521-I	選択したブレードの動作モードが HVM になっているため、ブレードの KVM へは接続できません。	要因 - 対処 LPAR を選択して、KVM 接続してください。
KASV00522-E	管理対象の仮想リソースがありません。	要因 - 対処 仮想リソースが管理対象になっていることを確認してください。
KASV00523-E	指定したリソースを Compute Systems Manager の管理対象から除外できません。	要因 指定したリソースを、デプロイメントマネージャー対象から削除しておく必要があります。 対処 指定したリソースをデプロイメントマネージャーの対象から削除してください。そのあと、Compute Systems Manager の管理対象から除外してください。
KASV00524-E	指定したリソースを Compute Systems Manager から削除できません。	要因 指定したリソースを、デプロイメントマネージャー対象から削除しておく必要があります。 対処 指定したリソースをデプロイメントマネージャーの対象から削除してください。そのあと、

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		Compute Systems Manager から削除してください。
KASV00525-E	指定したドライブはイメージファイルの保存先として使用できません。	要因 指定したドライブが存在しないか、または読み取り専用の可能性があります。 対処 別のドライブを指定してください。
KASV00526-E	デプロイメント設定を取得できません。	要因 環境が不正です。(保守情報=<保守情報>) 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00527-E	ドライブを指定してください。	要因 - 対処 -
KASV00528-E	指定した IP アドレスが存在しません。	要因 - 対処 IP アドレスを確認してください。
KASV00529-E	SLI サーバに接続できません。	要因 - 対処 1. SLI サーバの IP アドレスとポート番号が正しいことを確認してください。 2. SLI サービスが起動していることを確認してください。起動していない場合、SLI サービスを起動し、再度実行してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00530-E	SLI サービスに通信できません。	要因 - 対処 SLI サービスが起動していることを確認してください。起動していない場合、SLI サービスを起動し、再度実行してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV00532-E	SLI サーバにアクセスできませんでした。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 SLI サーバの状態を確認してください。SLI サーバが起動していない場合、起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00533-E	SLI サーバから不正なレスポンスを受信しました。	要因 - 対処 SLI サービスが起動していることを確認してください。起動していない場合、SLI サービスを起動し、再度実行してください。
KASV00534-E	リクエストを完了できませんでした。(保守情報=<保守情報>)	要因 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KASV00535-E	アクティベーションできませんでした。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 -
KASV00536-E	LPAR の設定編集に失敗しました。LPAR Name のリンクをクリックして、詳細を確認してください。	要因 - 対処 -
KASV00537-E	HVM の情報取得に失敗しました。(HVM ID=<ID >)	要因 SVP との通信でエラーが発生しました。 対処 次のメッセージを参考に、ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバが稼働しているサーバのネットワークの状態に問題がないことを確認してください。<Message >
KASV00538-E	LPAR のマイグレーション実行前の構成診断で問題が見つかりました。詳細は構成診断結果タブを確認してください。	要因 - 対処 -
KASV00539-E	マイグレーションの実行前処理に失敗しました。	要因 - 対処 再実行してください。問題が継続して発生する場合は、Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KASV00540-E	選択したリソースを削除できません。	要因 選択したリソースはデプロイメントマネージャーに登録された LPAR です。 対処 選択したリソースを削除する場合は、デプロイメントリソースから削除したあと、再実行してください。
KASV00541-E	管理対象の LPAR がありません。	要因 - 対処 ブレードの情報を更新してから、LPAR が管理対象であることを確認してください。LPAR を管理対象にする場合は、LPAR が稼働するブレードが搭載されているシャーシを探索してください。
KASV00542-E	LPAR のマイグレーションを中止しました。	要因 LPAR のマイグレーションの実行中にエラーが発生しました。 対処 次のメッセージの対処を実行してください。<メッセージ>
KASV00543-E	マイグレーションを中止しました。	要因 一時ファイルの作成でディスクアクセスエラーが発生しました。一時的な過負荷が発生してい

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		る、またはディスク容量が不足しているおそれがあります。 対処 Compute Systems Manager がインストールされているディスク容量に空きがあることを確認し、再度実行してください。
KASV00544-E	指定した LPAR に< USB ポート > が Assign されていないため、リモート KVM 接続できません。	要因 - 対処 指定した LPAR に< USB ポート > を Assign、そして Attach してから、リモート KVM 接続を再実行してください。
KASV00545-E	指定した LPAR に< USB ポート > が Attach されていないため、リモート KVM 接続できません。	要因 < USB ポート > がすでにほかの LPAR に Attach されています。 対処 指定した LPAR に< USB ポート > を Attach してから、リモート KVM 接続を再実行してください。
KASV00546-W	指定した LPAR に< USB ポート > が Attach されていないため、リモート KVM 接続できません。	要因 - 対処 指定した LPAR に< USB ポート > を Attach してください。
KASV00547-W	指定した LPAR に USB が Attach されていないため、リモート KVM 接続できません。	要因 - 対処 USB を LPAR に Attach してください。
KASV00549-E	選択した HVM が見つかりません。	要因 選択した HVM は削除されているおそれがあります。 対処 ブレードの情報を更新してから、HVM を確認してください。
KASV00550-E	選択した LPAR が見つかりません。	要因 選択した LPAR は削除されているおそれがあります。 対処 ブレードの情報を更新してから、LPAR が管理対象であることを確認してください。
KASV00551-E	ホストの BMC IP アドレスは変更できません。	要因 マネジメントモジュールによって設定されています。Compute Systems Manager サーバを使用して変更することはできません。 対処 -
KASV00552-E	ファームウェアアップデートの事前チェックでエラーが発生しました。	要因 タスクの登録時のファームウェアの情報が現在のものと異なっています（保守情報=<保守情報>）。 対処 対象シャーンをリフレッシュ後、再度タスクを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV00554-E	<現用または予備>ブレードの構成情報が更新できません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 事前に HVM のバックアップを取得している場合は、エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) してください。HVM のバックアップを取得していない場合や操作手順が不明な場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク, SVP, HVM, および管理サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止されている場合は解除してください。 3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。 4. HVM バックアップを用いて、HVM 設定をリストアしてください。 5. 現用と予備のブレードに対してブレード情報を更新してください。 6. 切り替えペアに対して切り替え状態を復旧してください。 7. 手動で予備ブレードへ切り替えてください。
KASV00555-E	データベースにアクセスできません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 事前に HVM のバックアップを取得している場合は、エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) してください。HVM のバックアップを取得していない場合、操作手順が不明な場合、または内部エラーのおそれがある場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データベースが起動していることを確認し、起動していない場合は、データベースを起動してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止されている場合は解除してください。 3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。 4. HVM バックアップを用いて、HVM 設定をリストアしてください。 5. 現用と予備のブレードに対してブレード情報を更新してください。 6. 切り替えペアに対して切り替え状態を復旧してください。 7. 手動で予備ブレードへ切り替えてください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV00556-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 事前に HVM のバックアップを取得している場合は、エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) してください。HVM のバックアップを取得していない場合や操作手順が不明な場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、SVP、HVM、および管理サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止されている場合は解除してください。 3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。 4. HVM バックアップを用いて、HVM 設定をリストアしてください。 5. 現用と予備のブレードに対してブレード情報を更新してください。 6. 切り替えペアに対して切り替え状態を復旧してください。 7. 手動で予備ブレードへ切り替えてください。
KASV00557-E	SVP との通信でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 事前に HVM のバックアップを取得している場合は、エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) してください。HVM のバックアップを取得していない場合や操作手順が不明な場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、SVP、HVM、および管理サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止されている場合は解除してください。 3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。 4. HVM バックアップを用いて、HVM 設定をリストアしてください。 5. 現用と予備のブレードに対してブレード情報を更新してください。 6. 切り替えペアに対して切り替え状態を復旧してください。 7. 手動で予備ブレードへ切り替えてください。
KASV00558-E	<現用または予備>ブレードの構成情報が更新できません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>事前に HVM のバックアップを取得している場合は、エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) してください。HVM のバックアップを取得していない場合や操作手順が不明な場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク、SVP、HVM、および管理サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止されている場合は解除してください。 3 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。 4 HVM バックアップを用いて、HVM 設定をリストアしてください。 5 現用と予備のブレードに対してブレード情報を更新してください。 6 切り替えペアに対して切り替え状態を復旧してください。 7 手動で現用ブレードへ切り戻してください。
KASV00559-E	データベースにアクセスできません。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処</p> <p>事前に HVM のバックアップを取得している場合は、エラー原因の解消 (1.) と、回復及び再実行 (2.以降) をしてください。HVM バックアップを取得していない場合や操作手順が不明な場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 データベースが起動していることを確認し、起動していない場合は、データベースを起動してください。データベースが起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 2 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止されている場合は解除してください。 3 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。 4 HVM バックアップを用いて、HVM 設定をリストアしてください。 5 現用と予備のブレードに対してブレード情報更新を実行してください。 6 切り替えペアに対して切り替え状態を復旧してください。 7 手動で現用ブレードへ切り戻してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV00560-E	SVP との通信でエラーが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 事前に HVM のバックアップを取得している場合は、エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) してください。HVM のバックアップを取得していない場合や操作手順が不明な場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、SVP、HVM、および管理サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止されている場合は解除してください。 3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。 4. HVM バックアップを用いて、HVM 設定をリストアしてください。 5. 現用と予備のブレードに対してブレード情報を更新してください。 6. 切り替えペアに対して切り替え状態を復旧してください。 7. 手動で現用ブレードへ切り戻してください。
KASV00561-E	SVP との通信でタイムアウトが発生しました。	<p>要因 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 事前に HVM のバックアップを取得している場合は、エラー原因の解消 (1.) と、回復および再実行 (2.以降) してください。HVM のバックアップを取得していない場合や操作手順が不明な場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク、SVP、HVM、および管理サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. 現用と予備のブレードの電源 ON 抑止状態を確認し、抑止されている場合は解除してください。 3. 現用および予備ブレードの WWN を確認し、重複していた場合は、SVP の Web コンソールを使用して WWN を切り替え前の状態に戻してください。 4. HVM バックアップを用いて、HVM 設定をリストアしてください。 5. 現用と予備のブレードに対してブレード情報を更新してください。 6. 切り替えペアに対して切り替え状態を復旧してください。 7. 手動で現用ブレードへ切り戻してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV00562-E	LPAR のマイグレーションに成功しましたが、移動後に電源を ON にできません。	要因 対象のリソース, またはネットワークに問題があるおそれがあります。 対処 次のメッセージの対処を実行してください。 <保守情報>
KASV00563-E	指定した LPAR が見つかりません。または、指定した HVM が見つかりません。	要因 指定したリソースが削除, または管理対象から外されています。 対処 指定したリソースが稼働するシャーシの構成情報を更新してください。 LPAR および, HVM が管理対象になっていることを確認してください。
KASV00564-E	選択した HVM が見つかりません。	要因 選択した HVM は管理対象から除外されている可能性があります。 対処 HVM が管理対象に追加されている事を確認してください。
KASV00565-E	指定した HVM は、LPAR をマイグレーションできる構成ではありません。	要因 移動元と移動先 HVM で、LPAR に割り当てられている NIC の MAC アドレスに重複があります。 対処 MAC アドレスの重複を解決してください。
KASV00566-E	指定した HVM は、LPAR をマイグレーションできる構成ではありません。	要因 移動元と移動先 HVM で、FC に割り当てられた WWN の重複があります。 対処 事前に HVM のバックアップを取得している場合は、HVM のバックアップを使用して、HVM の設定をリストアしてください。HVM のバックアップを取得していない場合や操作手順が不明な場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00567-E	LPAR のマイグレーションに成功しましたが、そのあとで MAC アドレスの重複を検出しました。	要因 移動元と移動先 HVM で、LPAR に割り当てられている NIC の MAC アドレスに重複があります。 対処 MAC アドレスの重複を解決してください。
KASV00568-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動元と移動先 HVM で、FC に割り当てられた WWN の重複があります。 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00569-E	LPAR マイグレーションには成功しましたが、移動前の LPAR に関連づけられていたアラート、タスク、およびスクリプトコマンドの情報を、移動先へ引き継ぐことに失敗しました。	要因 データベースにアクセスできませんでした。(保守情報:<保守情報>) 対処 データベースが起動していない場合は起動してください。引き継ぎに失敗した情報を、移動前の

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		状態に回復する方法はないため、アラートと実行済みのタスクについては、LPAR の名称をキーに参照するようにしてください。実行予定のタスクとスクリプトコマンドは、移動後の LPAR で実行されるように再作成してください。
KASV00570-E	HVM の情報取得に失敗しました。	要因 SVP との通信でエラーが発生しました。 対処 以下のメッセージを参考に、ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバが稼働しているサーバのネットワーク状態に問題がないことを確認してください。<メッセージ>
KASV00571-E	LPAR マイグレーションを中断しました。	要因 LPAR マイグレーションを実行中に、対象ブレードから N+M コールドスタンバイの切り替えアラートを受信しました。 対処 N+M 切り替えが完了してから、LPAR マイグレーションのタスクを再度作成してください。
KASV00572-E	内部エラーが発生しました。	要因 データベースにアクセスできませんでした。(保守情報:<保守情報>) 対処 次の対処をしてください。 1. データベースが起動していない場合は起動してください。 2. データベースが起動している場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00573-E	指定した名称の LPAR (LPAR Name=<LPAR 名>) はすでにあります。	要因 - 対処 異なる LPAR の名称を指定してください。
KASV00574-E	マイグレーション状態のリカバリーに失敗しました。	要因 - 対処 このリンクをクリックしてエラーの詳細を参照し、対処してください。
KASV00575-E	マイグレーション状態のリカバリーは成功しましたが、HVM の構成情報取得に失敗しました。	要因 - 対処 このリンクをクリックしてエラーの詳細を参照し、対処してください。そのあと、HVM の構成情報を更新してください。
KASV00576-E	設定できません。サーバ名のリンクをクリックして、詳細を確認してください。	要因 - 対処 -
KASV00577-E	設定できません。ポート番号のリンクをクリックして、詳細を確認してください。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV00578-I	指定した LPAR をマイグレーションできません。	要因 指定した LPAR は、すでにほかの HVM へ移動しています。 対処 移動先を変更する必要がある場合は、新規にマイグレーションしてください。
KASV00579-I	指定した LPAR のリカバリーはすでに実行されているため、処理をスキップしました。	要因 - 対処 -
KASV00580-E	現用でないブレードが指定されたため、N+M 切り替え処理をスキップしました。	要因 このブレードは、すでに N+M グループから削除されています。ほかのタスクにより、N+M 切り替えのあと、切り替え先で予備ブレードから現用ブレードに変更（現用化）されました。 対処 -
KASV00581-E	<OS 種別>版の HCSM には、デプロイメントマネージャのライセンスを登録することはできません。	要因 - 対処 -
KASV00582-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 LPAR のマイグレーション中に HVM がエラーを検出しました。(保守情報=<保守情報>, <保守情報>, <保守情報>, <保守情報>) 対処 HVM のユーザーズガイドを参照して、エラーの原因を解消してください。その後、LPAR のマイグレーションを再実行してください。
KASV00583-E	指定した LPAR をマイグレーションできません。	要因 指定した LPAR が見つかりません。マイグレーションのタスク登録後、LPAR が削除されたか管理対象から外されたことが考えられます。 対処 指定した LPAR が管理対象として登録されていることを確認してください。
KASV00584-E	選択したリソースを操作できません。	要因 <ロール名>ロールが割り当てられていません。 対処 所属するユーザーグループに、リソースに対する<ロール名>ロールが割り当てられていることを確認し、再実行してください。
KASV00585-E	指定したリソースグループ名はすでに使用されています。(リソースグループ名=<グループ名>)	要因 - 対処 異なるリソースグループ名を指定してください。
KASV00586-E	指定したユーザーグループ名はすでに使用されています。(ユーザーグループ名=<グループ名>)	要因 - 対処 異なるユーザーグループ名を指定してください。
KASV00587-W	<ロール名>ロールが割り当てられていないリソースは操作の対象外になりました。	要因 - 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		所属するユーザーグループに、リソースに対する適切なロールが割り当てられていることを確認し、再実行してください。
KASV00588-E	選択したリソースを操作できません。	要因 <ロール名>ロールが割り当てられていません。 対処 所属するユーザーグループに、リソースに対する適切なロールが割り当てられていることを確認し、再実行してください。
KASV00589-E	操作できるホストがありません。	要因 - 対処 所属するユーザーグループに、ホストに対する<ロール名>ロールが割り当てられていることを確認し、再実行してください。
KASV00590-E	操作できるシャーンまたはサーバがありません。	要因 - 対処 所属するユーザーグループに、シャーンまたはサーバに対する<ロール名>ロールが割り当てられていることを確認し、再実行してください。
KASV00591-E	操作できる仮想リソースがありません。	要因 - 対処 所属するユーザーグループに、仮想リソースに対する<ロール名>ロールが割り当てられていることを確認し、再実行してください。
KASV00592-E	操作できるリソースがありません。	要因 - 対処 所属するユーザーグループに、リソースに対する<ロール名>ロールが割り当てられていることを確認し、再実行してください。
KASV00593-E	ユーザーグループを削除できません。 (ユーザーグループ名=<グループ名>)	要因 ほかの Hitachi Command Suite 製品のリソースグループが割り当てられています。 対処 ほかの Hitachi Command Suite 製品のリソースグループの割り当てを解除してから、再実行してください。
KASV00594-E	指定したユーザーグループが見つかりません。	要因 ユーザーグループがすでに削除されていることが考えられます。 対処 ユーザーグループが削除されていないことを確認し、存在するユーザーグループを選択し直して、削除操作を再実行してください。
KASV00595-E	このリソースの操作に必要なロールが割り当てられていないため、操作できませんでした。	要因 タスクを登録したユーザーが削除されたか、対象リソースに対するロールの割り当てが解除されました。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		繰り返しが設定されている場合は、タスクを削除してください。このタスクが必要ならば、ほかのユーザーがタスクを再登録してください。
KASV00596-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM は SR-IOV に対応していません。 (保守情報=<保守情報>) 対処 SR-IOV に対応した HVM を移動先に指定するか、HVM のファームウェアのバージョンを更新してから再実行してください。
KASV00597-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の NIC で SR-IOV が無効か、Schedule Mode が Dedicated になっています。(保守情報=<保守情報>) 対処 次のどちらかの対処をしてから、再実行してください。 1. SR-IOV に対応した HVM を移動先に指定する。 2. 移動先の NIC の BIOS 設定で SR-IOV を有効にし、HVM 上の NIC の Schedule Mode を Shared にする。
KASV00598-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM に SR-IOV に対応した NIC がありません。(保守情報=<保守情報>) 対処 SR-IOV に対応した HVM を移動先に指定してから再実行してください。
KASV00599-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM では、LPAR の OS Type の設定に対応していません。(保守情報=<保守情報>) 対処 OS Type の指定に対応した HVM を移動先に指定するか、HVM のファームウェアのバージョンを OS Type の設定に対応したものにアップデートしてから再実行してください。
KASV00600-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 指定した LPAR に VF NIC が割り当てられています。(保守情報=<保守情報>) 対処 指定した LPAR から VF NIC の割り当てを解除してコンカレントメンテナンスマイグレーションを再実行するか、LPAR を Deactive 状態にしてシャットダウンマイグレーションを実行してください。
KASV00601-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM はゲスト NUMA 機能に対応していません。(保守情報=<保守情報>) 対処 ゲスト NUMA に対応した HVM を移動先に選択するか、HVM のファームウェアをゲスト NUMA に対応したバージョンに更新してから再実行してください。
KASV00602-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		移動先の HVM はゲストアイドルモードに対応していません。(保守情報=<保守情報>) 対処 ゲストアイドルモードに対応した HVM を移動先に指定するか、HVM のファームウェアをゲストアイドルモードに対応したバージョンに更新してから再実行してください。
KASV00603-E	<ロール名>ロールが割り当てられていないため、タスクを登録できません。	要因 - 対処 所属するユーザーグループに、<原因となったデータ>に対する<ロール名>ロールが割り当てられていることを確認し、再実行してください。
KASV00604-E	異なる種別のシャーシを同時に選択できません。	要因 - 対処 同じ種別のシャーシだけを選択してください。
KASV00605-E	異なる種別のシャーシに搭載されているブレードを同時に選択できません。	要因 - 対処 同じ種別のシャーシに搭載されているブレードを選択してください。
KASV00607-E	リモート KVM に接続できません。	要因 リモート KVM に接続できないモデルのサーバです。 対処 -
KASV00608-I	選択した表示区分に合致するアラート数 (<アラート数>) が多過ぎるため、表示をスキップしました。一度に処理できる上限は (<上限数>) 件です。	要因 - 対処 次のどれかの方法でアラートを表示できます。 1. 期間の短い表示区分を選択する。 2. 各リソースの画面に移動する。 3. 管理タブの [システム設定] - [アラート] から、システムで保持しているアラートを削除して全体数を (<上限数>) 以下にする。
KASV00609-E	<サーバ数> 台のサーバをプロフィールに追加できません。	要因 追加できなかったサーバか、そのサーバに関連づけられているホストが管理対象になっていません。 対処 サーバおよびホストが管理対象になっていることを確認してから、再実行してください。
KASV00610-E	システム高負荷、または競合などの一時的な問題によってデータベースにアクセスできません。	要因 - 対処 しばらくしてから画面を更新してください。それでも解決しない場合、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV00611-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>移動先と移動元の HVM に設定されているマイグレーションパスの暗号強度が異なるため LPAR のマイグレーションができません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動先と移動元の HVM でマイグレーションパスの暗号強度の設定を合わせてください。</p>
KASV00612-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM は 16Gb FC が割り当てられている LPAR のコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動先の HVM のファームウェアを 16Gb FC のコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応したバージョンに更新するか、シャットダウンマイグレーションを実行してください。</p>
KASV00613-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元の LPAR に割り当てられている 16Gb FC はコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 16Gb FC の割り当てを解除するか、シャットダウンマイグレーションを実行してください。</p>
KASV00614-E	マイグレーション WWPN の削除処理に失敗しました。	<p>要因 -</p> <p>対処 Device Manager で LPAR に割り当てられているホストグループから、削除できなかったマイグレーション WWPN <マイグレーション WWPN > を削除してください。なお、LPAR マイグレーションは成功しているため、Compute Systems Manager での対処は不要です。</p>
KASV00616-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM が、HBA コア占有モードに対応していません。</p> <p>対処 移動先の HVM のファームウェアを HBA コア占有モードに対応したバージョンに更新して、再実行してください。</p>
KASV00617-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 HBA コア占有モードの FC ポートを、同じ vfcID で移動先に割り当てるできません。</p> <p>対処 移動先の HVM で、指定した LPAR が使用している vfcID と同じ vfcID を使用できる状態にしてから、再実行してください。</p>
KASV00618-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元と移動先のブレードに搭載されている、HBA コア占有モードが有効な FC カードのポート数が異なります。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		移動元と同じポート数の FC カードを搭載しているブレードを移動先に指定して、再実行してください。
KASV00619-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動元と移動先の HVM で、FC ポートのコア占有モード設定が異なります。 対処 移動元と移動先 HVM のコア占有モード設定を同じにして再実行してください。
KASV00620-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM は x2APIC 機能が有効な状態でのマイグレーションに対応していません。 対処 移動先の HVM のファームウェアを x2APIC 機能に対応したバージョンに更新して、再実行してください。
KASV00621-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM が Partition Reference Time Enlightenment に対応していません。 対処 移動先の HVM のファームウェアを Partition Reference Time Enlightenment に対応したバージョンに更新して、再実行してください。
KASV00622-E	シャージとサーバの構成情報更新は成功しましたが、ボリュームの情報取得に失敗しました。	要因 Device Manager との通信に失敗しました。 対処 [管理]タブの[HDvM 通信]で通信設定が正しいか確認してください。通信設定が正しい場合、再実行してください。
KASV00627-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM は Low Latency を使用している LPAR のマイグレーションに対応していません。 (保守情報=<保守情報>) 対処 移動先の HVM のファームウェアを Low Latency を使用している LPAR のマイグレーションに対応したバージョンに更新してください。
KASV00628-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM は EPT1GB を使用している LPAR のマイグレーションに対応していません。 (保守情報=<保守情報>) 対処 移動先の HVM のファームウェアを EPT1GB のマイグレーションに対応したバージョンに更新してください。
KASV00636-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 LPAR に割り当てられている 16Gb FC は、コンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。 対処 16Gb FC のファームウェアをコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応したバージョンに更新するか、シャットダウンマイグレーションを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV00637-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の 16Gb FC は、コンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。</p> <p>対処 16Gb FC のファームウェアをコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応したバージョンに更新するか、シャットダウンマイグレーションを実行してください。</p>
KASV00638-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 指定した LPAR で使用されている HBA ドライバーは、コンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。</p> <p>対処 LPAR 上の OS で使用している HBA ドライバーをコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応したバージョンに更新するか、シャットダウンマイグレーションを実行してください。</p>
KASV00639-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM は、16Gb FC が割り当てられている LPAR のコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。</p> <p>対処 移動先の HVM のファームウェアを 16Gb FC のコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応したバージョンに更新するか、シャットダウンマイグレーションを実行してください。</p>
KASV00640-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM は物理 NUMA ノードバインド方式に対応していません。</p> <p>対処 HVM のファームウェアを、物理 NUMA ノードバインド方式が有効な LPAR をマイグレーションできるバージョンに更新してください。</p>
KASV00642-E	タスクの登録に失敗しました。	<p>要因 管理者が、Compute Systems Manager で保持しているログイン済みの外部認可ユーザーの情報を削除しました。</p> <p>対処 Compute Systems Manager に再ログインしてから、タスクを登録してください。</p>
KASV00643-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元の LPAR に割り当てられている FC アダプターの設定が、MultiplePortID = Enable、LuidScanMode = Disable になっています。移動先の HVM では、この設定の LPAR を使用できません。</p> <p>対処 HVM のユーザーズガイドを参照し、移動元の LPAR に割り当てられている FC アダプターの設定を変更してください。</p>
KASV00644-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM は LUID 引継ぎ方式のマイグレーションに対応していません。</p> <p>対処</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		HVM のファームウェアを、LUID 引継ぎ方式のマイグレーションに対応したファームウェアに更新してください。
KASV00645-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動元の LPAR のマイグレーション WWPN を使ってストレージに接続できません。(保守情報=<保守情報>) 対処 マイグレーション WWPN を使って、移動元の HVM からストレージに接続できる設定になっていることを確認してください。
KASV00646-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM の FC ポートの状態が正常 (Available) ではありません。 対処 移動先の HVM の FC ポートの状態を確認してください。FC ポートの状態は HVM スクリーンで確認できます。
KASV00647-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM から、ストレージに接続できません。(保守情報=<保守情報>) 対処 移動先の HVM からストレージに接続できる設定になっているか確認してください。
KASV00648-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動元と移動先の FC ポートの ConnectionType が異なります。 対処 移動元と移動先の HVM で、FC ポートの ConnectionType を同じ設定にしてください。ConnectionType の設定は LPAR の EFI Shell で確認できます。
KASV00649-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 LPAR の移動中に、タイムアウトが発生しました。LPAR のメモリの書き込み頻度が高過ぎるか、マイグレーションパスが過負荷になっています。 対処 しばらく待ってから再実行してください。または、シャットダウンマイグレーションを実行してください。
KASV00650-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 LPAR の移動中に、タイムアウトが発生しました。ストレージまたは SAN の過負荷が考えられます。 対処 しばらく待ってから再実行してください。または、シャットダウンマイグレーションを実行してください。
KASV00651-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM のファームウェアが古いため、マイグレーションできません (保守情報=<保守情報>) 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		移動先の HVM のファームウェアを、移行元と同じか、またはそれより新しいバージョンに更新してください。
KASV00653-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動先の HVM は Virtage SAP HANA 対応追加ライセンスが登録されていないため、LPAR をマイグレーションできません。(保守情報=<保守情報>) 対処 この LPAR をマイグレーションしたい場合は、Virtage SAP HANA 対応追加ライセンスが登録されている HVM を移動先として選択してください。

2.2 KASV10000～KASV19999

Compute Systems Manager に関するメッセージ (KASV10000～KASV19999) を次の表に示します。

表 2-2 KASV10000～KASV19999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10000-E	指定した<リソース種別>は Compute Systems Manager のデータベースから削除されています。	要因 - 対処 リソースの指定を見直したあと、再度操作してください。
KASV10001-E	内部エラーが発生しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10004-E	プロパティファイル(<プロパティファイル名>) にアクセスできませんでした。	要因 - 対処 次の対処をしてください。 1. Compute Systems Manager サーバが、プロパティファイルを読み込めるアクセス権を持っていることを確認してください。 2. プロパティファイルを開き、ファイルの内容が破損していないことを確認してください。
KASV10005-E	プロパティファイル(<プロパティファイル名>) へのアクセス中にエラーが発生しました。	要因 - 対処 次の対処をしてください。 1. Compute Systems Manager サーバが、プロパティファイルを読み込めるアクセス権を持っていることを確認してください。 2. プロパティファイルを開き、ファイルの内容が破損していないことを確認してください。
KASV10006-I	要求された処理 (<処理名>) を開始します。	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KASV10007-I	要求された処理 (<処理名>) が完了しました。	要因 - 対処 -
KASV10008-E	プロパティファイル (<プロパティファイル名>) の <プロパティ名> プロパティの値が不正です。	要因 - 対処 プロパティに正しい値を指定してください。
KASV10009-E	タスクの操作に失敗しました。タスクの現在の状態ではこの操作を実行できません。(タスク名 = <タスク名>)	要因 - 対処 指定したタスクの状態を見直したあと、再度操作してください。
KASV10010-I	タスクの履歴自動削除ポーリング処理が完了しました。	要因 - 対処 -
KASV10011-E	プロパティの値が不正です。プロパティファイル (<プロパティファイル名>) の <プロパティ名> プロパティにはデフォルト値「<デフォルト値>」を適用します。	要因 - 対処 正しい値を設定し、システムを再起動してください。
KASV10021-E	プロパティファイル (<プロパティファイル名>) がありません。	要因 - 対処 次の対処をしてください。 1. Compute Systems Manager サーバが、プロパティファイルを読み込めるアクセス権を持っていることを確認してください。 2. プロパティファイルを開き、ファイルの内容が破損していないことを確認してください。
KASV10024-W	一部のホストのデータ収集を省略しました。(収集済みの数: <収集した数>, スキップした数: <省略した数>)	要因 - 対処 各ホストに関する詳細メッセージを参照してください。
KASV10025-E	ホストのデータ収集に失敗しました。(収集済みの数: <収集した数>, 失敗した数: <失敗した数>, スキップした数: <省略した数>)	要因 - 対処 各ホストに関する詳細メッセージを参照してください。
KASV10026-E	IP アドレス範囲 (<IP アドレス範囲名>) は無効です。既存の IP アドレス範囲 (<IP アドレス範囲名>) と重複しています。	要因 - 対処 IP アドレス範囲を、重複しないよう見直してください。
KASV10027-E	実行待ちのタスクで使用されているため、IP アドレス範囲 (<IP アドレス範囲名>) を削除できませんでした。	要因 - 対処 タスクを削除するか、またはタスクの状態が変わるのを待ってから再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10028-E	実行中のタスクで使用されているため、IP アドレス範囲 (< IP アドレス範囲名 >) を削除できませんでした。	要因 - 対処 タスクをキャンセルするか、またはタスクの状態が変わるのを待ってから再度実行してください。
KASV10029-E	認証情報が見つかりませんでした。	要因 認証情報が削除されました。 対処 画面を再表示してください。
KASV10030-E	IP アドレス範囲が見つかりませんでした。	要因 IP アドレス範囲が削除されました。 対処 画面を再表示してください。
KASV10031-E	認証情報名 (< 認証情報名 >) は、すでに使用されています。	要因 - 対処 異なる認証情報名を指定してください。
KASV10032-E	実行待ちのタスクで使用されているため、認証情報 (< 認証情報名 >) を削除できませんでした。	要因 - 対処 タスクを削除するか、またはタスクの状態が変わるのを待ってから再度実行してください。
KASV10033-E	実行中のタスクで使用されているため、認証情報 (< 認証情報名 >) を編集または削除できませんでした。	要因 - 対処 タスクをキャンセルするか、またはタスクの状態が変わるのを待ってから再度実行してください。
KASV10034-I	Ping 応答がありません。(IP アドレス: < IP アドレス >)	要因 - 対処 -
KASV10035-E	スクリプトコマンド名 (< スクリプトコマンド名 >) は、すでに使用されています。	要因 - 対処 異なるスクリプトコマンド名を指定してください。
KASV10036-E	アラート ID (< アラート ID >) と、ホスト (< ホスト名 >) の組み合わせは、別のスクリプトコマンドですでに使用されています。	要因 - 対処 スクリプトコマンドの設定を見直してください。
KASV10037-E	スクリプトコマンドが見つかりませんでした。	要因 スクリプトコマンドが削除されています。 対処 画面を再表示してください。
KASV10038-E	SNMP 設定が見つかりませんでした。	要因 SNMP 設定が削除されています。 対処 画面を再表示してください。
KASV10039-E	SNMP トラップが見つかりませんでした。	要因 SNMP トラップが削除されています。 対処 画面を再表示してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10040-E	サブタスクの実行前にエラーが発生しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10041-E	サブタスクの実行後にエラーが発生しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10042-I	タスクの経過時間がしきい値を超えたため、タスクを停止しました。	要因 - 対処 -
KASV10043-I	タスクが終了しました。(成功: <成功したサブタスク数>, 失敗: <失敗したサブタスク数>, スキップ: <省略したサブタスク数>)	要因 - 対処 -
KASV10044-E	この IP アドレス範囲は、<原因となったデータ>が参照しているため削除できません。	要因 この IP アドレス範囲を参照している実行待ちまたは実行中のタスクがあります。 対処 タスクをキャンセルもしくは削除するか、またはタスクの状態が変わるのを待ってから操作を再度実行してください。
KASV10045-W	この IP アドレス範囲は、<原因となったデータ>が参照しています。	要因 この IP アドレス範囲を参照している認証情報があります。 対処 必要に応じて、IP アドレス範囲を参照しているデータを削除または見直してください。
KASV10046-E	この IP アドレス範囲は、<原因となったデータ>が参照しているため編集できません。	要因 この IP アドレス範囲を参照している実行待ちまたは実行中のタスクがあります。 対処 タスクをキャンセルもしくは削除するか、またはタスクの状態が変わるのを待ってから操作を再度実行してください。
KASV10047-W	この IP アドレス範囲は、<原因となったデータ>が参照しています。	要因 この IP アドレス範囲を参照している認証情報があります。 対処 必要に応じて、IP アドレス範囲を参照しているデータを削除、または見直してください。
KASV10048-E	この認証情報は、削除できません。	要因 この認証情報を参照している<原因となったデータ>があります。 対処 認証情報を参照しているタスクをキャンセルもしくは削除するか、またはタスクの状態が変わるのを待ってから、必要に応じて、この認証情報を

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		参照しているデータを削除または見直してください。そのあと、操作を再度実行してください。
KASV10049-W	この認証情報は、<原因となったデータ>が参照しています。	要因 - 対処 必要に応じて、認証情報を参照しているデータを削除または見直してください。
KASV10050-E	この認証情報は、<原因となったデータ>が参照しているため、編集できません。	要因 この認証情報を参照している実行中または実行待ちのタスクがあります。 対処 タスクをキャンセルするか、またはタスクの状態が変わるのを待ってから再度実行してください。
KASV10051-W	この認証情報を参照している実行中または実行待ちタスク、リソース、および探索設定があります。	要因 - 対処 認証情報を参照しているタスクをキャンセルもしくは削除するか、またはタスクの状態が変わるのを待ってから、必要に応じて、この認証情報を参照しているデータを削除または見直してください。そのあと、操作を再度実行してください。
KASV10052-E	タスクを登録できませんでした。	要因 指定した<原因となったデータ>は削除、または管理対象から外されたおそれがあります。 対処 指定した<原因となったデータ>が削除、または管理対象から外されていないことを確認してください。
KASV10053-E	実行中のタスクを停止しました。	要因 タスク実行中に Compute Systems Manager が停止しました。 対処 必要に応じてタスクの処理を手動で実施するか、またはタスクを再度作成してください。
KASV10054-E	指定したホストが見つかりませんでした。	要因 指定したホストは削除、または管理対象から外されたおそれがあります。 対処 ホストが削除、または管理対象から外されていないことを確認してください。
KASV10055-E	指定したアラート ID はすでに使用されています。	要因 - 対処 別のアラート ID を指定してください。
KASV10056-E	指定した SNMP トラップは、別の SNMP 設定ですすでに使用されています。	要因 - 対処 別の SNMP トラップを指定してください。
KASV10057-E	指定したアラート ID が見つかりませんでした。	要因 このアラート ID は、すでに削除されたおそれがあります。 対処 別のアラート ID を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10059-E	指定した SNMP 設定は、ほかのスクリプトコマンドですすでに使用されています。	要因 - 対処 スクリプトコマンドと SNMP 設定の関連を削除してください。
KASV10060-E	ルートの論理グループは削除できません。	要因 - 対処 -
KASV10061-E	指定した論理グループがありません。	要因 指定した論理グループは削除されたおそれがあります。 対処 論理グループ名を確認し、再度実行してください。
KASV10062-E	指定した親論理グループがありません。	要因 指定した親論理グループが削除されたおそれがあります。 対処 親論理グループ名を確認し、再度実行してください。
KASV10063-I	指定したタスクは停止処理中です。(タスク名 = <タスク名>)	要因 - 対処 -
KASV10064-E	この管理対象ホストの電源を制御する必要はありません。	要因 - 対処 -
KASV10065-E	タスク履歴自動削除機能を初期化できませんでした。	要因 - 対処 -
KASV10066-E	タスクのスケジューリングに失敗しました。	要因 - 対処 再度タスクを登録してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KASV10067-E	タスクのキャンセルに失敗しました。(タスク名 = <タスク名>)	要因 - 対処 再度タスクをキャンセルしてください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KASV10068-E	タスクのリスケジュールに失敗しました。(タスク名 = <タスク名>)	要因 - 対処 再度タスクをリスケジュールしてください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10069-E	指定したタスクが実行中のため、リスケジュールできません。(タスク名=<タスク名>)	要因 - 対処 -
KASV10070-E	サブタスクの実行中にエラーが発生しました。(タスク名=<タスク名>)	要因 - 対処 -
KASV10071-E	電源制御の設定が見つかりませんでした。	要因 - 対処 -
KASV10072-E	電源制御に失敗しました。	要因 - 対処 -
KASV10073-E	電源制御の実行中にタイムアウトが発生しました。	要因 管理対象ホストまたはネットワークに問題があるおそれがあります。 対処 次の対処を実施してください。 1. Compute Systems Manager サーバとホスト間の通信ができることを確認してください。 2. 通信ポートと BMC の設定を確認してください。 3. ホストが IPMI を使わない設定の場合は、ホストが WOL のマジックパケットを受け取れるようにネットワークが構成されていることを確認してください。 4. 電源制御の確認時間を見直してください。
KASV10074-E	ホストの構成情報を取得できませんでした。	要因 指定したホストが正常に動作していないか、または構成情報更新中にネットワーク接続が切断されたおそれがあります。 対処 Compute Systems Manager サーバと管理対象ホスト間の通信ができることを確認してください。管理対象ホストが正常に動作していることを確認してください。最新のホスト構成情報を取得するために、更新を実施してください。エラーが繰り返し発生する場合、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10075-E	登録上のシリアル番号と実際のシリアル番号が一致しません。	要因 管理対象にしていたリソースが交換されたおそれがあります。 対処 管理対象にしていたリソースを削除してから、ホスト探索オプションを使用して、再度リソースを探索してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10076-E	IPMI 認証情報が見つかりませんでした。	要因 - 対処 -
KASV10077-E	指定したアラート情報が見つかりませんでした。	要因 アラート情報はすでに削除されたおそれがあります。 対処 -
KASV10078-E	IP アドレス範囲名 (<IP アドレス範囲名>) は、すでに使用されています。	要因 - 対処 異なる IP アドレス範囲名を指定してください。
KASV10079-E	データベース更新中に予期しないエラーが発生しました。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV10080-E	管理対象ホストが停止しているため、再起動できませんでした。	要因 - 対処 管理対象ホストの電源を入れてから、再度実行してください。
KASV10081-E	ホストに対する電源制御を実行できませんでした。	要因 - 対処 管理対象ホストと Compute Systems Manager サーバとの通信を見直してください。
KASV10082-E	認証できませんでした。	要因 ユーザー ID もしくはパスワードに誤りがあるか、または認証サーバへのアクセス中にエラーが発生しました。 対処 ユーザー ID およびパスワードを確認してください。再度実行してもエラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV10083-E	内部エラーが発生しました。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV10084-E	ホストは起動状態ですが、認証できませんでした。	要因 - 対処 このホストに使用する認証情報を確認してください。
KASV10085-E	指定したタスク名はすでに使用されているため、タスクを登録できません。	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 異なるタスク名を指定してください。
KASV10086-E	管理対象リソースのリフレッシュ要求に対して、応答がありませんでした。	要因 管理対象リソースの電源が入っていないことが考えられます。 対処 管理対象リソースの電源を入れてから再実行してください。
KASV10087-E	BMC が設定されていません。	要因 - 対処 ホストの BMC の設定を見直してください。
KASV10088-E	Compute Systems Manager サーバ自体に対して電源制御はできません。	要因 - 対処 -
KASV10089-E	シャットダウン中のホストに対して再起動を実行できません。	要因 - 対処 再起動を実行する前に、ホストの電源を ON にしてください。
KASV10090-E	ライセンスが有効ではありません。	要因 有効なライセンスが登録されていないか、操作対象がライセンスの適用対象になっていません。 対処 (1.) または (2.) の対処を行ってください。 1. 有効なライセンスキーまたはライセンスファイルを登録してください。 2. 論理分割に関する操作でエラーになった場合は、有効な Logical Partitioning Manager プラグインライセンスがあることを確認し、なければ登録してください。有効なライセンスがある場合は、操作対象のリソースを持つブレードを論理分割の対象に追加してください。
KASV10091-E	電源制御の実行中にタイムアウトが発生しました。	要因 管理対象ホストまたはネットワークに問題があるおそれがあります。 対処 次の対処を実施してください。 1. Compute Systems Manager サーバとホスト間の通信ができることを確認してください。 2. WOL を使用している場合は、ホストがマジックパケットを受け取れる状態にあることを確認してください。 3. 電源制御の確認時間を見直してください。
KASV10092-E	電源制御の実行中にタイムアウトが発生しました。	要因 管理対象ホストまたはネットワークに問題があるおそれがあります。 対処 次の対処を実施してください。 1. Compute Systems Manager サーバとホスト間の通信ができることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2. 通信ポートの設定を確認してください。 3. WOLを使用している場合は、ホストがマジックパケットを受け取れる状態にあることを確認してください。 4. 電源制御の設定を確認してください。 5. 電源制御の確認時間を見直してください。
KASV10093-E	電源制御の実行中にタイムアウトが発生しました。	要因 管理対象ホストまたはネットワークに問題があるおそれがあります。 対処 次の対処を実施してください。 1. Compute Systems Manager サーバとホスト間の通信ができることを確認してください。 2. BMC 設定が正しいことを確認してください。 3. 電源制御の確認時間を見直してください。
KASV10094-E	OID (<OID 値>) はすでに登録されています。	要因 - 対処 別の OID を指定してください。
KASV10095-E	ループバックアドレス (<IP アドレス>) を探索対象にすることはできません。	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバ自身を探索する場合、ループバックアドレス (<IP アドレス>) 以外の IP アドレスを指定してください。
KASV10096-E	ホストの電源状態が正しく取得できないため、電源操作を中断しました。	要因 BMC の IP アドレスが誤っているおそれがあります。 対処 ホストに関連づけられている BMC 設定の IP アドレスを確認してください。
KASV10097-I	タスク[<タスク名>]が終了しました。	要因 - 対処 -
KASV10098-E	タスクの履歴自動削除ポーリング処理が失敗しました。	要因 - 対処 このメッセージの直前のメッセージを参照して対処してください。
KASV10099-I	自動リフレッシュを開始しました。 [<リフレッシュ対象>]	要因 - 対処 -
KASV10100-I	自動リフレッシュが終了しました。 [<リフレッシュ対象>]	要因 - 対処 -
KASV10101-E	この管理対象サーバの電源制御をする必要はありませんでした。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10102-E	電源制御の実行中にタイムアウトが発生しました。	<p>要因 管理対象サーバまたはネットワークに問題があるおそれがあります。</p> <p>対処 次の対処を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Compute Systems Manager サーバと SVP 間の通信ができることを確認してください。 2. 通信ポートの設定を確認してください。 3. SVP の設定が正しいことを確認してください。 4. 電源制御の確認時間を見直してください。
KASV10104-E	管理対象サーバに対して電源制御コマンドを実行できません。	<p>要因 -</p> <p>対処 Compute Systems Manager サーバと管理対象サーバ間の通信ができることを確認してください。</p>
KASV10105-E	シャットダウン中の管理対象サーバに対しては再起動できません。	<p>要因 -</p> <p>対処 再起動を実施する前に、サーバの電源を ON にしてください。</p>
KASV10106-E	電源制御の実行中にタイムアウトが発生しました。	<p>要因 管理対象サーバまたはネットワークに問題があるおそれがあります。</p> <p>対処 次の対処を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Compute Systems Manager サーバと SVP 間の通信ができることを確認してください。 2. SVP の設定が正しいことを確認してください。 3. 電源制御の確認時間を見直してください。
KASV10107-E	指定したサーバは見つかりませんでした。	<p>要因 指定したサーバは削除、または管理対象から外されたおそれがあります。</p> <p>対処 サーバが削除、または管理対象から外されていないことを確認してください。</p>
KASV10108-E	指定されたシャーシ、または、ラックマウントは見つかりませんでした。	<p>要因 指定されたシャーシ、または、ラックマウントは削除、または、管理除外されたおそれがあります。</p> <p>対処 シャーシ、または、ラックマウントが削除、または、管理対象外にされていないことを確認してください。</p>
KASV10109-E	サーバの構成情報を取得できませんでした。	<p>要因 指定したサーバが初期化中か、または構成情報更新中にネットワーク接続が切断されたおそれがあります。</p> <p>対処 Compute Systems Manager サーバと管理対象サーバ間の通信ができることを確認してください。最新のサーバ構成情報を取得するために、更新を実施してください。エラーが繰り返し発生</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		する場合、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10110-E	アラート ID (<アラート ID >) と、サーバ (<サーバ名 >) の組み合わせは、別のスクリプトコマンドですで使用されています。	要因 - 対処 スクリプトコマンドの設定を見直してください。
KASV10111-E	アラート ID (<アラート ID >) と、シャーシ (<シャーシ名 >) の組み合わせは、別のスクリプトコマンドですで使用されています。	要因 - 対処 スクリプトコマンドの設定を見直してください。
KASV10112-E	性能監視設定名 (<性能監視設定名 >) は、すでに使用されています。	要因 - 対処 異なる性能監視設定名を指定してください。
KASV10113-E	性能監視設定が見つかりませんでした。	要因 指定した性能監視設定は削除されたおそれがあります。 対処 性能監視設定が削除されていないことを確認してください。
KASV10114-E	性能情報自動削除機能を初期化できませんでした。	要因 - 対処 -
KASV10115-E	性能情報自動削除ポーリング処理が失敗しました。	要因 - 対処 このメッセージの直前のメッセージを参照して対処してください。
KASV10116-I	性能情報の自動削除ポーリング処理が完了しました。	要因 - 対処 -
KASV10117-E	性能情報取得設定が見つかりませんでした。	要因 指定した性能情報取得設定は削除されたおそれがあります。 対処 性能情報取得設定が削除されていないことを確認してください。
KASV10118-E	エンティティが見つかりませんでした。 (エンティティ = <エンティティ名 >)	要因 このエンティティはすでに削除されたおそれがあります。 対処 -
KASV10120-E	電力監視設定名 (<電力監視設定名 >) は、すでに使用されています。	要因 - 対処 異なる電力監視設定名を指定してください。
KASV10121-E	電力監視設定が見つかりませんでした。	要因 指定した電力監視設定は削除されたおそれがあります。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		電力監視設定が削除されていないことを確認してください。
KASV10122-E	指定したシャーン、または、ラックマウントのうちに、すでにほかの電力監視設定で使用されているシャーンがあります。	要因 - 対処 リストから使用できるシャーン、または、ラックマウントを選択してください。
KASV10123-E	データベースにアクセスできませんでした。	要因 - 対処 データベースが起動していることを確認し、起動していなければ、データベースを起動してください。データベースが起動している場合は、内部エラーが発生したおそれがあります。問題が解決しない場合は、Compute Systems Managerのマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10124-E	データベースを移行できませんでした。	要因 - 対処 しばらくしてから、再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合、Compute Systems Managerのマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10125-E	タスクを実行できませんでした。	要因 サーバの構成が変更されているおそれがあります。 対処 タスクを再度登録し、再度実行してください。
KASV10126-E	電力情報の自動削除ポーリング処理が失敗しました。	要因 - 対処 このメッセージの直前のメッセージを参照して対処してください。
KASV10127-I	電力情報の自動削除ポーリング処理が完了しました。	要因 - 対処 -
KASV10128-W	Compute Systems Manager は Device Manager サーバとデータを同期できません。	要因 次の原因が考えられます。 1. ポート<ポート番号>がサーバ内のほかのプログラムに使用されている。 2. Device Manager は、Compute Systems Manager と連携する準備が整っていない状態になっている。 対処 次のどれかの対処を実行してください。 1. ポート番号がほかのプログラムで使用されていないことを確認してください。すでに使用されている場合、server.rmi.port プロパティに設定されているポート番号を変更し、Hitachi Command Suite 製品の全サービスを再起動してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2. しばらくしてから、Hitachi Command Suite 製品のサービスを再起動してください。
KASV10129-W	チャンネルが閉塞したため、タスクの実行を中止します。	要因 多数の N+M タスクが実行されています。 対処 必要に応じてタスクの処理を手動で実施するか、またはタスクを再度作成してください。
KASV10130-E	N+M コールドスタンバイグループ名 <N+M グループ名> は、すでに使用されています。	要因 - 対処 異なる N+M グループ名を指定してください。
KASV10131-E	N+M コールドスタンバイグループが見つかりませんでした。	要因 指定した N+M コールドスタンバイグループは削除されたおそれがあります。 対処 表示を更新するため、リソースタブの [全 N+M コールドスタンバイグループ] を再表示してください。
KASV10132-E	N+M 切り替え処理履歴が見つかりませんでした。	要因 指定した N+M 切り替え情報は削除されたおそれがあります。 対処 表示を更新するため、リソースタブの [全 N+M コールドスタンバイグループ] を再表示してください。
KASV10133-E	N+M コールドスタンバイグループ情報が見つかりませんでした。	要因 指定した N+M コールドスタンバイグループ情報は削除されたおそれがあります。 対処 表示を更新するため、リソースタブの [全 N+M コールドスタンバイグループ] を再表示してください。
KASV10134-E	N+M コールドスタンバイグループ定義情報が見つかりませんでした。	要因 指定した N+M コールドスタンバイグループ情報は削除されたおそれがあります。 対処 表示を更新するため、リソースタブの [全 N+M コールドスタンバイグループ] を再表示してください。
KASV10135-E	指定した N+M コールドスタンバイグループは、削除できません。	要因 以下のどちらかの原因に該当します。(保守情報=<原因となったデータ>) 1. この N+M コールドスタンバイグループを使用するタスクが登録されたままです。 2. 正常に切り替えができなかった切り替えペアが存在しているか、"現用ブレードへの切り戻し", または"予備ブレードの現用化"が完了していない切り替えペアが存在しています。 対処 該当する原因と同じ項番の対処をした後に、N+M コールドスタンバイグループを削除してください。 1. 該当タスクを削除するか、タスクが完了するのを待ってください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2. 切り替えペアの状態が"切り替え失敗", "切り戻し失敗"の場合は, 状態のリンクからタスクの情報を確認し, タスクのメッセージに従って対処をしてください。切り替えペアの状態が"切り替え成功"の場合は, "現用ブレードへの切り戻し", または"予備ブレードの現用化"を行ってください。
KASV10136-E	このサーバは, <原因となったデータ>が参照しているため, 削除できません。	要因 - 対処 次の手順で対処してください。 1. タスクをキャンセルもしくは削除するか, またはタスクの状態が変わるのを待ってください。 2. このサーバを参照しているデータを削除または参照しないように見直してください。 3. このサーバを削除してください。
KASV10137-E	指定した現用ブレードが見つかりませんでした。	要因 指定した現用ブレード情報は削除されたおそれがあります。 対処 表示を更新するため, リソースタブの [全 N+M コールドスタンバイグループ] を再表示してください。
KASV10138-E	指定した予備ブレードが見つかりませんでした。	要因 指定した予備ブレード情報は削除されたおそれがあります。 対処 表示を更新するため, リソースタブの [全 N+M コールドスタンバイグループ] を再表示してください。
KASV10139-E	選択したサーバはすでにほかの N+M コールドスタンバイグループに属しています。	要因 - 対処 別のサーバを現用ブレード一覧から選択してください。
KASV10140-E	この IP アドレスのリソースは探索済みです。この IP アドレスに対する探索はスキップされました。	要因 - 対処 IP アドレスのリソースを再度探索したい場合は, [リソース探索] ダイアログで [詳細設定] を開いて, 探索タイプに [すべての IP アドレス] を設定して探索してください。なお, 探索済みのホスト上のハイパーバイザを探索する場合にも, [リソース探索] ダイアログで [詳細設定] を開いて, 探索タイプに [すべての IP アドレス] を設定して探索してください。
KASV10141-E	入力した VMM ブラウザ設定名 (<VMM ブラウザ設定名>) は, すでに使用されています。	要因 - 対処 異なる VMM ブラウザ設定名を指定してください。
KASV10142-E	指定した VMM ブラウザ設定が見つかりませんでした。	要因 指定した VMM ブラウザ設定は削除されたおそれがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 表示を更新するため、VMM ブラウザ設定画面を更新してください。
KASV10143-E	この IP アドレスは探索済みです。	要因 - 対処 -
KASV10201-E	仮想マシンの電源制御要求中にタイムアウトが発生しました。	要因 - 対処 -
KASV10204-E	指定した仮想マシンが見つからないか、または仮想マシンの電源状態が不明のため、仮想マシンの電源制御はできません。	要因 - 対処 仮想マシンの親ハイパーバイザーの情報を更新してください。
KASV10205-E	指定した仮想マシンは見つかりませんでした。	要因 指定した仮想マシンは削除されたか、または親ハイパーバイザーが管理対象外になったおそれがあります。 対処 親ハイパーバイザーをリフレッシュして、仮想マシンが管理対象になっていることを確認してください。
KASV10206-E	指定したイメージファイルがありません。	要因 指定したイメージファイルは削除されたおそれがあります。 対処 指定したパスにイメージファイルがあることを確認してください。
KASV10207-E	指定したデプロイテンプレート名(<replicationParameterName >)はすでに使用されています。	要因 - 対処 別の名前を指定してください。
KASV10208-E	デプロイテンプレートのアクセス中にエラーが発生しました。	要因 デプロイテンプレートが削除されたおそれがあります。 対処 デプロイテンプレート設定画面を再度開いてください。
KASV10209-E	指定したイメージファイル(ファイルパス = <ファイルパス >)は登録済みです。	要因 - 対処 -
KASV10210-E	指定した LPAR は見つかりません。	要因 指定した LPAR が削除されたか、LPAR が稼働する HVM、またはシャーシが管理対象から外されています。 対処 指定した LPAR が稼働するシャーシの構成情報を更新してください。LPAR が管理対象になっていることを確認してから、デプロイメントマネージャーのタスクを作成し直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10219-E	デプロイメントマネージャーのサービスを起動できません。	要因 - 対処 システムを再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合は、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10220-E	イメージファイル(<ファイルパス>)を削除できませんでした。	要因 - 対処 指定したイメージファイルの状態を見直してください。
KASV10221-E	デプロイメントマネージャーへの接続中に内部パラメーターエラーが発生しました。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10224-E	選択したデプロイメントマネージャーの管理対象が見つかりません。	要因 指定した管理対象が削除されたおそれがあります。 対処 管理対象が削除されていないことを確認してください。
KASV10225-E	デプロイメントマネージャーのライセンスキーを登録できません。	要因 - 対処 しばらくしてから、再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合、Compute Systems Managerのマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10226-E	デプロイメントマネージャーの内部パラメーターを書き込めません。	要因 パラメーターファイルが削除されたおそれがあります。 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10227-E	指定したドライブ名が見つかりません。	要因 - 対処 有効なドライブを指定してください。
KASV10228-E	指定したイメージファイルを削除できません。	要因 このイメージファイルを参照している実行中タスクがあります。 対処 タスクをキャンセルするか、またはタスクの完了を待ってから再実行してください。
KASV10229-W	指定したイメージファイルを削除すると、そのイメージファイルを参照している実行待ちタスクは失敗します。	要因 - 対処 タスクを削除するか、またはタスクの完了を待ってから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10230-E	電源制御の実行中にタイムアウトが発生しました。	<p>要因 電源制御の結果を確認できませんでした。操作対象のリソースまたはネットワークに問題があるおそれがあります。</p> <p>対処 操作対象のホストと親ハイパーバイザが Compute Systems Manager サーバと通信できることを確認してください。各ハイパーバイザのベンダーが提供している管理ソフトウェアを使ってハイパーバイザと仮想マシンが正常に動作していることを確認してください。</p>
KASV10231-E	ディスク構成情報の取得に失敗しました。	<p>要因 -</p> <p>対処 しばらくしてから、再度実行してください。</p>
KASV10232-E	デプロイメントマネージャーのサービスを起動できません。	<p>要因 デプロイメントの設定編集画面で指定した [クラスタ IP アドレスまたは指定の IP アドレス] に問題があります。</p> <p>対処 デプロイメントの設定編集画面で指定した [クラスタ IP アドレスまたは指定の IP アドレス] を確認してください。</p>
KASV10233-E	ディスク構成情報を取得できませんでした。	<p>要因 次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ターゲットに関連づけられたハードウェアドライバグループが誤っています。 2. ターゲットが準仮想化デバイスを持つ VM です。 3. ターゲットの HBA またはディスクコントローラーをデプロイメントマネージャーがサポートしていません。 <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハードウェアドライバグループの指定を確認し、再度実行してください。 2. ターゲットが VM の場合は、準仮想化デバイスを使用しない構成にし、再度実行してください。 3. ターゲットが、デプロイメントマネージャーでサポートしている HBA やディスクコントローラーを使用していることを確認してください。
KASV10234-E	管理対象ホストの電源状態を取得できませんでした。	<p>要因 認証情報が誤っているか、管理対象サーバまたはネットワークに問題があるおそれがあります。 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 管理対象ホストに接続するための認証情報を確認してください。 Compute Systems Manager サーバと管理対象ホスト間の通信ができることを確認してください。管理対象ホストが正常に動作していることを確認してください。</p>

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV10235-E	アラート ID (<アラート ID >) と、LPAR (<LPAR 名>) の組み合わせは、別のスクリプトコマンドですで使用されています。	要因 - 対処 スクリプトコマンドの設定を見直してください。
KASV10236-E	選択した LPAR が見つかりません。	要因 LPAR が削除されているか、または管理対象から外されています。 対処 ブレードの情報を更新してください。そのあと、LPAR が削除または管理対象から外されていないことを確認してください。
KASV10237-E	選択した HVM が見つかりません。	要因 ブレードがないか、ブレードが搭載されているシャーシが管理対象から外されています。 対処 ブレードが管理対象から外されていないことを確認してください。
KASV10238-E	LPAR のマイグレーションを中止しました。	要因 マイグレーションの構成診断を実行できませんでした。 対処 Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV10239-E	LPAR のマイグレーションを中止しました。	要因 マイグレーション処理の実行中にエラーが発生しました。 対処 次のメッセージの対処を実行してください。 (メッセージ=< Message >)
KASV10240-E	マイグレーションを中止しました。	要因 一時ファイルの作成でディスクアクセスエラーが発生しました。一時的な過負荷が発生している、またはディスク容量が不足しているおそれがあります。 対処 Compute Systems Manager がインストールされているディスク容量に空きがあることを確認し、再度実行してください。
KASV10241-E	マイグレーションを中止しました。	要因 マイグレーション処理中に SVP との通信でエラーが発生しました。 対処 通信状態を確認するため、ブレードの情報を更新してください。通信に問題がなかった場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV10242-E	Deactive 状態の LPAR に対して Reactivate は実行できません。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10243-E	マイグレーションを中止しました。	<p>要因 Compute Systems Manager で内部エラーが発生しました。一時的な過負荷が発生しているおそれがあります。</p> <p>対処 再実行してください。問題が継続して発生する場合は、Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV10244-E	LPAR のマイグレーションを中止しました。	<p>要因 LPAR が使用する PCI デバイスの種類と装着位置が異なる HVM 間の移動はできません。</p> <p>対処 HVM で使用できる PCI デバイスを確認してください。</p>
KASV10245-I	LPAR 作成に失敗したため、設定をスキップしました。	<p>要因 -</p> <p>対処 -</p>
KASV10246-I	LPAR を削除したため、設定をスキップしました。	<p>要因 -</p> <p>対処 -</p>
KASV10247-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先 HVM の LPAR 数が作成可能な最大数に達しています。</p> <p>対処 -</p>
KASV10248-E	マイグレーション状態のリカバリーに失敗しました。	<p>要因 SVP との通信でエラーが発生しました。</p> <p>対処 次のメッセージを参考に、ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバが稼働しているサーバのネットワーク状態に問題がないことを確認してください。<メッセージ></p>
KASV10249-E	指定したブレードを論理分割の対象に追加できませんでした。	<p>要因 Compute Systems Manager で内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV10250-I	ライセンスが有効ではないため、この HVM は管理できません。	<p>要因 -</p> <p>対処 この HVM を管理する場合は、論理分割機能のプラグインライセンスを登録してから、ブレードを論理分割の対象に追加してください。</p>
KASV10251-E	対象の HVM または LPAR を操作できません。	<p>要因 操作対象のブレードで HVM が無効になっています。</p> <p>対処 -</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		HVM 設定編集で、操作対象のブレードについて HVM を有効にしてから、再実行してください。
KASV10253-E	指定した LPAR に USB を Attach できません。	要因 Deactive 状態の LPAR に USB を Attach することはできません。 対処 LPAR を Active 状態にしてから、USB を Attach してください。
KASV10254-E	論理分割機能のプラグインライセンスが有効ではありません。	要因 Logical Partitioning Manager プラグインライセンスが登録されていないか、または期限が切れています。 対処 有効なライセンスを登録してください。
KASV10255-I	すべての項目の変更に変更に失敗したため、設定をスキップしました	要因 - 対処 -
KASV10256-E	LPAR を操作できません。	要因 HVM が起動していません。 対処 HVM を起動し、再実行してください。
KASV10258-E	このブレードを診断できません。	要因 ブレードが起動しています。 対処 管理対象サーバの電源を OFF にしてから、再実行してください。
KASV10259-I	このブレードを診断できません。	要因 現在このブレードに切り替えて運用しています。 対処 -
KASV10260-E	ブレードを診断中にエラーが発生しました。	要因 ブレードの Pre-configure が完了していないおそれがあります。 対処 SVP の Web コンソールを使用して Pre-configure を実行してください。操作手順は該当する機種ของผู้ザーズガイドを確認してください。
KASV10261-E	ブレードを診断中にタイムアウトが発生しました。	要因 管理対象サーバかネットワークに問題があるおそれがあります。 対処 1. ネットワーク、SVP、および Compute Systems Manager サーバの状態に問題がないことを確認してください。 2. ブレードの情報を更新してください。
KASV10262-E	指定した LPAR に、USB を Attach または Detach できません。	要因 HVM が起動していません。 対処 HVM を起動してから、再実行してください。
KASV10263-E	指定した LPAR に、USB を Attach または Detach できません。	要因 SVP または HVM と接続できませんでした。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対象 HVM が起動していることを確認してください。また、Compute Systems Manager が SVP および HVM と通信できることを確認するため、ブレードの情報を更新するタスクを実行し、タスクが成功することを確認してください。
KASV10264-E	登録しようとしたリソースの MAC アドレスが、無効となっている別のリソースと重複しています。	要因 - 対処 デプロイメントマネージャーの対象から無効となっているリソースを削除したあとで、再度登録してください。
KASV10265-E	LPAR のマイグレーションができません。	要因 移動元の HVM が削除、または管理対象から外されています。 対処 指定したリソースが稼働するシャーシの構成情報を更新してください。移動元の HVM が管理対象になっていることを確認してください。
KASV10266-E	LPAR のマイグレーションができません。	要因 移動先の HVM が削除、または管理対象から外されています。 対処 指定したリソースが稼働するシャーシの構成情報を更新してください。移動先の HVM が管理対象になっていることを確認してください。
KASV10267-E	LPAR のマイグレーション状態のリカバリーができません。	要因 HVM の情報を取得できません。 対処 HVM が起動していることを確認してください。
KASV10268-E	ファームウェアをアップデートできる I/O デバイスがありません。	要因 - 対処 ファームウェアをアップデートできる I/O デバイスを搭載したブレードを指定してください。
KASV10269-E	LPAR のマイグレーション状態のリカバリーができません。	要因 マイグレーション元またはマイグレーション先の HVM (IP アドレス:<IP アドレス>) が管理対象外になっているため、情報を取得できません。 対処 HVM (IP アドレス:<IP アドレス>) を管理対象として登録後、マイグレーション状態のリカバリーを再実行してください。
KASV10270-E	LPAR のマイグレーション状態のリカバリーができません。	要因 マイグレーション元またはマイグレーション先の HVM (IP アドレス:<IP アドレス>) の情報を取得できません。HVM が起動していないか、通信できない状態になっていることが考えられます。 対処 対象の HVM が起動していることを確認してください。また、Compute Systems Manager が SVP および HVM と通信できることを確認するため、ブレードの情報を更新し、タスクが成功することを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10271-E	LPAR のマイグレーションができません。	要因 移動先の HVM から、LPAR のマイグレーションに必要な情報を取得できません。移動先の HVM が起動していないことが考えられます。 対処 移動先の HVM が起動していることを確認してください。
KASV10272-E	LPAR のマイグレーションができません。	要因 移動元の HVM から、LPAR のマイグレーションに必要な情報を取得できません。移動元の HVM が起動していないことが考えられます。 対処 移動元の HVM が起動していることを確認してください。
KASV10273-E	この管理対象ホストの電源を制御する必要はありません。	要因 管理対象ホストがすでに停止しているか、通信できない状態になっています。 対処 管理対象ホストが起動している場合、Compute Systems Manager サーバと管理対象ホストが通信できることを確認してください。
KASV10274-E	指定したリソースグループがありません。	要因 指定したリソースグループが削除された可能性があります。 対処 リソースグループが削除されていないことを確認してください。
KASV10275-E	指定したリソースグループ名はすでに使用されています。(リソースグループ名=<リソースグループ名>)	要因 - 対処 異なるリソースグループ名を指定してください。
KASV10277-E	指定したリソースはほかのリソースグループに登録されています。	要因 - 対処 リソースグループに登録されていないリソースを指定してください。または、ほかのリソースグループへの登録を解除してから指定してください。
KASV10278-E	指定したリソースがありません。	要因 指定したリソースが削除された可能性があります。 対処 リソースが削除されていないことを確認してください。
KASV10279-E	指定したユーザーグループがありません。	要因 指定したユーザーグループが削除された可能性があります。 対処 ユーザーグループが削除されていないことを確認してください。
KASV10280-E	指定したユーザーグループ名はすでに使用されています。(ユーザーグループ名=<ユーザーグループ名>)	要因 - 対処 異なるユーザーグループ名を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV10282-E	製品インストール時に作成されるビルトインユーザーグループ、または System ユーザーの情報が見つかりません。	要因 製品内部のシステム情報が不正な状態になっていると考えられます。 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV10283-E	指定したユーザーが登録されていません。	要因 指定したユーザーが削除された可能性があります。 対処 ユーザーが削除されていないことを確認してください。
KASV10284-E	ユーザーは、すでに指定されたユーザーグループに登録されています。	要因 - 対処 ユーザーグループへの登録状況を確認し、未登録の場合は再実行してください。
KASV10285-E	追加できるユーザーはありません。	要因 指定したユーザーは、編集対象のユーザーグループにすでに登録されています。 対処 ユーザーグループに登録されていないユーザーを指定して、再実行してください。
KASV10286-E	削除できるユーザーはありません。	要因 指定したユーザーは、編集対象のユーザーグループに登録されていません。 対処 ユーザーグループに登録されているユーザーを指定して、再実行してください。
KASV10287-E	割り当てられるリソースグループはありません。	要因 指定したリソースグループは、編集対象のユーザーグループにすでに割り当てられています。 対処 ユーザーグループに割り当てられていないリソースグループを指定して、再実行してください。
KASV10288-E	削除できるリソースグループはありません。	要因 指定したリソースグループは、編集対象のユーザーグループに割り当てられていません。 対処 ユーザーグループに割り当てられているリソースグループを指定して、再実行してください。
KASV10289-E	ロールを変更できるリソースグループはありません。	要因 リソースグループには指定したロールがすでに割り当てられています。 対処 変更する必要があるリソースグループとロールを指定して、再実行してください。
KASV10290-I	指定した LPAR をマイグレーションできません。	要因 指定した LPAR は、すでにほかの HVM へ移動しています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		移動先を変更する必要がある場合は、新規にマイグレーションしてください。
KASV10291-E	LPAR マイグレーションには成功しましたが、移動前の LPAR に関連付けられていたアラート、タスク、およびスクリプトコマンドの情報を、移動先へ引き継ぐことに失敗しました。	<p>要因 データベースにアクセスできませんでした。(保守情報:<保守情報>)</p> <p>対処 データベースが起動していない場合は起動してください。引き継ぎに失敗した情報を、移動前の状態に回復する方法はないため、アラートと実行済みのタスクについては、LPAR の名称をキーに参照するようにしてください。実行予定のタスクとスクリプトコマンドは、移動後の LPAR で実行されるように再作成してください。</p>
KASV10293-E	この IPMI 認証情報は、<原因となったデータ>から参照されているため、編集できません。	<p>要因 -</p> <p>対処 タスクをキャンセルするか、タスクが完了してから再実行してください。</p>
KASV10294-E	この<BMC>設定は、<原因となったデータ>から参照されています。	<p>要因 -</p> <p>対処 タスクを削除するか、タスクが完了してから再実行してください。</p>
KASV10295-E	指定したマネジメント LAN モジュールは見つかりませんでした。	<p>要因 指定したマネジメント LAN モジュールがシャーシから取り外された、またはマネジメント LAN モジュールがあるシャーシが管理対象から外されたことが考えられます。</p> <p>対処 マネジメント LAN モジュールがあること、またマネジメント LAN モジュールがあるシャーシが管理対象になっていることを確認してください。</p>
KASV10296-E	指定した I/O ボードモジュールは見つかりませんでした。	<p>要因 指定した I/O ボードモジュールがシャーシから取り外された、または I/O ボードモジュールがあるサーバが管理対象から外されたことが考えられます。</p> <p>対処 I/O ボードモジュールがあること、また I/O ボードモジュールがあるサーバが管理対象になっていることを確認してください。</p>
KASV10297-I	指定したブレードは論理分割の対象ブレードに登録されていないため、この HVM を管理できません。	<p>要因 -</p> <p>対処 この HVM を管理する場合は、ブレードを論理分割の対象に追加してください。</p>
KASV10298-E	削除しようとした IPMI 認証情報は、<原因となったデータ>から参照されているため、削除できません。	<p>要因 -</p> <p>対処 この IPMI 認証情報を参照しているデータを見直してください。</p>
KASV10299-E	ブートオーダー(<ブートオーダー番号>)にブートできないデバイスが指定されたため、設定を中断します。	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Compute Systems Manager のほかのユーザーまたは Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象 HVM または LPAR のデバイス構成が変更されたことが考えられます。 対処 ブレードの情報を更新し、必要に応じてブートオーダーを変更してください。
KASV10300-E	IPv4 互換アドレス、IPv4 射影アドレス、および未指定アドレスを探索できません。	要因 - 対処 -
KASV10301-E	Device Manager との通信設定が無効になっているため、マイグレーション WWPN の自動登録の設定を変更できません。	要因 - 対処 [管理] タブの [HDvM 通信] で Device Manager との通信を有効にしてから再実行してください。
KASV10303-E	この設定は、マイグレーション WWPN の自動登録が有効になっている時は変更できません。	要因 - 対処 マイグレーション WWPN の自動登録設定を無効にしてから再実行してください。
KASV10304-E	Device Manager との通信設定が無効になっているため、ストレージシステム情報が取得できませんでした。	要因 - 対処 [管理] タブの [HDvM 通信] で Device Manager との通信を有効にしてから再実行してください。

2.3 KASV20000～KASV29999

Compute Systems Manager に関するメッセージ (KASV20000～KASV29999) を次の表に示します。

表 2-3 KASV20000～KASV29999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV22000-E	メッセージ管理サービスの初期化中に予期しないエラーが発生しました。 (コード=<コード>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバを再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV22001-E	内部ファイルの読み込みができませんでした。(保守情報: <保守情報>, <ファイル名>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバを再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV22002-E	プロパティファイルの読み込みができませんでした。(プロパティファイル	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	名：<プロパティファイル名>，エラーコード：<エラーコード>	対処 次の対処をしてください。 1. Compute Systems Manger がプロパティファイルに対するアクセス権を持っていることを確認してください。 2. プロパティファイルを開いて、内容に問題がないことを確認してください。
KASV22003-E	プロパティ名に誤りがあります。(プロパティ名:<プロパティ名>)	要因 - 対処 プロパティファイルに正しいプロパティ名を指定してください。
KASV22004-E	内部ファイルに誤りがあります。保守情報:<保守情報>	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバを再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KASV22005-E	プロパティが定義されていません。(プロパティ名:<プロパティ名>)	要因 - 対処 プロパティファイルを修正した場合は、元の正しいプロパティ値に戻してください。
KASV22006-E	プロパティの設定値に範囲外の数値が設定されています。(プロパティ名:<プロパティ名>，設定値:<設定値>，設定可能最小値:<設定可能最小値>，設定可能最大値:<設定可能最大値>)	要因 - 対処 プロパティファイルに正しい値を設定してください。
KASV22007-E	プロパティの設定値の長さが正しくありません。(プロパティ名:<プロパティ名>，設定値:<設定値>，最小文字列長:<最小文字列長>，最大文字列長:<最大文字列長>)	要因 - 対処 プロパティファイルに正しい値を設定してください。
KASV22008-E	プロパティの設定値が数字以外か、または Integer.MIN_VALUE から Integer.MAX_VALUE の範囲外です。(プロパティ名:<プロパティ名>，設定値:<設定値>)	要因 - 対処 プロパティファイルに正しい値を設定してください。
KASV22009-E	プロパティの設定値が数字以外か、または Long.MIN_VALUE から Long.MAX_VALUE の範囲外です。(プロパティ名:<プロパティ名>，設定値:<設定値>)	要因 - 対処 プロパティファイルに正しい値を設定してください。
KASV22010-E	予期しないエラーが発生しました。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV22011-E	予期しないエラーが発生しました。保守情報:<保守情報>	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV22012-E	予期しないエラーが発生しました。保守情報：<保守情報 1 >，<保守情報 2 >	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV22034-E	ログサービスの初期化中に予期しないエラーが発生しました。(コード=<コード>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバを再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV22035-E	子プロセスが起動できませんでした。(保守情報：<保守情報>)	要因 スクリプトコマンド設定のコマンドパスに誤りがあるおそれがあります。 対処 スクリプトコマンド設定のコマンドパスを確認してください。
KASV22036-E	子プロセスの終了待ち中にタイムアウトが発生しました。(保守情報：<保守情報>)	要因 - 対処 -
KASV22037-E	E-mail が送信できませんでした。	要因 - 対処 E-mail 通知の設定が正しいことを確認してください。また、次の E-mail に関連する環境設定を見直してください。 1. SMTP サーバの状態と設定。 2. ネットワークの状態。
KASV22038-E	データベースの初期化に失敗しました。	要因 - 対処 データベースと Compute Systems Manager サーバを再起動してください。
KASV22039-E	ロギングサービスの初期化に失敗しました。	要因 - 対処 次の対処をしてください。 1. ディスクの空き容量を確認してください。 2. "logs"ディレクトリのアクセス権を確認してください。 3. "logs"ディレクトリを空にして、Compute Systems Manager を再起動してください。
KASV22040-E	サーバが起動できませんでした。	要因 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		対処 Compute Systems Manager サーバを再起動してください。
KASV22041-E	ログファイルの作成または書き込みができませんでした。(ログファイル名: <ログファイルの絶対パス>)	要因 - 対処 ログファイルおよびログファイルがあるディレクトリのアクセス権を確認してください。また、ディスクの空き容量があることを確認してください。
KASV22045-E	プロパティの設定値に誤りがあります。(プロパティ名:<プロパティ名>, 設定値:<設定値>, 有効値:<有効値>)	要因 - 対処 プロパティファイルに有効な値を設定してください。
KASV22048-I	保守情報: <information >	要因 - 対処 -
KASV23001-E	<コマンド名> is not a valid command name.	要因 コマンド名が不正です。 対処 正しいコマンド名を指定してください。
KASV23002-E	< Compute Systems Manager サーバの別名 > does not match any of the HCSM server alias names found in the .csmrc file.	要因 指定した Compute Systems Manager サーバの別名が、.csmrc ファイルで定義したものと一致しませんでした。 対処 Compute Systems Manager サーバを示す正しい別名 (alias name) を指定してください。
KASV23003-E	<パラメーター> is not a valid server option.	要因 サーバを示すパラメーターが不正です。 対処 サーバの位置を示す正しいパラメーターを指定してください。
KASV23004-E	<パラメーター> is not a valid argument for <サブコマンド名>.	要因 サブコマンドのパラメーターが不正です。 対処 指定したサブコマンドに対して正しい引数を指定してください。
KASV23005-E	The .csmrc file located at <ファイルパス> is not a regular file.	要因 .csmrc ファイルの内容が不正です。 対処 正しいホームディレクトリを環境変数 CSMHOME に設定し、.csmrc ファイルを削除したあと、コマンドを再度実行してください。
KASV23006-E	The .csmrc file located at <ファイルパス> is not readable.	要因 .csmrc ファイルを読み込めませんでした。 対処 .csmrc ファイルと、.csmrc ファイルのあるディレクトリのアクセス権を確認してください。
KASV23007-E	The .csmrc file located at <ファイルパス> could not be opened. [Cause: <エラーメッセージ>]	要因 .csmrc ファイルを開けませんでした。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		メッセージの Cause に出力される内容を参照してエラーの原因を解決してください。
KASV23008-E	The .csmrc file located at <ファイルパス> could not be read. [Cause: <エラーメッセージ>]	要因 .csmrc ファイルを読み込みませんでした。 対処 メッセージの Cause に出力される内容を参照してエラーの原因を解決してください。
KASV23009-E	The .csm sessions file located at <ファイルパス> could not be read. [Cause: <エラーメッセージ>]	要因 .csm sessions ファイルを読み込みませんでした。 対処 メッセージの Cause に出力される内容を参照してエラーの原因を解決してください。
KASV23010-E	The HCSM CLI home directory could not be located. None of the environment variables <環境変数値> are set.	要因 Compute Systems Manager の CLI のホームディレクトリが、環境変数に設定されていません。 対処 Compute Systems Manager の CLI のホームディレクトリのパスを環境変数に設定してください。
KASV23011-E	The HCSM CLI session file .csm sessions could not be written to <ファイルパス>. [Cause: <エラーメッセージ>]	要因 Compute Systems Manager の CLI の .csm sessions ファイルの書き込みに失敗しました。 対処 メッセージの Cause に出力される内容を参照してエラーの原因を解決してください。
KASV23012-E	The environment variable <環境変数名> [<環境変数値>] does not point to a directory.	要因 環境変数で指定したディレクトリが不正です。 対処 環境変数で正しいディレクトリを指定していることを確認してください。
KASV23013-E	The environment variable <環境変数名> [<環境変数値>] does not point to a writable directory.	要因 環境変数で指定したディレクトリには、書き込みできません。 対処 環境変数で書き込みできるディレクトリを指定していることを確認してください。
KASV23014-E	The home directory could not be determined from environment variables HOME or USERPROFILE.	要因 環境変数 HOME または USERPROFILE でホームディレクトリが指定されていないか、または誤りがあります。 対処 .csmrc ファイルの親ディレクトリのパスを、環境変数 HOME または USERPROFILE に設定してください。
KASV23015-E	Could not write to <ファイルパス> [Cause: <エラーメッセージ>].	要因 ファイルへの書き込みに失敗しました。 対処 メッセージの Cause に出力される内容を参照してエラーの原因を解決してください。
KASV23016-E	Option argument is missing after <パラメーター>.	要因 パラメーターに指定された値が不正です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 正しいパラメーターを指定してください。
KASV23017-E	<出力形式> is not a valid output style. It must be xml or csv or csv-no-header.	要因 出力形式として使用できる xml, csv, または csv-no-header のうち、どれも指定されていません。 対処 正しい出力形式の値を-format パラメーターで指定してください。
KASV23018-E	<値> could not be read as an integer for <パラメーター>.	要因 - 対処 正しい整数値を指定してください。
KASV23019-E	<値> could not be read as a date for <パラメーター>. Date format is: YYYY/MM/DD	要因 - 対処 日付を YYYY/MM/DD の形式で指定してください。
KASV23020-E	<値> could not be read as a time for <パラメーター>. Time format is: YYYY/MM/DD HH:SS:SS	要因 - 対処 日時を YYYY/MM/DD HH:MM:SS の形式で指定してください。
KASV23021-E	<値> is not a valid value for <パラメーター>.	要因 - 対処 パラメーターと値を、正しい組み合わせで指定してください。
KASV23022-E	Unknown subcommand : <サブコマンド名>	要因 - 対処 正しいサブコマンド名を指定してください。
KASV23023-E	The argument <パラメーター> cannot be combined with other arguments.	要因 単独で指定しなければならないパラメーターが、ほかのパラメーターと組み合わせて指定されています。 対処 正しい値の組み合わせを指定してください。
KASV23024-E	The arguments <パラメーター> cannot be specified together.	要因 同時に指定できないパラメーター同士が指定されています。 対処 正しいパラメーターを指定してください。
KASV23025-E	Value for attribute(s) <属性値> must be specified in a name=value style argument.	要因 属性値が name=value の形式ではありません。 対処 正しいパラメーターを指定してください。
KASV23026-E	Discovery protocol must be specified to WMI or SSH.	要因 探索用のプロトコルの指定に誤りがあります。 対処 プロトコルには、WMI または SSH を指定してください。
KASV23027-E	Duplicate -format option : <出力形式>	要因

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		-format パラメーターが複数回指定されています。 対処 -format パラメーターは 1 回だけ指定してください。
KASV23028-E	-count option cannot be specified with -describe option.	要因 このパラメーターの組み合わせは不正です。 対処 -count または -describe パラメーターのどちらかを指定してください。
KASV23029-E	The argument <パラメーター> can only be specified once.	要因 同じパラメーターが複数回指定されています。 対処 このオプションは一回だけ指定してください。
KASV23030-E	Date parameter is only allowed when schedule = Later is specified.	要因 schedule=Later がないにも関わらず date パラメーターが指定されました。 対処 date パラメーターを削除するか、または schedule=Later を指定してください。
KASV23031-E	Date parameter must be specified when schedule = Later is specified.	要因 schedule=Later があるにも関わらず date パラメーターが指定されていません。 対処 date パラメーターを指定するか、または schedule=Now を指定してください。
KASV23032-E	<IP アドレス> : is an invalid IP address.	要因 - 対処 正しい IP アドレスを指定してください。
KASV23033-E	<タスク ID > : is an invalid task ID. Only digits are allowed for Task ID values.	要因 - 対処 正しいタスク ID を指定してください。
KASV23034-E	The user cannot log in using the specified user ID or password. Verify that the user ID and the password are correct, and confirm with the system administrator that the assigned resource group and role are correct.	要因 指定したユーザー ID、パスワードではログインできません。 対処 ユーザー ID とパスワードが正しいことを確認し、割り当てられているリソースグループとロールが適切であることをシステム管理者に確認してください。
KASV23035-E	The argument values are repeated.	要因 - 対処 オプションには値を一回だけ指定してください。
KASV23036-E	Specified schedule time <日付> is past.	要因 スケジュールに過去の日付が指定されました。 対処 未来の日付を指定してください。
KASV23037-E	The arguments are repeated.	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		パラメーターが重複しないように指定してください。
KASV23038-E	Internal HCSM CLI error. SOAP Factory was not initialized.	要因 - 対処 再度コマンドを実行してください。問題が継続している場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23039-E	Unexpected data was sent back from the address specified as the HCSM Server <ホスト名> : <ポート番号>. Please wait for a while and then try again. If the same message is displayed repeatedly, verify the HCSM server address and port number.	要因 接続先のサーバが Compute Systems Manager サーバでないか、または初期化が完了していない可能性があります。 対処 Compute Systems Manager サーバとして正しいホストが指定されていることを確認してください。また、 Compute Systems Manager サーバのポート番号を確認してください。それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23040-E	The given HCSM hostname <ホスト名> is not in proper syntax.	要因 指定した Compute Systems Manager サーバのホスト名が不正です。 対処 正しいホスト名または IP アドレスを指定してください。
KASV23041-E	The HCSM host <ホスト名> is unknown.	要因 指定した Compute Systems Manager サーバのホスト名を解決できません。 対処 Compute Systems Manager サーバとして正しいホスト名を指定したことを確認してください。
KASV23042-E	The HCSM Server is not responding at the specified address <ホスト名> : <ポート番号>. The server may not have started.	要因 Compute Systems Manager サーバからの応答がありません。 Compute Systems Manager サーバが起動していない可能性があります。 対処 Compute Systems Manager サーバとして正しいホスト、ポート番号が指定されていることを確認し、 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。
KASV23043-E	The HCSM server license is invalid or has expired.	要因 Compute Systems Manager サーバのライセンスキーが無効か、または期限が切れています。 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスファイルを登録してください。
KASV23044-E	You do not have permissions to execute the operation.	要因 この Compute Systems Manager の操作を行う権限がありません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ユーザー管理できる権限を持つユーザーに問い合わせてください。
KASV23045-E	Another user is executing a command.	要因 同じホームディレクトリを持つユーザーが同時に Compute Systems Manager の CLI を使用している可能性があります。 対処 しばらく待ってから、再度実行してください。問題が解決しない場合は、ホームディレクトリを変更してください。
KASV23046-E	Web service (SOAP) error at request to server located at < Compute Systems Manager サーバの URL > [Internal error message : <エラーメッセージ>]. Please wait for a while and then try again. If the same message is displayed repeatedly, verify the HCSM server address and port number.	要因 接続先のサーバが Compute Systems Manager サーバでないか、または初期化が完了していない可能性があります。 対処 Compute Systems Manager サーバとして正しいホストが指定されていることを確認してください。また、Compute Systems Manager サーバのポート番号を確認してください。それでも問題が解決しない場合は、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23047-E	The query caused an error at the server. [server return code = <エラーコード> , message = <エラーメッセージ>]	要因 Compute Systems Manager サーバ上でエラーが発生しました。 対処 再度コマンドを実行してください。問題が継続している場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23048-E	The query caused an HTTP error. [HTTP response code = <エラーコード> , message = <エラーメッセージ>]	要因 Compute Systems Manager サーバ上でエラーが発生しました。 対処 再度コマンドを実行してください。問題が継続している場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23049-E	Cannot access HCSM query result service for server location : < Compute Systems Manager サーバ > [Internal error message : <エラーメッセージ>]	要因 Compute Systems Manager サーバ上でエラーが発生しました。 対処 再度コマンドを実行してください。問題が継続している場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23050-E	Error occurred while reading query result from server location : < Compute Systems Manager サーバ >	要因 Compute Systems Manager サーバ上でエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	[Internal error message : <エラーメッセージ>]	対処 再度コマンドを実行してください。問題が継続している場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23051-E	Some of the information for the current command is not sent from Server : < Compute Systems Manager サーバ>	要因 コマンドの送信に失敗しました。 対処 再度コマンドを実行してください。問題が継続している場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager を参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23052-E	The HCSM Server sent invalid values for the chunk content length : < Compute Systems Manager サーバ>	要因 Compute Systems Manager サーバからの応答に不正があります。 対処 再度コマンドを実行してください。問題が継続している場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23053-E	The HCSM server login session was not found or has expired. Log in to the server with 'csm login' and try again.	要因 Compute Systems Manager サーバにログインしていないか、ログインセッションが時間切れです。 対処 ログインして再度コマンドを実行してください。
KASV23054-E	Web Service connection error for server at < Compute Systems Manager サーバの URL > [Error : <エラーメッセージ>]	要因 Compute Systems Manager サーバとの通信に失敗しました。 対処 再度コマンドを実行してください。問題が継続している場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23055-E	Web Service error for server at < Compute Systems Manager サーバの URL > [Error : <エラーメッセージ>]	要因 Compute Systems Manager サーバとの通信に失敗しました。 対処 再度コマンドを実行してください。問題が継続している場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23056-E	The requested operation failed at the HCSM server [resultCode=<エラー>]	要因 Compute Systems Manager サーバ上でエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	コード>, message=<エラーメッセージ>]	対処 -
KASV23057-E	The specified credential was not found in the database.	要因 Compute Systems Manager サーバ上でエラーが発生しました。 対処 -
KASV23058-E	The specified task name was not found in the database.	要因 指定したタスク名が見つかりませんでした。 対処 正しいタスク名を指定してください。
KASV23059-E	The specified IP address was not found in the database.	要因 指定した IP アドレスが見つかりませんでした。 対処 管理対象ホストの正しい IP アドレスを指定してください。
KASV23060-E	Registration of task failed at the server. [server return code = <エラーコード>, message = <エラーメッセージ>]	要因 Compute Systems Manager サーバ上でタスクの登録に失敗しました。 対処 メッセージの message に出力される内容を参照して対処してください。
KASV23061-E	Execution of task failed. [server return code = <エラーコード>, message = <エラーメッセージ>]	要因 Compute Systems Manager サーバ上でタスクの実行に失敗しました。 対処 メッセージの message に出力される内容を参照して対処してください。
KASV23062-E	Count of IP address and hosts are not consistent.	要因 指定した IP アドレスとホストの数が一致しません。 対処 各管理対象ホストに一つずつ IP アドレスを指定してください。
KASV23063-E	The HCSM server version is too old to operate with this HCSM CLI. The maximum supported protocol version at the HCSM server is <最大プロトコルバージョン> whereas the minimum supported protocol version at the HCSM CLI is <最小プロトコルバージョン>. Consider upgrading the HCSM server.	要因 Compute Systems Manager サーバのバージョンが古いです。 対処 Compute Systems Manager サーバをアップグレードしてください。
KASV23064-E	The specified credential already exists in the database.	要因 指定した認証情報はすでに存在しています。 対処 異なる認証情報を指定してください。
KASV23065-E	Attempt to log in has failed due to an error within the HCSM server. Server result code = <エラーコード>, Message received from server : <エラーメッセージ>	要因 Compute Systems Manager サーバ上でエラーが発生したため、ログインに失敗しました。 対処 メッセージに従ってエラーの原因を解決し、再度コマンドを実行してください。問題が継続している場合は、次の手順を実施してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>1. Compute Systems Manage サーバを再起動する。</p> <p>2. HBase が別のマシンにある場合は HBase を再起動する。</p> <p>それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KASV23066-E	Logout failed due to error within the HCSM server. Server result code = <エラーコード>, Message received from server : <エラーメッセージ>	<p>要因 ログアウト中にエラーが発生しました。</p> <p>対処 -</p>
KASV23067-E	The HCSM CLI version is too old to operate with the HCSM server. The minimum supported protocol version at the HCSM server is {0} whereas the maximum supported protocol version at the HCSM CLI is <最大プロトコルバージョン>. Consider upgrading the HCSM CLI.	<p>要因 Compute Systems Manager の CLI のバージョンが古いです。</p> <p>対処 Compute Systems Manager サーバから CLI をインストールしてください。</p>
KASV23068-E	The environment variable <環境変数名> is not specified.	<p>要因 環境変数が設定されていません。</p> <p>対処 環境変数にホームディレクトリのパスを設定してください。</p>
KASV23069-E	Specified elapseTime [<値>] is invalid. Specify value between 0 and 9999. Specify time as '0' to set the default value.	<p>要因 elapseTime パラメーターで指定できる範囲を超えています。</p> <p>対処 0 から 9999 の範囲で指定してください。</p>
KASV23070-E	<値> could not be read as digits for <パラメーター>. Specify only digits for <パラメーター>.	<p>要因 パラメーターが 10 進数で指定されていません。</p> <p>対処 10 進数で指定してください。</p>
KASV23071-E	The specify port number is invalid.	<p>要因 指定されたポート番号が無効な値です。</p> <p>対処 1 から 65535 の範囲の数値を入力してください。</p>
KASV23072-E	The input value is invalid.	<p>要因 入力された値が無効な値です。</p> <p>対処 "y" または "n" を入力してください。</p>
KASV23073-E	The parameter (< argument name >) contains an invalid character.	<p>要因 -</p> <p>対処 パラメーターから制御文字を取り除き、再度実行してください。</p>
KASV23074-E	"<MAC アドレス>" is an invalid MAC address.	<p>要因 指定した MAC アドレスに誤りがあります。</p> <p>対処 正しい MAC アドレス(16 進数)を指定してください。MAC アドレスの書式は NN:NN:NN:NN:NN:NN です。</p>
KASV23075-E	Linux edition of HCSM server does not support Deployment Manager.	<p>要因 -</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Linux 版の HCSM サーバはデプロイメントマネージャーをサポートしていません。 対処 デプロイメントマネージャーが稼働している Windows 版の HCSM サーバにログインし、再実行してください。
KASV23076-E	The Deployment Manager component is not installed on the HCSM server.	要因 HCSM サーバにデプロイメントマネージャーがインストールされていません。 対処 デプロイメントマネージャーが稼働している Windows 版の HCSM サーバにログインし、再実行してください。
KASV23077-E	The Deployment Manager plug-in license is not registered or has expired.	要因 デプロイメントマネージャーのプラグインライセンスが登録されていないか、または期限が切れています。 対処 有効なライセンスを登録してください。
KASV23078-E	The specified MAC address was not found.	要因 指定した MAC アドレスが見つかりませんでした。 対処 HCSM サーバに追加したデプロイメントリソースの MAC アドレスを指定してください。
KASV23079-E	The specified MAC address has a conflict on the HCSM server.	要因 指定した MAC アドレスが競合しています。 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23080-E	The specified image file was not found.	要因 指定したイメージファイルが見つかりませんでした。 対処 HCSM サーバのデプロイメントマネージャーで管理されているイメージファイルを指定してください。
KASV23081-E	An internal error occurred while running the CLI. (Maintenance information=<保守情報>)	要因 内部エラーが発生しました。(Maintenance information=<保守情報>) 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23082-E	The request caused an HTTP error. [HTTP response code = <エラーコード>, message = <エラーメッセージ>]	要因 HTTP エラーが発生しました。[HTTP response code = <エラーコード>, message = <エラーメッセージ>] 対処 しばらく待ってから、再実行してください。問題が継続している場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23083-E	"<入力値>" is not a valid value for diskNo. A disk number must be an integer from 1 to 1000.	要因 diskNo に指定した"<入力値>"が不正です。ディスク番号は 1~1000 の範囲で指定してください。 対処 ディスク番号を 1~1000 の範囲で指定してください。
KASV23084-E	"<入力値>" is not a valid value for partitionNo. A partition number must be an integer from 1 to 1000.	要因 partitionNo に指定した"<入力値>"が不正です。パーティション番号は 1~1000 の範囲で指定してください。 対処 パーティション番号を 1~1000 の範囲で指定してください。
KASV23085-E	"<入力文字列>" is too long for <パラメーター名>. A file name must be 128 bytes or less.	要因 <パラメーター名>に指定した"<入力文字列>"が長すぎます。ファイル名は 128 バイト以内で指定してください。 対処 ファイル名を 128 バイト以内で指定してください。
KASV23086-E	"<入力文字列>" is not a valid absolute path name for <パラメーター名>.	要因 <パラメーター名>に指定したパス名に誤りがあります。 <パラメーター名>に指定した"<入力文字列>"が絶対パスで指定されていません。 対処 正しい絶対パスを指定してください。 <パラメーター名>は絶対パスで指定してください。
KASV23087-E	"<入力文字列>" is not a valid path name for <パラメーター名>. The following characters cannot be used in file and directory names: /*?<>" :	要因 <パラメーター名>に指定した"<入力文字列>"が不正です。ファイル名またはディレクトリ名に次の文字は使用できません。/*?<>" : 対処 ファイル名またはディレクトリ名に使用できる文字列を指定してください。
KASV23088-E	"<入力文字列>" is not a valid file extension for <パラメーター名>. The file extension must be ".lbr".	要因 <パラメーター名>に指定した"<入力文字列>"が不正です。拡張子は*.lbr でなければなりません。 対処 ファイル名には*.lbr の拡張子を指定してください。
KASV23089-E	The host running on the specified licensed resource is unmanaged.	要因 指定したデプロイメントリソース上のホストが管理対象になっていません。 対処 指定したデプロイメントリソース上のホストが管理対象になっていることを確認してください。
KASV23090-E	The specified licensed resource is deleted or unmanaged.	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>指定したデプロイメントリソースは削除されているか、または管理対象から外されています。</p> <p>対処 指定したデプロイメントリソースが削除、または管理対象から外されていないことを確認してください。</p>
KASV23091-E	The "<入力文字列>" specified for <パラメーター名> is invalid. Specify December 31, 2100 or a date before December 31, 2100 for <パラメーター名>.	<p>要因 <パラメーター名>に指定した"<入力文字列>"は範囲外です。<パラメーター名>は2100/12/31までの日付で指定してください。</p> <p>対処 <パラメーター名>を2100/12/31までの日付で指定してください。</p>
KASV23092-E	The logical partitioning setting for the specified licensed resource with the MAC address:<MAC アドレス> was modified.	<p>要因 指定したデプロイメントリソースの論理分割の設定が変更されています。(MAC アドレス:<MAC アドレス>)</p> <p>対処 指定したデプロイメントリソースが LPAR の場合、対象サーバの論理分割を有効にしてから、再実行してください。処理の対象がサーバの場合、論理分割を無効にしてから、再実行してください。</p>
KASV23093-E	The LPAR that has the specified MAC address ("<MAC アドレス>") is being migrated, or has a status of Recovery Required or Non-recoverable Failure.	<p>要因 指定した MAC アドレス("<MAC アドレス>")の LPAR はマイグレーション中か、マイグレーション状態がリカバリー要、またはリカバリー不可になっています。</p> <p>対処 LPAR のマイグレーションが完了してからタスクを再実行してください。LPAR のマイグレーション状態がリカバリー要の場合は、マイグレーション状態のリカバリーを実行してから再実行してください。LPAR のマイグレーション状態がリカバリー不可の場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して復旧させてから再実行してください。</p>
KASV23094-E	The specified template name "<ユーザー入力値>" for <パラメーター名> is invalid. A string that includes only spaces and numerical characters or includes an invalid character cannot be used. Valid characters are: A-Z a-z 0-9 - _ space and multibyte characters.	<p>要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が不正なテンプレート名です。数字と半角スペースだけの文字列や無効な文字を含む文字列は使用できません。有効な文字は次のとおりです。A~Z a~z 0~9 - _ 半角スペース マルチバイト文字</p> <p>対処 有効なテンプレート名を指定してください。数字と半角スペースだけの文字列や無効な文字を含む文字列は使用できません。有効な文字は次のとおりです。A~Z a~z 0~9 - _ 半角スペース マルチバイト文字</p>
KASV23095-E	The specified template name "<ユーザー入力値>" for <パラメーター名> is invalid. A string that includes only spaces and numerical characters or	<p>要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が不正なテンプレート名です。数字と半角スペースだけの文字列や無効な文字を含む文字列は使用できません。有効な文字は次のとおり</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	includes an invalid character cannot be used. Valid characters are: A-Z a-z 0-9 - _ space and multibyte characters.	です。A~Z a~z 0~9 - _ 半角スペース マルチバイト文字 対処 有効なテンプレート名を指定してください。数字と半角スペースだけの文字列や無効な文字を含む文字列は使用できません。有効な文字は次のとおりです。A~Z a~z 0~9 - _ 半角スペース マルチバイト文字
KASV23096-E	"<ユーザー入力値>" is too long for <パラメーター名>. Specify a template name that does not exceed 128 bytes.	要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が長過ぎます。テンプレート名は 128 バイト以内で指定してください。 対処 テンプレート名を 128 バイト以内で指定してください。
KASV23097-E	The specified template was not found. (Template name=<ユーザー入力値>)	要因 指定したテンプレート(テンプレート名=<ユーザー入力値>)が見つかりませんでした。 対処 デプロイメントマネージャーで管理されているテンプレートを指定してください。
KASV23098-E	The specified image file cannot be used for a partition because the image is a backup image of a disk.	要因 指定したイメージファイルはディスクのバックアップイメージです。パーティションには適用できません。 対処 パーティション番号を指定しないでください。
KASV23099-E	"<ユーザー入力値>" is an invalid host name for <パラメーター名>. A host name cannot use numeric characters only.	要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が不正なホスト名です。数字だけのホスト名は指定できません。 対処 数字以外の文字を含めたホスト名を指定してください。
KASV23100-E	"<ユーザー入力値>" is an invalid host name for <パラメーター名>. Multibyte characters cannot be used in a host name.	要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が不正なホスト名です。ホスト名にマルチバイト文字は使用できません。 対処 ホスト名にはマルチバイト文字を使用しないでください。
KASV23101-E	"<ユーザー入力値>" is too long for <パラメーター名>. Specify a host name that does not exceed <最大長(バイト)> bytes.	要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が長過ぎます。ホスト名は<最大長(バイト)>バイト以内で指定してください。 対処 ホスト名を<最大長(バイト)>バイト以内で指定してください。
KASV23102-E	"<ユーザー入力値>" is an invalid product-key for <パラメーター名>. The product-key must be in XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX format. X must be a single byte alphanumeric character.	要因 <パラメーター名>に指定したプロダクトキー"<ユーザー入力値>"に誤りがあります。プロダクトキーの書式は XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX です。X は半角英数字です。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		正しいプロダクトキーを指定してください。プロダクトキーの書式は XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX です。X は半角英数字です。
KASV23103-E	"<ユーザー入力値>" is an invalid IP address for <パラメーター名>. The IP address must be in N.N.N.N format. N is a number from 0 to 255.	要因 <パラメーター名>に指定した IP アドレス"<ユーザー入力値>"に誤りがあります。IP アドレスの書式は N.N.N.N です。N は 0~255 の数字です。 対処 正しい IP アドレスを指定してください。IP アドレスの書式は N.N.N.N です。N は 0~255 の数字です。
KASV23104-E	"<ユーザー入力値>" is an invalid subnet mask for <パラメーター名>.	要因 <パラメーター名>に指定したサブネットマスク"<ユーザー入力値>"に誤りがあります。 対処 正しいサブネットマスクを指定してください。
KASV23105-E	"<ユーザー入力値>" is an invalid value for <パラメーター名>. Specify a metric in the range of 1 to 9999.	要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が不正です。メトリックは 1~9999 の範囲で指定してください。 対処 メトリックを 1~9999 の範囲で指定してください。
KASV23106-E	"<ユーザー入力値>" are invalid comma separated values for <パラメーター名>. Remove unnecessary commas.	要因 <パラメーター名>に指定したコンマ区切りの値(<ユーザー入力値>)が不正です。不要なコンマを削除してください。 対処 不要なコンマを削除してください。
KASV23107-E	The number of comma separated values in <パラメーター名> exceeds the maximum number(<最大列挙可能数>).	要因 <パラメーター名>に指定したコンマ区切り値の数が最大数<最大列挙可能数>を超えています。 対処 最大<最大列挙可能数>個の値を指定してください。
KASV23108-E	The number of comma separated values for <パラメーター名 1> (<パラメーター 1 に指定した数> values) and <パラメーター名 2> (<パラメーター 2 に指定した数> values) must be the same. Verify the values you specified.	要因 <パラメーター名 1>と<パラメーター名 2>に指定したコンマ区切りの値の数は一致している必要があります。<パラメーター名 1>と<パラメーター名 2>に指定したコンマ区切り値の数を確認してください。 対処 <パラメーター名 1>と<パラメーター名 2>に指定したコンマ区切り値の数を合わせてください。
KASV23109-E	"eth0" must always be included in values for the interface name.	要因 interfaceName に指定する値のうちの 1 つは、必ず"eth0"にしてください。 対処 "eth0"と、必要に応じてそのほかのインターフェース名を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV23110-E	"<ユーザー入力値>" for <パラメーター名> is duplicated.	要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が重複しています。 対処 値が重複しないように<パラメーター名>を指定してください。
KASV23111-E	<パラメーター名 2> cannot be set to "auto" when an IP address for <パラメーター名 1> is explicitly specified. (IP address=<パラメーター名 1 のユーザー入力値>)	要因 <パラメーター名 1>に IP アドレスを指定した場合は、<パラメーター名 2>に"auto"を指定できません。(IP アドレス=<パラメーター名 1 のユーザー入力値>) 対処 <パラメーター名 2>に"auto"を指定しないでください。
KASV23112-E	<パラメーター名 2> cannot be set to "auto" when an IP address for <パラメーター名 1> is explicitly specified. (IP address=<パラメーター名 1 のユーザー入力値>)	要因 <パラメーター名 1>に IP アドレスを指定した場合は、<パラメーター名 2>を"auto"にすることはできません。(IP アドレス=<パラメーター名 1 のユーザー入力値>) 対処 <パラメーター名 1>に指定した IP アドレス("<パラメーター名 1 のユーザー入力値>")に対応するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを、<パラメーター名 2>に指定してください。デフォルトゲートウェイが必要ない場合は、<パラメーター名 2>に"none"を指定してください。
KASV23113-E	The specified base template was not found. (Template name=<ユーザー入力値>)	要因 指定したベーステンプレート(テンプレート名=<ユーザー入力値>)が見つかりませんでした。 対処 デプロイメントマネージャーで管理されているテンプレートを指定してください。
KASV23114-E	The specified template name already exists. (Template name=<ユーザー入力値>)	要因 指定した名称のテンプレート(テンプレート名=<ユーザー入力値>)はすでにあります。 対処 異なるテンプレート名を指定してください。
KASV23115-E	The specified base template name (<ユーザー入力値>) has a conflict with another template.	要因 指定したベーステンプレート名(<ユーザー入力値>)は、ほかのテンプレートと競合しています。 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23116-E	The specified OS type is not compatible with this base template.	要因 指定した OS 種別とベーステンプレートが異なります。 対処 指定した OS 種別とベーステンプレートの組み合わせが正しいことを確認してください
KASV23117-E	"<ユーザー入力値>" is an invalid host name for <パラメーター名>. The following characters cannot be	要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が不正なホスト名です。ホスト名に次の文字は使用できません。半角スペース.,`~!@#\$%*%+=+{ ¥ ;:!'<>/?[]^()

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	used in a host name: space ., `~!@#\$ & * % = + { } ¥ ; : ' " < > / ? [] ^ ()	対処 ホスト名に使用できる文字だけを使って指定してください。
KASV23118-E	"<ユーザー入力値>" is an invalid host name for <パラメーター名>. The following characters cannot be used in a host name: multibyte and space ¥ / : ; * ? " < > ' [] @	要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が不正なホスト名です。ホスト名に次の文字は使用できません。マルチバイト文字 半角スペース ¥ / : ; * ? " < > ' [] @ 対処 ホスト名に使用できる文字だけを使って指定してください。
KASV23119-E	The specified template name (<ユーザー入力値>) has a conflict with another template.	要因 指定したテンプレート名 (<ユーザー入力値>) は、ほかのテンプレートと競合しています。 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV23120-E	<パラメーター名 2 > cannot be set to "auto" or "none" when an IP address for <パラメーター名 1 > is explicitly specified. (IP address=<パラメーター名 1 のユーザー入力値>)	要因 <パラメーター名 1 >に IP アドレスを指定した場合は、<パラメーター名 2 >に"auto"や"none"は指定できません。(IP アドレス=<パラメーター名 1 のユーザー入力値>) 対処 <パラメーター名 2 >に"auto"や"none"を指定しないでください。
KASV23121-E	The specified snapshot image file is not compatible with this template.	要因 指定したスナップショットファイルとテンプレートの組み合わせが異なります。 対処 指定したスナップショットファイルとテンプレートの組み合わせが正しいことを確認してください。
KASV23122-E	The specified directory or file name (<ユーザー入力値>) for the <パラメーター名> parameter cannot be used with the Windows edition of HCSM.	要因 Windows 版の Compute Systems Manager では使用できないディレクトリまたはファイル名 (<ユーザー入力値>) を<パラメーター名>に指定しています。 対処 Windows で使用できるディレクトリまたはファイル名を指定して、再実行してください。
KASV23123-E	The N+M Cold Standby plug-in license is not registered or has expired.	要因 N+M コールドスタンバイのプラグインライセンスが登録されていないか、または期限が切れています。 対処 有効なライセンスを登録してください。
KASV23124-E	The specified N+M Cold Standby Group name "<ユーザー入力値>" for <パラメーター名> is invalid. A group name must be 32 bytes or less. A string that includes only spaces or includes an invalid character cannot be used. Valid characters are: A-Z a-z	要因 <パラメーター名>に指定した"<ユーザー入力値>"が不正な N+M コールドスタンバイグループ名です。グループ名は最大 32 バイトです。また、半角スペースだけの文字列や無効な文字を含む文字列は使用できません。有効な文字は次のとおりです。A~Z a~z 0~9 - _ . @ 半角スペース マルチバイト文字

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	0-9 - _ . @ space and multibyte characters.	対処 有効な N+M コールドスタンバイグループ名を指定してください。有効な文字は次のとおりです。A～Z a～z 0～9 - _ . @ 半角スペース マルチバイト文字
KASV23125-E	"<ユーザー入力値>" is an invalid IP address for <パラメーター名>.	要因 <パラメーター名>に指定した IP アドレス"<ユーザー入力値>"に誤りがあります。 対処 正しい IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを指定してください。
KASV23126-E	The specified N+M Cold Standby Group was not found. (Group name=<ユーザー入力値>)	要因 指定した N+M コールドスタンバイグループが見つかりませんでした。(グループ名=<ユーザー入力値>) 対処 指定した N+M コールドスタンバイグループが作成されていることを Compute Systems Manager で確認してください。
KASV23127-E	The specified Active Blade is not a member of the N+M Cold Standby Group or is not placed in the specified slot in the chassis. (Group name=< N+M コールドスタンバイグループ名>, SVP address=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, slot=<スロット番号>)	要因 指定した現用ブレードが N+M コールドスタンバイグループに存在しないか、指定したシャーシのスロット位置にありません。(グループ名=< N+M コールドスタンバイグループ名>, マネジメントモジュールの IP アドレス=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, スロット番号=<スロット番号>) 対処 指定した現用ブレードが N+M コールドスタンバイグループにあることを確認してください。また、指定したシャーシのスロット位置に現用ブレードが挿入されていることを確認してください。
KASV23128-E	The specified Standby Blade is not a member of the N+M Cold Standby Group or is not placed in the specified slot in the chassis. (Group name=< N+M コールドスタンバイグループ名>, SVP address=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, slot=<スロット番号>)	要因 指定した予備ブレードが N+M コールドスタンバイグループに存在しないか、指定したシャーシのスロット位置にありません。(グループ名=< N+M コールドスタンバイグループ名>, マネジメントモジュールの IP アドレス=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, スロット番号=<スロット番号>) 対処 指定した予備ブレードが N+M コールドスタンバイグループにあることを確認してください。また、指定したシャーシのスロット位置に予備ブレードが挿入されていることを確認してください。
KASV23129-E	The task registration was not accepted temporarily because another HCSM user was registering an N+M Cold Standby task.	要因 Compute Systems Manager のほかのユーザーが N+M コールドスタンバイのタスクを登録中だったため、一時的に操作を受け付けられませんでした。 対処 再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV23130-E	Unable to reassign the specified Standby Blade because the blade is not in Failover Successful status.	<p>要因 指定した予備ブレードの切り替え状態が"切り替え成功"ではないため、予備ブレードの現用化は実行できません。</p> <p>対処 指定した予備ブレードの切り替え状態を Compute Systems Manager で確認してください。</p>
KASV23131-E	Unable to run a failover because either the Active or Standby Blades are not in Available For Failover status.	<p>要因 現用または予備ブレードのブレード状態が"切り替え可能"ではないため、切り替えを実行できません。</p> <p>対処 指定した現用ブレードと予備ブレードのブレード状態を Compute Systems Manager で確認してください。</p>
KASV23132-E	Unable to run a failback because the Active Blade is not in Failover Successful status.	<p>要因 指定した現用ブレードの切り替え状態が"切り替え成功"ではないため、切り戻しは実行できません。</p> <p>対処 指定した現用ブレードの切り替え状態を Compute Systems Manager で確認してください。</p>
KASV23135-E	The failover cannot run because the host on the Active Blade is not managed by Compute Systems Manager, and cannot shut down. (SVP address=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, slot=<スロット番号>)	<p>要因 現用ブレードのホストが未探索です。OS がシャットダウンできないため、N+M コールドスタンバイの切り替えを実行できません。(マネジメントモジュールの IP アドレス=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, スロット番号=<スロット番号>)</p> <p>対処 現用ブレードのホストを探索するか、現用ブレードの電源を OFF にしてから N+M コールドスタンバイの切り替えを実行してください。</p>
KASV23136-E	The failback cannot run because the host on the Standby Blade is not managed by Compute Systems Manager, and cannot shut down. (SVP address=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, slot=<スロット番号>)	<p>要因 予備ブレードのホストが未探索です。OS がシャットダウンできないため、N+M コールドスタンバイの切り戻しを実行できません。(マネジメントモジュールの IP アドレス=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, スロット番号=<スロット番号>)</p> <p>対処 予備ブレードのホストを探索するか、予備ブレードの電源を OFF にしてから N+M コールドスタンバイの切り戻しを実行してください。</p>
KASV23137-E	The failover cannot run because the LPAR on the Active Blade has hosts that are not managed by Compute Systems Manager, and cannot shut down. (SVP address=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, slot=<スロット番号>)	<p>要因 ホストが未探索の LPAR が現用ブレードで動作中です。OS のシャットダウンができないため、N+M コールドスタンバイの切り替えを実行できません。(マネジメントモジュールの IP アドレス=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, スロット番号=<スロット番号>)</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		現用ブレードで動作中の LPAR のホストを管理対象に追加するか、現用ブレードの電源を OFF にしてから N+M コールドスタンバイの切り替えを実行してください。
KASV23138-E	The failback cannot run because the LPAR on the Standby Blade has hosts that are not managed by Compute Systems Manager, and cannot shut down. (SVP address=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, slot=<スロット番号>)	要因 ホストが未探索の LPAR が予備ブレードで動作中です。OS のシャットダウンができないため、N+M コールドスタンバイの切り戻しを実行できません。(マネジメントモジュールの IP アドレス=<マネジメントモジュールの IP アドレス>, スロット番号=<スロット番号>) 対処 予備ブレードで動作中の LPAR のホストを管理対象に追加するか、予備ブレードの電源を OFF にしてから N+M コールドスタンバイの切り戻しを実行してください。
KASV23139-E	Unable to run a failback because either the Active or Standby Blades are not in Available For Failback status.	要因 現用または予備ブレードのブレード状態が"切り戻し可能"ではないため、切り戻しを実行できません。 対処 指定した現用ブレードと予備ブレードのブレード状態を Compute Systems Manager で確認してください。
KASV23140-E	<パラメーター名 2 > parameter must be specified when <パラメーター名 1 > parameter is specified.	要因 <パラメーター名 1 >パラメーターがあるにも関わらず<パラメーター名 2 >パラメーターが指定されていません。 対処 <パラメーター名 2 >パラメーターを指定するか、または<パラメーター名 1 >パラメーターを削除してください。
KASV23156-E	The specified lpmElapseTime [<値>] is invalid. Use 0 to specify the default value or 1-9999 to specify a value in seconds.	要因 lpmElapseTime の値が不正です。1 から 9999 の秒数で指定してください。デフォルト値を使用する場合は 0 を指定してください。 対処 lpmElapseTime は、1 から 9999 の秒数で指定してください。デフォルト値を使用する場合は 0 を指定してください。
KASV23157-E	An lpmElapseTime parameter cannot be specified at the same time as verifyLpm=no.	要因 lpmElapseTime パラメーターと verifyLpm=no は同時に指定できません。 対処 lpmElapseTime と verifyLpm=yes を一緒に指定するか、lpmElapseTime 無しで verifyLpm=no を指定してください。
KASV23158-E	The specified server was not found in the database.	要因 指定したサーバは見つかりませんでした。 対処 管理対象シャーシの IP アドレスおよびブレードのスロット番号が正しく指定されているか確認してください。
KASV23162-E	An error occurred while running the operation. [HCSM server return code	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	= <エラーコード> , message = <エラーメッセージ>]	実行時にエラーが発生しました。[HCSM サーバの戻り値 = <エラーコード> , メッセージ = <エラーメッセージ>] 対処 メッセージに出力されている情報を参照して対処してください。
KASV23600-W	<環境変数名> (<値>) does not point a directory.	要因 環境変数で指定したディレクトリパスが不正です。 対処 環境変数に正しいディレクトリパスを指定してください。
KASV23601-W	Could not set file permissions for: <ファイルパス>	要因 ファイルのアクセス権の変更に失敗しました。 対処 ファイル, およびファイルのあるディレクトリのアクセス権を確認してください。
KASV23602-W	The latest protocol version supported by the HCSM CLI (Ver. <プロトコルバージョン>) is planned to be unsupported in the upcoming product release. Early update of the client software is recommended.	要因 - 対処 Compute Systems Manager の CLI は, 接続先の Compute Systems Manager サーバからダウンロードしたものを使用することを推奨します。
KASV23603-W	The .csmrc file does not exist in "<ファイルパス>" (<環境変数名>).	要因 .csmrc ファイルがありません。 対処 -
KASV23800-I	The HCSM server is up and running.	要因 - 対処 -
KASV23801-I	Login successful.	要因 - 対処 -
KASV23802-I	Type 'csm help' for usage.	要因 - 対処 -
KASV23803-I	Accepted values are : <値>.	要因 - 対処 -
KASV23804-I	The .csmrc file in "<ファイルパス>" (<環境変数名>) has been read.	要因 - 対処 -
KASV25000-I	Backup of the configuration file from Compute Systems Manager will now start.	要因 - 対処 -
KASV25001-I	The backup to <ディレクトリ名> has finished.	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KASV25002-I	Backup of the configuration file from Compute Systems Manager stopped.	要因 - 対処 -
KASV25004-E	The specified parameter value is invalid.	要因 - 対処 パラメーターの値を正しく指定してください。
KASV25005-E	The drive does not exist.	要因 - 対処 実在するドライブを指定してください。
KASV25006-E	The copy source directory <ディレクトリ名> does not exist.	要因 Compute Systems Manager のインストールが不完全です。 対処 Compute Systems Manager を再インストールしてください。
KASV25007-E	A subdirectory or file exists in the specified directory.	要因 - 対処 指定したディレクトリに既存のサブディレクトリやファイルがないことを確認してください。ある場合は、それらを削除するか、または別の空のディレクトリを代わりに指定してください。
KASV25008-E	<ファイル/ディレクトリ名> cannot be accessed.	要因 - 対処 指定したパス名が正しいこと、および指定したディレクトリやファイルのアクセス権が適切なことを確認してください。
KASV25009-E	An error occurred during backup of the configuration file from Compute Systems Manager.	要因 - 対処 このメッセージの前に出力された Compute Systems Manager のエラーメッセージに従って対処してください。
KASV25010-I	Collection of maintenance information from Compute Systems Manager will now start.	要因 - 対処 -
KASV25011-I	The information collected into <ディレクトリ名> has finished.	要因 - 対処 -
KASV25012-I	Collection of maintenance information from Compute Systems Manager has ended.	要因 - 対処 -
KASV25014-E	The specified parameter value is invalid.	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 パラメーターの値を正しく指定してください。
KASV25015-E	The drive does not exist.	要因 - 対処 実在するドライブを指定してください。
KASV25017-E	A subdirectory or file exists in the specified directory.	要因 - 対処 指定したディレクトリに既存のサブディレクトリやファイルがないことを確認してください。ある場合は、それらを削除するか、または別の空のディレクトリを代わりに指定してください。
KASV25018-E	<ディレクトリ名> cannot be accessed.	要因 - 対処 指定したパス名が正しいか、および指定したディレクトリやファイルのアクセス権が適切か確認してください。
KASV25019-E	An error occurred during collection of maintenance information from Compute Systems Manager.	要因 - 対処 このメッセージの前に出力された Compute Systems Manager のエラーメッセージに従って対処してください。
KASV25101-I	Read MIB definition file "<ファイル名>".	要因 - 対処 -
KASV25102-I	Wrote SNMP Trap configuration file "<ファイル名>".	要因 - 対処 -
KASV25106-I	hcsmtraptxml started.	要因 - 対処 -
KASV25107-I	hcsmtraptxml ended.	要因 - 対処 -
KASV25110-E	This account does not have the right to execute this command. Execute as administrator.	要因 Administrator 権限のないユーザーでコマンドを実行しました。 対処 Administrator 権限でコマンドを実行してください。
KASV25111-E	An attempt to retrieve Compute Systems Manager install directory has failed. Install Compute Systems Manager again.	要因 Compute Systems Manager のインストールが不完全です。 対処 Compute Systems Manager を再インストールしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV25112-E	Argument <引数> was used several times. Confirm arguments.	要因 同じ引数が複数回使われています。 対処 正しい引数を指定してください。
KASV25117-E	The specified argument <引数名> is invalid. Confirm arguments.	要因 正しくない引数を使用しました。 対処 正しい引数を指定してください。
KASV25118-E	An attempt to create file "<ファイル名>" has failed(Reason:<原因>). Confirm permission of the file and directory where the file is located. Make sure that disk space is sufficient.	要因 ファイルの書き込み権限がありません。またはドライブに十分な空き容量がありません。 対処 メッセージ中の理由を参照し、ファイルおよびファイルがあるディレクトリのアクセス権限や、ドライブ空き容量を確認してください。
KASV25119-E	An attempt to create log file "<ファイル名>" has failed(Reason:<原因>). Verify write permissions for the directory where the log file is to be created and verify that the drive has sufficient space.	要因 ログファイルの書き込み権限がありません。またはドライブに十分な空き容量がありません。 対処 メッセージ中の理由を参照し、ファイルおよびファイルがあるディレクトリの書き込み権限や、ドライブ空き容量を確認してください。
KASV25121-E	There are no files in the MIB directory.	要因 MIB ディレクトリが空です。 対処 MIB ディレクトリを確認してください。
KASV25122-E	There are no SNMP Trap definitions in MIB files.	要因 MIB 定義ファイルに、SNMP トラップの定義がありません。 対処 MIB 定義ファイルを確認してください。
KASV25123-W	An error occurred during analyzing MIB files. For more detail, see "<ログファイル名>".The Compute Systems Manager server imports SNMP trap definitions from successfully analyzed MIB files. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	要因 必要な MIB 定義ファイルが不足しているか、または MIB 定義ファイルに構文エラーがあります。 対処 ログファイルに従い、正しい MIB 定義ファイルを指定したディレクトリに配置してください。もし、問題が続くようであれば、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV25124-E	An attempt to write file "<ファイル名>" has failed(Reason:<理由>). Confirm that disk space is sufficient.	要因 ドライブに十分な空き容量がありません。 対処 ドライブ空き容量を確認してください。
KASV25126-E	An attempt to remove intermediate file ¥"<ファイル名>¥" has failed(Reason:<理由>). Remove the intermediate file manually.	要因 一時生成ファイルの削除時にエラーが発生しました。 対処 手動で一時生成ファイルを削除してください。
KASV25127-E	An attempt to search directory "<ディレクトリ名>" has failed(Reason:	要因 ディレクトリの読み込み権限がありません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<理由>). Confirm file read permissions.	ディレクトリの権限を確認し、読み出し権限がない場合は付与してください。
KASV25128-E	Because a file name is long, an attempt to create file "<ファイル名>" has failed. Change the file name so that a file name fits into less than <260> characters.	要因 ファイル名が長過ぎます。 対処 ファイル名が 260 文字以内に収まるように、ファイル名を変更してください。
KASV25129-I	Usage: hcsmtraptxml {-c -h} -c Convert SNMP Trap Definition in MIB definition file to XML file -h Show usage	要因 - 対処 -
KASV25130-W	An attempt to rename older log file ¥"<ファイル名>¥" has failed(Reason: <メッセージ>).	要因 古いログファイルが別のアプリケーションによって使用されている可能性があります。 対処 ほかのアプリケーションが古いログファイルを使用していないことを確認してください。
KASV25131-W	An attempt to remove oldest log file ¥"<ファイル名>¥" has failed(Reason: <メッセージ>).	要因 古いログファイルが別のアプリケーションによって使用されている可能性があります。 対処 ほかのアプリケーションが古いログファイルを使用していないことを確認してください。
KASV25137-E	An attempt to create child process has failed. Install Compute Systems Manager again.	要因 Compute Systems Manager のインストールが不完全です。 対処 Compute Systems Manager を再インストールしてください。
KASV25138-I	The processing of Compute Systems Manager was successful.	要因 Compute Systems Manager の処理は、成功しました。 対処 -
KASV25139-E	The processing of Compute Systems Manager failed.	要因 Compute Systems Manager の処理は、失敗しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

2.4 KASV30000～KASV39999

Compute Systems Manager に関するメッセージ (KASV30000～KASV39999) を次の表に示します。

表 2-4 KASV30000～KASV39999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV30003-E	情報を取得できません。	要因 リソースから予期しない応答がありました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処</p> <p>リソースが Windows である場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。リソースが Windows ではない場合は、特に対処は不要です。</p>
KASV30007-E	処理が完了していないため、新しい処理を受け付けられません。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>処理が完了してから再度実行してください。</p>
KASV30008-E	管理対象ホストの OS がサポート対象外です。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>管理対象ホストがソフトウェア添付資料に記載されているソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。</p>
KASV30009-W	クラスタの仮想 IP アドレスが探索されました。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>特に対処は不要です。</p>
KASV30010-E	指定したリソースに Ping で接続できません。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>リソースが起動していることを確認してください。また、Compute Systems Manager サーバとリソースが通信できることを確認してください。</p>
KASV30011-E	SNMP トラップ定義ファイル (<SNMP トラップ定義ファイル>) の読み込みに失敗しました。XML に構文エラーがあります。(<SAXException >)	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>hcsmtraptoxml コマンドを使用して、再度 XML ファイルを生成してください。</p>
KASV30012-E	SNMP トラップ定義ファイル (<SNMP トラップ定義ファイル>) の読み込みに失敗しました。SNMP トラップ定義ファイルに誤りがあります。	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>hcsmtraptoxml コマンドを使用して、再度 XML ファイルを生成してください。</p>
KASV30013-E	XML パーサが生成できませんでした。(<ParserConfigurationException >)	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV30014-E	XML ファイルを解析中に予期しないエラーが発生しました。(<SAXException >)	<p>要因</p> <p>XML ファイルの形式が誤っているおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>hcsmtraptoxml コマンドを使用して、再度 XML ファイルを生成してください。</p>
KASV30019-E	現在のポートでは、SNMP トラップの受信監視ができません。	<p>要因</p> <p>SNMP トラップ受信ポートをほかのアプリケーションやサービスが使用しているおそれがあります。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		SNMP トラップ受信ポート(初期値は UDP/162)をほかのアプリケーションやサービスが使用していないことを確認し、使用している場合はポート番号を変更してください。
KASV30020-E	SNMP Trap の受信監視を終了できません。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV30021-E	大量の SNMP トラップを受信したため、Trap を処理できませんでした。SNMP トラップを破棄します。(送信元 : < SNMP トラップの送信元 >, OID : < SNMP トラップの OID >)	要因 - 対処 -
KASV30022-E	認証情報に設定したユーザーの権限が不足しています。	要因 - 対処 認証情報に Administrator 権限のユーザーを指定してください。
KASV30023-E	認証情報に設定したユーザーの権限が不足しています。	要因 - 対処 認証情報に root 権限のユーザーを指定してください。
KASV30024-E	指定した管理対象ホストに接続できません。	要因 管理対象ホストまたはネットワークに問題があります。 対処 次の対処をしてください。 1. 管理対象ホストが起動していることを確認してください。 2. Compute Systems Manager サーバと管理対象ホストが通信できることを確認してください。 3. Compute Systems Manager サーバと管理対象ホストの DCOM が有効になっていることを確認してください。 4. 管理対象ホストのファイアウォールの設定を確認してください。
KASV30025-E	指定した管理対象ホスト (< Linux >) に接続できません。	要因 管理対象ホストまたはネットワークに問題があります。 対処 次の対処をしてください。 1. ホストが起動していることを確認してください。 2. Compute Systems Manager サーバとホストが通信できることを確認してください。 3. 通信ポートの設定を確認してください。
KASV30026-E	指定したホストに接続できません。	要因 ホストまたはネットワークに問題があります。 対処 次の対処をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> 1. ホストが起動していることを確認してください。 2. Compute Systems Manager サーバとホストが通信できることを確認してください。ホストのファイアウォールの設定を確認してください。 3. ホストが Windows の場合、Compute Systems Manager サーバとホストの DCOM が有効になっていることを確認してください。 4. ホストが Linux の場合、通信ポートの設定を確認してください。
KASV30027-E	指定した BMC に接続できません。	要因 BMC またはネットワークに問題があります。 対処 Compute Systems Manager サーバと BMC が通信できることを確認してください。また、通信ポートの設定を確認してください。
KASV30028-E	処理を続行できません。	要因 リソースから予期しない応答がありました。 対処 リソースが Windows である場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。リソースが Windows ではない場合は、特に対処は不要です。
KASV30029-E	処理を続行できません。	要因 リソースから予期しない応答がありました。 対処 次の対処をしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定したリソースが Linux ホストであることを確認してください。Linux ホストでない場合は、特に対処は不要です。 2. Compute Systems Manager サーバとホストが通信できることを確認してください。
KASV30030-E	処理を続行できません。	要因 ネットワークまたは Compute Systems Manager サーバの環境に問題があります。 対処 Compute Systems Manager サーバとホストが通信できることを確認してください。問題が解決しない場合は Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでもエラーが発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV30031-E	処理を続行できません。	要因 ネットワークまたは Compute Systems Manager サーバの環境に問題があります。 対処 Compute Systems Manager サーバを再起動してください。
KASV30032-E	指定した Windows ホストにログインできません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>ユーザー名もしくはパスワードに誤りがあるか、ユーザーの権限が不足しています。または、アカウントがロックされていることが考えられます。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 正しいユーザー名およびパスワードを指定してください。 ユーザーの権限を確認してください。 管理対象ホストのアカウントがロックされていないことを確認してください。
KASV30033-E	指定した Linux ホストにログインできません。	<p>要因 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ユーザー名またはパスワードが間違っている。 アカウントがロックされている。 SSHD の設定が間違っている。 Linux ではない接続先に、Linux の認証情報でアクセスした。 <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 認証情報に正しいユーザー名およびパスワードを指定してください。 ホストのアカウントがロックされていないことを確認してください。 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して SSHD の設定を確認してください。 指定した接続先が Linux ホストであることを確認してください。Linux ホストでない場合は、特に対処は不要です。
KASV30034-E	指定した BMC にログインできません。	<p>要因 -</p> <p>対処 正しいユーザー名およびパスワードを指定してください。また、BMC のアカウントがロックされていないことを確認してください。</p>
KASV30035-E	処理がタイムアウトしました。	<p>要因 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 一時的にホストの負荷が高くなっている。 リソースが Windows ではない。 <p>対処 しばらく待つてから再実行してください。リソースが Windows ではない場合は、特に対処は不要です。</p>
KASV30036-E	処理がタイムアウトしました。	<p>要因 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ホスト上で一時的に処理が遅延している。 Linux ホストではないリソースに、Linux ホストの認証情報でアクセスした。 <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 再実行してください。 指定したリソースが Linux ホストであることを確認してください。Linux ホストでない場合は、特に対処は不要です。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV30037-E	処理がタイムアウトしました。	要因 - 対処 再度実行してください。
KASV30038-E	WOL のマジックパケットの送信に失敗しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバとホストが通信できることを確認してください。
KASV30039-E	IPMI コマンドの呼び出しに失敗しました。	要因 - 対処 しばらく待ってから、再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、BMC の設定を確認してください。
KASV30040-E	処理を続行できません。	要因 リソースから予期しない応答がありました。 対処 次の対処をしてください。 1. リソースが BladeSymphony または HA8000 であることを確認してください。BladeSymphony または HA8000 でない場合は、特に対処は不要です。 2. Compute Systems Manager サーバとリソースが通信できることを確認してください。
KASV30041-E	サーバは処理を完了できません。	要因 - 対処 管理対象サーバの状態を確認してください。
KASV30042-E	指定したリソースにログインできません。	要因 次の原因が考えられます。 1. BladeSymphony のマネジメントモジュールまたは HA8000 の BMC のユーザー ID またはパスワードに誤りがある。 2. BladeSymphony や HA8000 ではないリソースに、BladeSymphony/HA8000 の認証情報でアクセスした。 対処 次の対処をしてください。 1. 正しいユーザー ID およびパスワードを指定してください。 2. 指定したリソースが BladeSymphony または HA8000 であることを確認してください。BladeSymphony でも HA8000 でもない場合は、特に対処は不要です。
KASV30043-E	BladeSymphony または HA8000 へのリクエストが拒否されました。	要因 - 対処 しばらく待ってから、再実行してください。問題が解決しない場合は、BladeSymphony のマネジメントモジュールまたは HA8000 の BMC を再起動してください。
KASV30044-E	処理がタイムアウトしました。	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 プロセスを再度実行してください。</p>
KASV30045-E	指定した BladeSymphony または HA8000 に接続できません。	<p>要因 管理対象サーバかネットワークに問題があります。もしくは、認証情報のポート番号の設定に誤りがあります。</p> <p>対処 次の確認および対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ソフトウェア添付資料に記載されている最新のファームウェアの要件を満たしていることを確認してください。 2. SVP が Compute Systems Manager サーバとの通信に HTTPS プロトコルを使用する設定にしてください。HTTPS ポートの確認および設定変更は BladeSymphony または HA8000 の Web コンソールを使用してください。 3. 認証情報に指定したポート番号の設定に問題がないことを確認してください。 4. Compute Systems Manager サーバと管理対象サーバが正常に通信できていることを確認してください。
KASV30049-E	SVP アラートの受信監視ができません。	<p>要因 SVP アラート受信ポートをほかのアプリケーションやサービスが使用しているおそれがあります。</p> <p>対処 SVP アラート受信ポート (初期値は TCP/22611) をほかのアプリケーションやサービスが使用していないことを確認し、使用している場合は SVP アラート受信ポート番号を変更してください。</p>
KASV30050-E	SVP アラートの受信監視を終了できません。	<p>要因 -</p> <p>対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KASV30051-E	SNMP トラップを送信できません。	<p>要因 -</p> <p>対処 正しい受信先ホストおよびポートを指定してください。</p>
KASV30054-E	内部接続ハンドラーを開始できません。	<p>要因 -</p> <p>対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KASV30055-E	SVP アラートの受信監視ができません。	<p>要因 キーストアファイルの読み込みに失敗しました。</p> <p>対処 キーストアファイルがあることを確認してください。キーストアファイルがない場合はキース</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		トアファイルを作成し、user.properties ファイルで指定してください。
KASV30056-E	SVP アラートの受信監視ができません。	要因 キーストアファイルの読み込みに失敗しました。キーストアパスワードに誤りがあります。 対処 正しいキーストアパスワードを指定してください。
KASV30057-E	SVP アラートの受信監視ができません。	要因 キーストアファイルの読み込みに失敗しました。 対処 正しいキーストアパスワードを指定してください。正しいキーストアパスワードを指定しても失敗する場合は、キーストアファイルを再度作成してください。
KASV30058-E	ブレードが保守モードのため、電源を制御できません。	要因 - 対処 保守モードを解除してください。
KASV30059-E	電力キャッピングの設定を変更できません。	要因 電力キャッピングの対象となるブレードを選択していないか、キャッピング目標値が小さ過ぎます。 対処 電力キャッピングの設定を見直してください。
KASV30060-E	電力キャッピングの設定を変更できません。	要因 電力キャッピングの対象となるブレードを選択していないか、キャッピング目標値が小さ過ぎます。 対処 電力キャッピングの設定を見直してください。
KASV30061-E	電源 ON 抑止の為、電源操作ができません。	要因 - 対処 電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。
KASV30062-E	指定した管理対象にログインできません。	要因 BladeSymphony または HA8000 に、ほかの Compute Systems Manager の設定が上限数まで登録されているため、ログインが拒否されました。 対処 BladeSymphony または HA8000 の Web コンソールを使用して、ほかの Compute Systems Manager の設定で不要なものを削除してから、再実行してください。削除する方法は機種によって異なります。該当する機種のユーザーズガイドを確認してください。
KASV30063-E	ホスト情報を取得できません。	要因 管理対象にインストールされているソフトウェアパッケージが十分ではありません。 対処 ソフトウェア添付資料を参照して、必要なパッケージをインストールしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV30103-E	情報を取得できません。	<p>要因 リソースから予期しない応答がありました。</p> <p>対処 リソースが Windows である場合は、ホストの WinRM の状態を確認し、再実行してください。リソースが Windows ではない場合は、特に対処は不要です。</p>
KASV30109-W	クラスタの仮想 IP アドレスが探索されました。	<p>要因 -</p> <p>対処 特に対処は不要です。</p>
KASV30126-E	指定したホストに接続できません。	<p>要因 ホストまたはネットワークに問題があります。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホストが起動していることを確認してください。 2. Compute Systems Manager サーバとホストが通信できることを確認してください。ホストのファイアウォールの設定を確認してください。 3. ホストが Windows の場合、ホストの WinRM が有効になっていることを確認してください。 4. 通信ポートの設定を確認してください。
KASV30128-E	処理を続行できません。	<p>要因 管理対象ホストから予期しない応答がありました。</p> <p>対処 リソースが Windows である場合は、ホストの WinRM の状態を確認し、再実行してください。リソースが Windows ではない場合は、特に対処は不要です。</p>
KASV30132-E	指定した Windows ホストにログインできません。	<p>要因 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザー名またはパスワードに誤りがある。 2. アカウントがロックされている。 3. ユーザーが Administrator 権限を持っていない。 4. WinRM が正しく設定されていない。 <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しいユーザー名およびパスワードを指定してください。 2. 管理対象ホストのアカウントがロックされていないことを確認してください。 3. ユーザーの権限を確認してください。 4. マニュアル「<i>Hitachi Command Suite Compute Systems Manager 導入・設定ガイド</i>」を参照して WinRM を有効にしてください。
KASV30135-E	処理がタイムアウトしました。	<p>要因 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一時的にホストの負荷が高くなっている。 2. リソースが Windows ではない。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 しばらく待ってから再実行してください。リソースが Windows ではない場合は、特に対処は不要です。</p>
KASV31400-E	指定した VMware ESXi の情報を取得できません。	<p>要因 認証情報に指定したユーザーは VMware ESXi を管理する権限を持っていません。</p> <p>対処 VMware ESXi のシステム管理者権限を持つユーザーの認証情報を指定して、再実行してください。</p>
KASV31404-E	指定した VMware ESXi に接続できません。	<p>要因 VMware ESXi かネットワークに問題があります。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. VMware ESXi が起動していることを確認してください。 2. VMware ESXi と管理サーバが通信できることを確認してください。 3. VMware ESXi と管理サーバのファイアウォールの設定を確認してください。
KASV31409-E	指定した VMware ESXi の情報を取得できません。	<p>要因 認証情報に指定したユーザーは VMware ESXi にログインできません。</p> <p>対処 VMware ESXi のシステム管理者権限を持つユーザーの認証情報を指定して、再実行してください。</p>
KASV31413-E	VMware ESXi に対する処理がタイムアウトしました。	<p>要因 -</p> <p>対処 次の対処をしてもう一度実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホストが起動していることを確認してください。 2. Compute Systems Manager サーバとホストが通信できることを確認してください。
KASV31416-E	処理を続行できません。	<p>要因 リソースから予期しない応答がありました。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定したリソースが VMware ESXi ホストであることを確認してください。VMware ESXi ホストでない場合は、特に対処は不要です。 2. Compute Systems Manager サーバとホストが通信できることを確認してください。
KASV31425-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 デプロイメントマネージャープラグインとの連携中に不正なリクエストが発行されました。</p> <p>対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31426-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 デプロイメントマネージャーの処理中に内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31427-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 デプロイメントマネージャープラグインサービスが稼働していないか、または正常に稼働していないおそれがあります。</p> <p>対処 Compute Systems Manager サービスを再起動したあと、再度実行してください。それでも解決しない場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31428-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 デプロイメントマネージャープラグインに接続できません。</p> <p>対処 IIS の既定の Web サイトまたは Default Web Site のポート番号と、デプロイメントマネージャーの内部通信用ポート番号が一致していることを確認してください。ポート番号が一致している場合、デプロイメントマネージャープラグインのサービスが稼働していることを確認してください。デプロイメントマネージャープラグインサービスが停止している場合は起動してください。その後、再度実行してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31429-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 システムリソース不足のため、デプロイメントマネージャープラグインへのリクエストが失敗しました。</p> <p>対処 Compute Systems Manager サーバを再起動したあと、再度実行してください。それでも解決しない場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31430-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 デプロイメントマネージャープラグインが正しくインストールされていません。</p> <p>対処 デプロイメントマネージャープラグインを再インストールしたあと、再度実行してください。それでも解決しない場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31431-E	デプロイメントマネージャーの処理中に管理対象でエラーが発生しました。	<p>要因 -</p> <p>対処 デプロイメントマネージャー実行時の前提条件(1.と2.と3.と4.と5.)を満たしていることを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バックアップまたはスナップショットタスク実行時はイメージファイル格納先のドライブに十分な空き容量があること。 2. デプロイメントマネージャー実行中にターゲットと管理サーバの通信が確立した状態であること。 3. デプロイ共通設定で設定されているデプロイメントタイムアウト時間以内にターゲットマシンが PXE ブートできること。 4. ターゲットのハードウェアドライバグループを正しく指定していること。 5. 同一ネットワークにデプロイメントマネージャーが2つ以上存在しないこと。 <p>前提条件を満たしている場合、管理サーバのアプリケーションログを参照して、エラーログが出力されていることを確認してください。エラーログが出力されている場合、Compute Systems Manager のマニュアルに記載されているイベントログの対処方法を実施してください。それでも解決しない場合、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>
KASV31432-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 指定したイメージファイルが不正です。</p> <p>対処 別のイメージファイルを設定して再度実行してください。それでも解決しない場合、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>
KASV31433-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 デプロイメントマネージャープラグインが使用する内部ディレクトリの状態が不正です。</p> <p>対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>
KASV31434-E	デプロイメントマネージャーの処理を実行できません。	<p>要因 DHCP サービスが稼働していないか、または DHCP サービスが Compute Systems Manager とは別のマシンにインストールされています。</p> <p>対処 Compute Systems Manager サーバがインストールされているマシンに DHCP サーバがインストールされていない場合、デプロイメントの設定で、DHCP が別マシンにインストールされている設定に変更してください。Compute Systems Manager サーバがインストールされているマシンに DHCP サーバがインストールされている場</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		合, DHCP サーバのサービスが正常に起動していることを確認してください。
KASV31435-E	デプロイメントマネージャーの処理中にタイムアウトが発生しました。	<p>要因 システムが正常に稼働するための十分な空き容量がないか、またはデプロイメントマネージャープラグインサービスが正常に稼働していないおそれがあります。</p> <p>対処 システムドライブに十分な空き容量がない場合は、空き容量を確保した後、再度実行してください。システムドライブに十分な空き容量がある場合は、Compute Systems Manager サービスを再起動したあと、再度実行してください。それでも解決しない場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31436-E	仮想マシンが構築中または構成変更中のためハイパーバイザの情報が取得できませんでした。	<p>要因 -</p> <p>対処 仮想マシンの構築または構成変更を完了してからもう一度実行してください。</p>
KASV31437-E	ファームウェアのファイルをアップロードできませんでした。	<p>要因 一時的にマネジメントモジュールがファームウェアのファイルを受信できない状態になっている可能性があります。</p> <p>対処 しばらく待つてから、再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31438-E	ファームウェアのファイルをアップロードできませんでした。	<p>要因 指定したファイルがファームウェアのファイルでないか、ファイル名が変更されています。または、SVP とのセッションが切断されています。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファームウェアファイル以外のファイルを指定していないことを確認してください。 2. ファイル名が正しいことをファームウェアのファイルと共に入手したドキュメントで確認してください。 3. ファームウェアのファイルを入手し直して、実行してください。 4. ファームウェアファイルが正しい場合、リフレッシュを実行後に再実行してください。
KASV31439-E	ファームウェアを更新できませんでした。	<p>要因 指定したファイルがファームウェアのファイルでないか、ファイル名が変更されているか、または、マネジメントモジュールが一時的にファームウェアを更新できない状態です。</p> <p>対処 次の対処を実施してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> 1. 指定したファイルがファームウェアのファイルであることを確認してください。 2. ファイル名が正しいことをファームウェアのファイルと共に入手したドキュメントで確認してください。 3. しばらく待ってから、再度実行してください。 4. 1～3 で問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KASV31440-E	ファームウェアを更新できませんでした。	<p>要因 互換性のないファームウェアのファイルを指定しました。</p> <p>対処 指定したファームウェアとハードウェアの組み合わせが正しいことを確認してください。</p>
KASV31441-E	ファームウェアを更新できませんでした。	<p>要因 破損しているファームウェアのファイルを指定しました。</p> <p>対処 破損していないファームウェアのファイルを指定してください。</p>
KASV31442-E	ファームウェアを更新できませんでした。	<p>要因 ブレードがファームウェアを更新できる状態ではありません。</p> <p>対処 しばらく待ってから、再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KASV31443-E	ファームウェアを更新できませんでした。	<p>要因 指定したブレードがシャーシに挿入されていません。</p> <p>対処 指定した位置にブレードが挿入されていることを確認してください。</p>
KASV31444-E	ファームウェアを更新できませんでした。	<p>要因 ブレードが初期化中のため実行できませんでした。</p> <p>対処 しばらく待ってから、再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KASV31445-E	ファームウェアを更新できませんでした。	<p>要因 ブレードがすでにファームウェアを更新中のため実行できませんでした。</p> <p>対処 しばらく待ってから、再度実行してください。それでも問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		アルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口 に連絡してください。
KASV31446-E	ファームウェアを更新できませんでした。	要因 ブレードが別のファイルを転送中です。 対処 しばらく待ってから、再度実行してください。そ れでも問題が解決しない場合は、詳細な調査が必 要です。Compute Systems Manager のマニユ アルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口 に連絡してください。
KASV31447-E	ファームウェアを更新できませんでした。	要因 未対応のファイルを指定しました。 対処 正しいファームウェアのファイルを指定し、再度 実行してください。
KASV31448-E	幾つかのブレードでファームウェアを 更新できませんでした。(＜スロット番 号＞)	要因 - 対処 シャード名を選択して、各ブレードのエラーメッ セージを確認してください。
KASV31449-E	デプロイテンプレートの言語の設定が ありません。	要因 - 対処 デプロイテンプレートの言語を設定したあと、再 度デプロイを実行してください。
KASV31450-E	ファームウェアを更新できませんでした。	要因 別の Compute Systems Manager または Web コンソールからファームウェアの更新を実行し たため、アップロード済みのファームウェアファ イルが削除されました。 対処 目的のファームウェアバージョンに更新されて いない場合は、再度ファームウェアの更新を実行 してください。
KASV31451-E	ファームウェアのファイルが見つかり ません。	要因 ファイル名が変更されているか、 user.properties ファイルの hcsml.shared.dircotry プロパティで指定 した共有ディレクトリ上にファイルがありません。 対処 次の 2 つの内容を確認して、再度実行してくださ い。 1. ファイル名が正しいことをファームウェア のファイルと共に入手したドキュメントで 確認してください。 2. クラスタ環境を使用している場合は、各ノー ドで共有ディレクトリとして同じ共有ディ スク上のディレクトリを設定して Compute Systems Manager を再起動してください。
KASV31452-E	処理を続行できません。	要因 マネジメントモジュールで予期しないエラーが 発生しました。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集してください。また、該当する機種ของผู้ザーズガイドを参照してシャーシの保守情報を収集したあと、障害対応窓口に連絡してください。
KASV31453-E	指定した HVM へ接続できません。	要因 - 対処 HVM が起動していることを確認してください。
KASV31454-E	指定した HVM へ接続できません。	要因 HVM のファームウェアが対応したバージョンではありません。 対処 HVM のファームウェアを更新し、再実行してください。
KASV31455-E	HVM の設定を変更できません。	要因 ブレードに HVM のファームウェアが適用されていません。 対処 Web コンソールを使用して、ブレードに HVM のファームウェアを割り当ててください。それでも解決しない場合は、詳細な調査が必要です。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。
KASV31456-E	HVM の動作モードを変更できません。	要因 ブレードの電源が ON になっています。 対処 ブレードの電源を OFF にし、再実行してください。
KASV31458-E	LPAR のマイグレーションを実行できない構成です。	要因 - 対処 構成診断のエラーに対処し、再実行してください。
KASV31467-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 SVP と HVM との通信中に通信エラーが発生しました。 対処 対象 HVM が起動していることを確認してください。また、通信状態を確認するため、ブレードの情報を更新し、再実行してください。通信に問題がなかった場合は、詳細な調査が必要です。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。
KASV31468-E	HVM ダンプの取得に失敗しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		HVM がほかのダンプを取得中です。 対処 しばらく待ってから、再実行してください。
KASV31469-E	HVM ダンプの取得に失敗しました。	要因 HVM がほかの処理を実行中のため、HVM ダンプの取得処理を実行できません。 対処 しばらく待ってから、再実行してください。
KASV31470-E	HVM ダンプの取得に失敗しました。	要因 一時的に SVP 側で HVM ダンプが生成できない状態になっていたおそれがあります。 対処 再実行してください。
KASV31471-E	ファームウェアを更新できませんでした。	要因 HVM が起動中です。 対処 HVM を停止し、再実行してください。
KASV31472-E	HVM ダンプの取得に失敗しました。	要因 HVM ダンプを保存するためのディスク容量が不足しています。 対処 管理クライアントのディスクの空き容量を増やしてから再実行してください。
KASV31473-E	EFI 設定ファイルの取得に失敗しました。	要因 ブレードの初期化が完了していません。 対処 Web コンソールでブレードの初期化が完了していることを確認してから、再実行してください。
KASV31474-E	EFI 設定ファイルを取得できません。	要因 指定したブレードが搭載されていません。 対処 ブレードを搭載してから、再実行してください。
KASV31475-E	EFI 設定ファイルの取得に失敗しました。	要因 ほかの Compute Systems Manager または Web コンソールから EFI 設定ファイルの適用を実行したため、取得する EFI 設定ファイルが削除されました。 対処 目的の EFI 設定に更新されていない場合は、再実行してください。
KASV31476-E	EFI 設定ファイルの取得に失敗しました。	要因 冗長構成の SVP の交替処理が発生したため、処理を中断しました。 対処 SVP の交替処理が完了したことを確認するために、対象サーバに SVP の Web コンソールで接続してください。Web コンソールで接続してから、EFI 設定ファイルの取得を再実行してください。
KASV31477-E	EFI 設定ファイルの取得に失敗しました。	要因 対象のブレードで次のどれかを処理中です。 1. Web コンソールから EFI 設定ファイルの取得または適用。 2. 電源 ON 処理。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>3. ダンプの取得。</p> <p>4. ファームウェアの更新。</p> <p>対処 実行中の処理が終了してから、再実行してください。</p>
KASV31478-E	HVM の動作モードを変更できません。	<p>要因 ブレードの機種またはファームウェアのバージョンがサポート対象外です。</p> <p>対処 指定したブレードの機種がサポート対象であることを確認してください。また、ファームウェアのバージョンがサポート対象外の場合、ファームウェアを更新してから、再実行してください。</p>
KASV31479-E	HVM の動作モードを変更できません。	<p>要因 ブレードの Pre-configure が完了していません。</p> <p>対処 SVP の Web コンソールを使用して Pre-configure を実行してください。操作手順は該当する機種のユーザーズガイドを確認してください。</p>
KASV31480-E	LPAR を Active 状態にできませんでした。	<p>要因 指定した LPAR に割り当てるメモリーが不足しています。</p> <p>対処 指定した LPAR に割り当てるメモリーサイズを減らすか、またはほかの Active 状態の LPAR を Deactive 状態にし、再実行してください。</p>
KASV31481-E	LPAR を Active 状態にできませんでした。	<p>要因 メモリーのフラグメンテーションが発生しています。</p> <p>対処 HVM のユーザーズガイドを参照してメモリーのフラグメンテーションを解決し、再実行してください。</p>
KASV31482-E	LPAR を Active 状態にできませんでした。	<p>要因 指定した LPAR に割り当てるプロセッサが不足しています。</p> <p>対処 指定した LPAR に割り当てるプロセッサ数を減らすか、またはほかの Active 状態の LPAR を Deactive 状態にし、再実行してください。</p>
KASV31483-E	HVM をシャットダウンできませんでした。	<p>要因 指定された HVM 上に Active 状態の LPAR があるため、実行できません。</p> <p>対処 Active 状態の LPAR をすべて Deactivate し、再実行してください。</p>
KASV31484-E	HVM をシャットダウンできませんでした。	<p>要因 HVM ファームウェアが更新中のため、実行できません。</p> <p>対処 HVM ファームウェアの更新が完了するまで待つから再実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31485-E	HVM をシャットダウンできませんでした。	<p>要因 LPAR がマイグレーション中のため、実行できません。</p> <p>対処 LPAR のマイグレーションが完了するまで待つてから再実行してください。</p>
KASV31486-E	HVM をシャットダウンできません。	<p>要因 指定した HVM は一時的にシャットダウンできない状態です。</p> <p>対処 しばらく待つてから、再実行してください。</p>
KASV31487-E	HVM をシャットダウンできません。	<p>要因 指定した HVM は一時的にシャットダウンできない状態になっているか、または HVM で予期しないエラーが発生したおそれがあります。</p> <p>対処 しばらく待つてから、再実行してください。それでも問題が解決しない場合は、HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。</p>
KASV31488-E	HVM を再起動できませんでした。	<p>要因 指定した HVM 上に Active 状態の LPAR があるため、実行できません。</p> <p>対処 Active 状態の LPAR をすべて Deactivate し、再実行してください。</p>
KASV31489-E	HVM を再起動できませんでした。	<p>要因 HVM ファームウェアが更新中のため、実行できません。</p> <p>対処 HVM ファームウェアの更新が完了するまで待つてから再実行してください。</p>
KASV31490-E	HVM を再起動できませんでした。	<p>要因 LPAR がマイグレーション中のため、実行できません。</p> <p>対処 LPAR のマイグレーションが完了するまで待つてから再実行してください。</p>
KASV31491-E	HVM を再起動できません。	<p>要因 指定した HVM は一時的に再起動できない状態です。</p> <p>対処 しばらく待つてから、再実行してください。</p>
KASV31492-E	HVM を再起動できません。	<p>要因 指定した HVM は一時的に再起動できない状態になっているか、または HVM で予期しないエラーが発生したおそれがあります。</p> <p>対処 しばらく待つてから、再実行してください。それでも問題が解決しない場合は、HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		集してから、障害対応窓口に連絡してください。 HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。
KASV31493-E	EFI 設定ファイルの適用に失敗しました。	要因 ブレードの初期化が完了していません。 対処 Web コンソールでブレードの初期化が完了していることを確認してから、再実行してください。
KASV31494-E	EFI 設定ファイルの適用に失敗しました。	要因 指定したブレードが搭載されていません。 対処 ブレードを搭載してから、再実行してください。
KASV31495-E	EFI 設定ファイルの適用に失敗しました。	要因 アップロードした EFI 設定ファイルが消去されました。ほかの Compute Systems Manager または Web コンソールから、EFI の取得または設定を実行したおそれがあります。 対処 目的の EFI 設定に更新されていない場合は、再実行してください。
KASV31496-E	EFI 設定ファイルの適用に失敗しました。	要因 冗長構成の SVP の交替処理が発生したため、処理を中断しました。 対処 SVP の交替処理が完了したことを確認するために、対象サーバに SVP の Web コンソールで接続してください。Web コンソールで接続してから、EFI 設定ファイルの適用を再実行してください。
KASV31497-E	EFI 設定ファイルの適用に失敗しました。	要因 対象のブレードで次の処理のどれかを実行中です。 1. Web コンソールから EFI 設定ファイルの取得または適用。 2. 電源 ON 処理。 3. ダンプの取得。 4. ファームウェアの更新。 対処 実行中の処理が終了してから、再実行してください。
KASV31498-E	EFI 設定ファイルの適用に失敗しました。	要因 適用先のサーバに対してファイルの内容が不正な EFI 設定ファイルを指定しました。 対処 適用元と同じモデルのサーバから取得した EFI 設定ファイルを指定したことを確認してください。
KASV31500-E	LPAR の作成に失敗しました。	要因 失敗したサブタスクの詳細を確認してください。 対処 失敗したサブタスクの詳細に表示された問題を解決し、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31501-E	LPAR を作成しましたが、設定に失敗しました。また、作成途中の LPAR の削除に失敗しました。	要因 失敗したサブタスクの詳細を確認してください。 対処 失敗したサブタスクの詳細に表示された問題を解決し、作成した LPAR を削除してから再実行してください。
KASV31502-E	LPAR を作成しましたが、設定に失敗しました。	要因 失敗したサブタスクの詳細を確認してください。 対処 サブタスクの詳細に表示された問題を解決し、LPAR の設定を変更するか、または作成された LPAR を削除してから再実行してください。
KASV31503-E	LPAR マイグレーションを中断しました。	要因 製品の内部ファイルにアクセスできません。ディスクアクセスエラーが発生しました。一時的な過負荷のおそれがあります。 対処 しばらく待ってから、再実行してください。
KASV31504-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 コンカレントメンテナンスマイグレーションを実行するためには、Compute Systems Manager の論理分割機能のプラグインライセンスのほか、ハードウェアの Enterprise または Advanced のライセンスを HVM に適用する必要があります。 対処 HVM にコンカレントメンテナンスマイグレーションが実行できるライセンスを適用してください。
KASV31505-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションの実行は推奨しません。	要因 HVM Operating Mode が Expansion の HVM から Standard の HVM に LPAR をマイグレーションすることは推奨しません。 対処 -
KASV31506-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動先の HVM 上で、同時に稼働できる上限の数の LPAR がすでに動作中です。 対処 -
KASV31507-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 指定した移動先の LPAR 番号は使用できません。タスクの登録後に、指定した LPAR 番号の LPAR が作成されたおそれがあります。 対処 移動先の LPAR 番号を変更するか、または [自動選択] を指定して再実行してください。
KASV31508-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 (保守情報=<保守情報>) 対処 再実行してください。問題が継続して発生する場合は、Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV31509-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 作成できる LPAR 数の上限が異なる HVM 間で LPAR のマイグレーションはできません。 対処 -
KASV31510-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動元と移動先のブレードが搭載されているシャーシの種別が一致しません。 対処 -
KASV31511-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動元と移動先のブレードの種別が一致しません。 対処 -
KASV31512-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動元と移動先のブレード間で SMP 構成が異なります。 対処 -
KASV31513-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 CPU の周波数が異なるブレード間では、コンカレントメンテナンスマイグレーションできません。 対処 -
KASV31514-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 搭載している CPU 数が異なるブレード間では、コンカレントメンテナンスマイグレーションできません。 対処 -
KASV31515-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動元と移動先のブレードの EFI または BIOS のバージョンが異なります。(保守情報=<保守情報>) 対処 この設定で LPAR をマイグレーションする場合は、移動元と移動先ブレードで同じバージョンになるよう、EFI または BIOS のバージョンをアップデートしてください。
KASV31516-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 ハイパースレッディングの設定が異なるブレード間では、コンカレントメンテナンスマイグレーションできません。 対処 BIOS または EFI で、移動元と移動先のブレードのハイパースレッディングの設定を同じにしてください。
KASV31517-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>マイグレーションネットワーク設定で指定したNICのポートがありません。タスクの登録後に構成が変更されたおそれがあります。</p> <p>対処 移動元と移動先のブレードの情報を更新してから、再実行してください。</p>
KASV31518-E	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARのマイグレーションを実行できません。	<p>要因 マイグレーションネットワーク設定で指定したNICのポートが共有モードではありません。タスクの登録後に設定が変更されたおそれがあります。</p> <p>対処 移動元と移動先のブレードの情報を更新してから、再実行してください。</p>
KASV31519-E	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARのマイグレーションを実行できません。	<p>要因 マイグレーションパスに指定したIPアドレスが移動元と移動先で重複しています。</p> <p>対処 移動元と移動先で異なるIPアドレスをマイグレーションパスに指定してください。</p>
KASV31520-E	LPARをマイグレーションできません。	<p>要因 Compute Systems Managerで内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 Compute Systems Managerサーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Managerのマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31521-W	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションの実行は推奨しません。	<p>要因 マイグレーションパスに指定したネットワークが移動先と移動元で異なります。</p> <p>対処 -</p>
KASV31522-E	LPARをマイグレーションできません。	<p>要因 Compute Systems Managerで内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 Compute Systems Managerサーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Managerのマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31523-E	LPARをマイグレーションできません。	<p>要因 Compute Systems Managerで内部エラーが発生しました。</p> <p>対処 Compute Systems Managerサーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Managerのマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31524-E	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションを実行できません。	<p>要因 移動先のHVMに同じ名称のLPARがあるため移動できません。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KASV31525-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションを実行できません。	要因 名称が NO_NAME の LPAR はマイグレーションできません。 対処 LPAR の名称を変更してください。
KASV31526-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 指定した LPAR 番号は、マイグレーション先ですで使用されています。タスクの登録後に構成が変更されたおそれがあります。 対処 移動先の LPAR 番号を変更するか、[自動選択]を指定して再実行してください。
KASV31527-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションできません。	要因 指定した LPAR が見つかりません。タスクを登録したあとに構成が変更されたか、ほかの HVM に移動されたおそれがあります。(保守情報=<保守情報>) 対処 -
KASV31528-E	マイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションを実行できません。	要因 指定した LPAR で障害が発生しています。(保守情報=<保守情報>) 対処 LPAR の状態を回復させるため、HVM を再起動してください。
KASV31529-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 指定した LPAR が稼働していないためコンカレントメンテナンスマイグレーションは実行できません。(保守情報=<保守情報>) 対処 -
KASV31530-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションは推奨しません。	要因 指定した LPAR が稼働しているため、シャットダウンマイグレーションすると失敗します。(保守情報=<保守情報>) 対処 -
KASV31531-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動元の HVM は LPAR のマイグレーションに対応していません。 対処 移動元の HVM を LPAR のマイグレーションに対応しているバージョンにアップグレードしてください。
KASV31532-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 指定した LPAR の状態が不正です。LPAR をマイグレーションできない状態です。(保守情報=<保守情報>) 対処 LPAR のマイグレーション状態のリカバリーを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31533-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 指定した LPAR はマイグレーションを実行中です。 対処 -
KASV31534-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 指定した LPAR で障害が発生しています。 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を採取してください。また、該当機種のユーザーズガイドを参照して HVM ダンプを採取してください。資料を採取後、障害対応窓口に連絡してください。
KASV31535-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 指定した LPAR はマイグレーション状態のリカバリーを実行中です。(保守情報=<保守情報>) 対処 -
KASV31536-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 指定した HVM は一時的に LPAR の情報を取得できない状態になっているか、または HVM で内部エラーが発生したおそれがあります。 対処 しばらく待ってから再実行してください。それでも問題が解決しない場合は、HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。
KASV31537-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動先の HVM で、LPAR に割り当てるプロセスが不足しています。 対処 -
KASV31538-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動先の HVM で、LPAR に割り当てるメモリーが不足しています。 対処 -
KASV31539-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動先の HVM の仮想コンソールに空きがないため、マイグレーションしたあと、に LPAR に仮想コンソールを割り当てられません。 対処 マイグレーション後も仮想コンソールを使用したい場合は、マイグレーション後に割り当てるか、またはマイグレーション前に仮想コンソールの空きを確保してください。
KASV31540-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動元の LPAR の仮想 NIC のデバイスタイプは、移動先の HVM では使用できません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KASV31541-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動元の LPAR に USB が割り当てられているため、LPAR をマイグレーションできません。 対処 USB の割り当てを解除してから再実行してください。
KASV31542-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 CPU が異なるブレード間のコンカレントメンテナンスマイグレーションはできません。 対処 -
KASV31543-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションできません。	要因 マイグレーションに必要な情報の一部を取得できません。一時的な過負荷が原因で情報の取得に失敗したおそれがあります。(保守情報=<保守情報>) 対処 再実行してください。問題が継続して発生する場合は、Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV31544-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 指定した LPAR に占有モードの FC が割り当てられています。占有モードの FC が割り当てられている LPAR はマイグレーションできません。 対処 -
KASV31545-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションを実行できません。	要因 移動先ブレードの HBA 搭載位置またはポート数が移動元のブレードと異なります。 対処 -
KASV31546-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションを実行できません。	要因 搭載している HBA の種別が異なるブレード間でマイグレーションはできません。 対処 -
KASV31547-E	LPAR のマイグレーションの構成診断中にエラーが発生しました。	要因 Compute Systems Manager で内部エラーが発生しました。(保守情報=<保守情報>) 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV31548-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションできません。	要因 移動先のブレードで HBA の障害が発生しています。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31549-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションの実行は推奨しません。	<p>要因 移動先のブレードで HBA の LinkDown が発生しています。マイグレーション完了後、LPAR がストレージシステムと通信できなくなるおそれがあります。</p> <p>対処 -</p>
KASV31550-W	マイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションの実行は推奨しません。	<p>要因 移動元または移動先のブレードに搭載されている HBA がホットプラグ操作で取り外されているか、障害による PCI 閉塞によって HBA が使用できない状態にあります。マイグレーション実行後、LPAR がストレージシステムと通信できなくなるおそれがあります。</p> <p>対処 -</p>
KASV31551-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションの実行は推奨しません。	<p>要因 移動元または移動先のブレードに搭載されている HBA で障害が発生しています。マイグレーション完了後、LPAR がストレージシステムと通信できなくなるおそれがあります。</p> <p>対処 -</p>
KASV31552-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションは推奨しません。	<p>要因 マイグレーションに必要な情報の一部を取得できません。一時的な過負荷が原因で情報の取得に失敗したおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 問題が継続して発生する場合は、Compute Systems Manager サーバを再起動してください。それでも解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KASV31553-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションの実行は推奨しません。	<p>要因 移動元または移動先のブレードに搭載されている HBA のポートで障害が発生しています。マイグレーション完了後、LPAR がストレージシステムと通信できなくなるおそれがあります。</p> <p>対処 -</p>
KASV31554-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	<p>要因 移動元または移動先のブレードに搭載されている HBA のファームウェアではコンカレントメンテナンスマイグレーションできません。</p> <p>対処 HBA のファームウェアを更新してください。</p>
KASV31555-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションの実行は推奨しません。	<p>要因 移動先の HBA は、移動元の HBA よりも古いファームウェアのバージョンが適用されています。</p> <p>対処 移動先の HBA に、移動元の HBA と同じバージョンのファームウェアを適用してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31556-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションは推奨しません。	要因 指定した LPAR で使用されている HBA ドライバーは、コンカレントメンテナンスマイグレーションをサポートしていません。 対処 LPAR 上の OS で使用している HBA ドライバーをコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応したバージョンに更新してください。
KASV31557-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動先の HVM で、LPAR に割り当てられる仮想 FC がありません。 対処 -
KASV31558-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動元の LPAR に占有モードの NIC が割り当てられているため、マイグレーションできません。 対処 -
KASV31559-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションできません。	要因 移動元と移動先の NIC の搭載位置が異なっているか、共有モードの設定が異なっています。 対処 移動元と移動先の NIC の搭載位置と共有モードの設定を同じにしてください。
KASV31560-W	マイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動元の LPAR に Virtual NIC segment の仮想 NIC が割り当てられています。移動元の LPAR が Virtual NIC segment を使用しているほかの LPAR とは、移動先から通信することができなくなります。 対処 -
KASV31561-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 同じ NIC を持たないブレード間では、マイグレーションできません。(保守情報=<保守情報>) 対処 -
KASV31562-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションできません。	要因 移動先のブレードに搭載されている NIC で障害が発生しています。 対処 -
KASV31563-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動先のブレードに搭載されている NIC でリンクダウンが発生しています。マイグレーションしたあと、LPAR がネットワークに接続できなくなるおそれがあります。 対処 -
KASV31564-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動元または移動先のブレードに搭載されている NIC が取り外されているか、障害による PCI

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		閉塞によって使用できない状態です。マイグレーションしたあと、LPARがネットワークに接続できなくなるおそれがあります。 対処 -
KASV31565-W	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動元または移動先のブレードに搭載されているNICで障害が発生しているため、マイグレーションに失敗するおそれがあります。 対処 -
KASV31566-W	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動元または移動先のブレードに搭載されているNICのポートで障害が発生しているため、マイグレーションに失敗するおそれがあります。 対処 -
KASV31567-E	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションできません。	要因 移動元 LPAR の仮想 NIC 数の上限が、移動先での上限を上回っています。移動元と移動先 HVM の Operating Mode が異なっていることが考えられます。 対処 移動元と移動先 HVM の Operating Mode を共に Extended にして、再実行してください。
KASV31568-W	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動先と移動元 HVM で Shared NIC segment の Inter-LPAR Packet Filtering の設定が異なります。 対処 移動元と移動先 HVM の Shared NIC segment の Inter-LPAR Packet Filtering を同じ設定にしてください。
KASV31569-E	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションできません。	要因 マイグレーションを実行すると、移動先の HVM で共有 NIC のポート重複割り当てが発生します。共有 NIC のポート重複割り当てが発生する構成はマイグレーションできません。 対処 -
KASV31570-E	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。マイグレーションできません。	要因 移動先の HVM は HVM Operating Mode が Standard のためポート単位でネットワークセグメントを割り当てられません。 対処 -
KASV31571-E	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARのマイグレーションを実行できません。	要因 移動先 HVM の VNIC System No が、移動元 HVM に設定できる最大値を超えているため、LPAR をマイグレーションできません。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31572-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 移動元 HVM の VNIC System No が、移動先 HVM に設定できる最大値を超えているため、LPAR をマイグレーションできません。 対処 -
KASV31573-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 予期しないエラーが発生しました。(保守情報=<保守情報>) 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV31574-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 LPAR マイグレーションを実行中に HVM の予期しないエラーが発生しました。(保守情報=<保守情報>) 対処 HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。
KASV31575-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 LPAR マイグレーションを実行中に予期しないエラーが発生しました。(保守情報=<保守情報>) 対処 再実行してください。それでも問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。
KASV31586-E	マイグレーション状態のリカバリーに失敗しました。	要因 マイグレーション状態のリカバリー実行中に、HVM で予期しないエラーが発生しました。(保守情報=<保守情報>) 対処 再実行してください。それでも問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。
KASV31588-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>によって、LPAR のマイグレーションがキャンセルされたおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 LPAR 構成を確認し、必要に応じて再実行してください。</p>
KASV31589-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元または移動先の HVM と Compute Systems Manager サーバ間のネットワークに問題があります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元と移動先のサーバの情報を更新し、HVM から正常に情報を取得できることを確認してください。</p>
KASV31590-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元の LPAR に USB が割り当てられているため、マイグレーションできません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元の USB の割り当てを解除してから、再実行してください。</p>
KASV31591-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元の HVM と Compute Systems Manager サーバ間のネットワークに問題があります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元のサーバの情報を更新し、HVM から正常に情報を取得できることを確認してください。</p>
KASV31592-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM と Compute Systems Manager サーバ間のネットワークに問題があります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動先のサーバの情報を更新し、HVM から正常に情報を取得できることを確認してください。</p>
KASV31595-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 マイグレーション実行中に移動元の LPAR の電源が操作されました。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元の LPAR の電源の状態を確認してから、再実行してください。</p>
KASV31596-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 マイグレーションの実行中に、移動元の LPAR にほかの操作が実行されました。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元の LPAR の状態を確認し、再実行してください。</p>
KASV31597-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元の HVM のファームウェアのバージョンが、LPAR マイグレーションに対応していません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元の HVM のファームウェアを更新し、再実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31598-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元の LPAR 上の OS が起動していないか、または HBA ドライバーのバージョンがコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応したバージョンではありません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元の LPAR 上の OS を起動してから再実行してください。それでも問題が解決しない場合は、移動元の HBA ドライバーをコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応したバージョンに更新してください。</p>
KASV31599-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元の LPAR 上の OS が起動していません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元の LPAR 上の OS が起動してから再実行してください。</p>
KASV31600-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元の HBA へ接続できませんでした。HBA またはストレージが、一時的に高負荷になっているおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 しばらく待ってから再実行してください。問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、該当機種のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。</p>
KASV31601-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元または移動先のサーバが、LPAR マイグレーションを実行中です。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 実行中の LPAR マイグレーション終了後に再実行してください。</p>
KASV31602-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元と移動先の HVM がマイグレーションパスを使用して通信できません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元と移動先の HVM のマイグレーションパスの設定が正しいことを確認してください。</p>
KASV31603-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 タスクの登録時に指定した移動元の共有 NIC が削除されたおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元のサーバの情報を更新し、有効な NIC を指定して再実行してください。</p>
KASV31604-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>タスクの登録時に指定した移動先の共有 NIC が削除されたおそれがあります。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動先のサーバの情報を更新し、有効な NIC を指定して再実行してください。</p>
KASV31605-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 マイグレーション対象の LPAR, または対象の LPAR を管理する HVM が操作中のため、マイグレーションを実行できません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 しばらく待ってから再実行してください。</p>
KASV31606-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 マイグレーションネットワーク設定で指定した移動元と移動先の IP アドレスが重複しています。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元と移動先で、重複しない IP アドレスを指定してから、再実行してください。</p>
KASV31607-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 指定した LPAR は、マイグレーションできない状態です。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 指定した LPAR に対して、マイグレーション状態のリカバリーを実行し、再実行してください。</p>
KASV31608-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元の LPAR の WWN が、移動先の HVM 上の LPAR ですでに使用されています。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元と移動先の WWN の割り当てを見直してください。</p>
KASV31609-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 種別が異なるブレード間では、LPAR マイグレーションはできません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元と同じ種別のブレードを選択し、再実行してください。</p>
KASV31610-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 指定した LPAR に占有モードの FC または NIC が割り当てられているため、LPAR のマイグレーションはできません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 指定した LPAR の占有モードの FC または NIC の割り当てを解除し、共有モードの FC または NIC を割り当てたあとで、再実行してください。</p>
KASV31611-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元と移動先の FC のスロット位置が異なっているか、または移動元と移動先のブレードの EFI のバージョンが異なっています。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元と移動先のブレードの FC のスロット位置と、EFI のバージョンを一致させてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31612-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 CPU 周波数が異なるブレード間のコンカレントメンテナンスマイグレーションはできません。 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動元と同じ CPU 周波数のブレードを選択し、再実行してください。</p>
KASV31613-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元または移動先のブレードの HBA のファームウェアのバージョンが、コンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 コンカレントメンテナンスマイグレーションに対応した HBA のファームウェアに更新してください。</p>
KASV31615-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM の仮想コンソールに空き領域がないため、マイグレーションのあとに LPAR に仮想コンソールを割り当てられません。 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 マイグレーションのあとに仮想コンソールを使用したい場合は、マイグレーションのあとに割り当てるか、またはマイグレーションの前に仮想コンソールの空き領域を確保してください。</p>
KASV31616-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 指定したプロセッサグループが移動先の HVM にありません。 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動先のサーバ情報を更新して、再実行してください。それでも問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、該当機種のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。</p>
KASV31617-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM に対してほかの操作が行われています。 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 しばらく待ってから再実行してください。</p>
KASV31618-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM は LPAR の動作に必要な CPU が不足しています。 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 -</p>
KASV31619-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM は LPAR の動作に必要なメモリーが不足しています。 (保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 -</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31620-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 名称が NO_NAME の LPAR はマイグレーションできません。(保守情報=<保守情報>) 対処 LPAR の名称を設定してください。
KASV31621-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 LPAR マイグレーション実行中に予期しないエラーが発生しました。(保守情報=<保守情報>) 対処 HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口ご連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。
KASV31622-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 指定した LPAR は、ほかのマイグレーションの処理中です。(保守情報=<保守情報>) 対処 移動先を変更する必要がある場合は、実行中のマイグレーションが終了してから、新たにマイグレーションを実行してください。
KASV31623-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 Active 状態の LPAR はシャットダウンマイグレーションできません。(保守情報=<保守情報>) 対処 LPAR を Deactive 状態にしてから、再実行してください。
KASV31624-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 Deactive 状態の LPAR をコンカレントメンテナンスマイグレーションできません。(保守情報=<保守情報>) 対処 LPAR を Active 状態にしてから、再実行してください。
KASV31625-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 マイグレーション対象の LPAR と同じ名称の LPAR が移動先の HVM にあるため移動できません。(保守情報=<保守情報>) 対処 移動元の LPAR の名称を変更するか、または移動先の LPAR の名称を変更してから、再実行してください。
KASV31626-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の LPAR 数が作成できる上限数に達しています。(保守情報=<保守情報>) 対処 -
KASV31627-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 移動元と移動先の NIC の搭載位置が異なるか、共有モードの設定が異なります。(保守情報=<保守情報>, VNIC 番号=<VNIC No.>)

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 移動元と移動先の NIC の搭載位置と共有モードの設定を同じにしてください。
KASV31630-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 指定した移動先の共有 FC のリソース (vfcID) が不足しているおそれがあります。(保守情報=<保守情報>, バス番号=<バス番号>, デバイス番号=<デバイス番号>, ファンクション番号=<ファンクション番号>) 対処 -
KASV31631-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 指定した移動先の FC のポート用の共有 FC のリソース (vfcID) が不足しています。(保守情報=<保守情報>, スロット番号=<スロット番号>, ポート番号=<ポート番号>, バス番号=<バス番号>, デバイス番号=<デバイス番号>, ファンクション番号=<ファンクション番号>) 対処 -
KASV31632-E	マイグレーション状態のリカバリーに失敗しました。	要因 リカバリー対象の HVM と Compute Systems Manager サーバ間のネットワークに問題があります。(保守情報=<保守情報>) 対処 リカバリー対象の HVM の情報を更新し、HVM から正常に情報を取得できることを確認してください。
KASV31633-E	マイグレーション状態のリカバリーに失敗しました。	要因 指定した LPAR では、別のマイグレーションを実行中です。(保守情報=<保守情報>) 対処 実行中のマイグレーションが失敗した場合、マイグレーション状態のリカバリーを再実行してください。
KASV31634-E	マイグレーション状態のリカバリーに失敗しました。	要因 指定した LPAR が Active 状態のため、処理を実行できませんでした。(保守情報=<保守情報>) 対処 LPAR を Deactive 状態にしてから、再実行してください。
KASV31636-E	この操作は HVM が受け付けませんでした。(Return Code:<HvmSh リターンコード>)	要因 次の原因が考えられます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Compute Systems Manager のほかのユーザーまたは Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象 HVM または LPAR が操作された。 2. 対象 HVM, または LPAR が一時的に操作できない状態になっている。 3. Compute Systems Manager, または HVM で予期しないエラーが発生した。 対処 次に示す(1)~(3)の対処を実行してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ブレードの情報を更新して最新の状態を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. しばらく待ってから再実行してください。</p> <p>3. (1)および(2)の対処を実行しても問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。</p> <p>Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集してください。</p> <p>また、該当する機種ของผู้ザーズガイドを参照して HVM ダンプを採取してください。</p> <p>資料を採取したあと、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31638-E	指定したプロセッサグループはすでにあります。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因</p> <p>Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象 HVM の設定が変更されたおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>ブレードの情報を更新し、プロセッサグループを確認してください。</p>
KASV31639-E	指定したプロセッサグループに Active 状態の LPAR があります。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因</p> <p>-</p> <p>対処</p> <p>Active 状態の LPAR をほかのプロセッサグループに移動し、再実行してください。</p>
KASV31640-E	指定したプロセッサがありません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因</p> <p>Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象ブレードの設定が変更されたおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>ブレードの情報を更新し、指定したプロセッサがあることを確認してください。</p>
KASV31641-E	指定したプロセッサグループがありません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因</p> <p>Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象 HVM の設定が変更されたおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>ブレードの情報を更新し、指定したプロセッサグループがあることを確認してください。</p>
KASV31642-E	指定したプロセッサをプロセッサグループに割り当てられません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因</p> <p>占有モードで使用中的のプロセッサは、プロセッサグループへの割り当てを変更できません。</p> <p>対処</p> <p>LPAR へのプロセッサの割り当てを確認し、使用できるプロセッサを選択してください。</p>
KASV31643-E	指定したプロセッサをプロセッサグループに割り当てられません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因</p> <p>移動元のプロセッサグループの LPAR が使用しているため、プロセッサの割り当てを変更することができません。</p> <p>対処</p> <p>LPAR へのプロセッサの割り当てを確認し、使用できるプロセッサを選択してください。</p>
KASV31644-E	指定した LPAR がありません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因</p> <p>Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>によって、指定した LPAR が削除されたおそれがあります。</p> <p>対処 ブレードの情報を更新し、指定した LPAR があることを確認してください。</p>
KASV31645-E	指定したプロセッサグループがありません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、指定したプロセッサグループが削除されたおそれがあります。</p> <p>対処 ブレードの情報を更新し、指定したプロセッサグループがあることを確認してください。</p>
KASV31646-E	スケジューリングモードが占有モードの LPAR は、Active 状態のままほかのプロセッサグループに変更できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 -</p> <p>対処 指定した LPAR を Deactivate するか、またはスケジューリングモードを共有モードに変更してから再実行してください。</p>
KASV31647-E	指定した LPAR が所属するプロセッサグループを変更できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 移動先のプロセッサグループに、共有モードのプロセッサがありません。</p> <p>対処 移動先のプロセッサグループに、共有モードで使用できるプロセッサを追加してください。</p>
KASV31648-E	指定した LPAR がありません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、指定した LPAR が削除されたおそれがあります。</p> <p>対処 ブレードの情報を更新し、指定した LPAR があることを確認してください。</p>
KASV31649-E	指定した LPAR のスケジューリングモードを占有モードに変更できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 指定した LPAR が属するプロセッサグループに、占有モードで使用できるプロセッサがありません。</p> <p>対処 指定した LPAR が属するプロセッサグループに、占有モードで使用できるプロセッサを追加してください。</p>
KASV31650-E	SVP または BMC からの応答がありません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 HVM と SVP または BMC との通信でエラーが発生しました。</p> <p>対処 Compute Systems Manager が SVP、および BMC と通信できることを確認するため、ブレードの情報を更新し、タスクが成功することを確認してください。</p>
KASV31651-E	この操作は HVM が受け付けませんでした。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 LPAR のマイグレーションが実行中、または NTP と時刻を同期中です。</p> <p>対処 しばらく待ってから再実行してください。LPAR のマイグレーションが実行中の場合は、LPAR の</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		マイグレーションが完了したあとで再実行してください。
KASV31652-E	HVM で予期しないエラーが発生しました。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 - 対処 HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。
KASV31653-E	HVM はこの操作を受け付けられませんでした。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 HVM ファームウェアのバージョンが対応していません。 対処 HVM ファームウェアをアップデートして再実行してください。
KASV31654-E	HVM はこの操作を受け付けられませんでした。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 HVM ファームウェアのバージョンが対応していません。 対処 HVM ファームウェアをアップデートして再実行してください。
KASV31655-E	HVM はこの操作を受け付けられませんでした。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 HVM ファームウェアのバージョンが対応していません。 対処 HVM ファームウェアをアップデートして再実行してください。
KASV31656-E	この操作は HVM が受け付けませんでした。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 次の原因が考えられます。 1. Compute Systems Manager のほかのユーザーまたは Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象 HVM または対象 LPAR が操作された。 2. LPAR の仮想 NIC に指定した MAC アドレスが HVM によって予約されている。 3. LPAR が vfcID 変更禁止に設定されているため、共有 FC の割り当てができない。 4. BS2000 の HVM の動作モードが Expansion になっていない。 対処 次に示す(1)~(4)の対処を実行してください。 1. ブレードの情報を更新して最新の状態を確認してください。 2. MAC アドレスを変更して再実行してください。 3. 該当する機種 of ユーザーズガイドを参照して、LPAR が vfcID 変更禁止に設定されていないことを確認してください。 4. BS2000 の HVM の動作モードが Expansion になっていることを確認してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV31657-E	指定した LPAR がありません。 (Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、指定した LPAR が削除されたおそれがあります。 対処 ブレードの情報を更新し、指定した LPAR があることを確認してください。
KASV31658-E	指定した LPAR は現在操作中のため、新たな操作を受け付けられませんでした。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 - 対処 しばらく待ってから再実行してください。
KASV31661-E	指定した LPAR は Deactive 状態のため、操作できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 - 対処 指定した LPAR を Activate し、再実行してください。
KASV31662-E	指定した LPAR はすでにあります。 (Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、指定した LPAR が作成されたおそれがあります。 対処 ブレードの情報を更新し、未作成の LPAR 番号を指定して再実行してください。
KASV31663-E	指定した LPAR または共有 FC ポートは、LPAR のマイグレーションが実行されたため操作できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 - 対処 ブレードの情報を更新し、指定した LPAR があることを確認してください。
KASV31664-E	この操作は HVM で受け付けられません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 指定した LPAR のマイグレーション状態がリカバリー要になっています。または、Compute Systems Manager 以外の製品によって対象 HVM を操作しているおそれがあります。 対処 マイグレーション状態がリカバリー要の場合は、マイグレーション状態のリカバリーをしてください。または、Compute Systems Manager 以外の製品で対象 HVM を操作していないことを確認してください。
KASV31665-E	HVN の構成情報の保存に失敗しました。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって対象 HVM が操作されているおそれがあります。 対処 LPAR の作成でこのエラーが発生した場合は、サブタスクのエラーメッセージに従って対処してください。それ以外の場合は、該当機種のユーザーズガイドを参照して、対象 HVM の構成情報を保存してください。
KASV31666-E	共有 NIC 数が上限に達しているため、指定した占有 NIC のスケジューリング	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	モードを変更できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	ほかの共有 NIC を占有 NIC に変更してから再実行してください。
KASV31667-E	同じ名称の LPAR がすでにあります。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、同じ名称の LPAR が作成されたおそれがあります。 対処 ブレードの情報を更新し、ほかの LPAR と重複しない名称を指定して再実行してください。
KASV31668-E	Virtual Console 番号、またはそのほかの設定値がすでに使用されています。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象 HVM または対象 LPAR の設定が変更されたおそれがあります。 対処 サブタスクの詳細を確認してください。
KASV31669-E	同じ名称のプロセッサグループがすでにあります。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、同じ名称のプロセッサグループが作成されたおそれがあります。 対処 ブレードの情報を更新し、ほかのプロセッサグループと重複しない名称を指定して再実行してください。
KASV31670-E	指定したプロセッサグループはありません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、指定したプロセッサグループが削除されたおそれがあります。 対処 ブレードの情報を更新し、指定したプロセッサグループがあることを確認してください。
KASV31671-E	VNIC System No が未設定です。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 - 対処 HVM 設定編集で VNIC System No を設定してください。
KASV31672-E	HVM のファームウェアが更新中のため、実行できませんでした。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 - 対処 HVM のファームウェアの更新が完了したあとで、再実行してください。
KASV31673-E	LPAR マイグレーションが実行中のため、実行できませんでした。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 - 対処 LPAR マイグレーションが完了したあとで、再実行してください。
KASV31674-E	HVM のシステムログを出力中のため、実行できませんでした。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 - 対処 しばらく待ってから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31675-E	指定した FC はほかの LPAR に Attach されています。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、指定した FC がほかの LPAR に Attach されたおそれがあります。</p> <p>対処 ブレードの情報を更新し、指定した FC がほかの LPAR に Attach されていないことを確認してください。</p>
KASV31676-E	NTP との同期が有効になっているため、HVM のシステム時刻は設定できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象 HVM の NTP の設定が有効に変更されたおそれがあります。</p> <p>対処 ブレードの情報を更新し、再実行してください。</p>
KASV31677-E	NTP との同期が有効になっているため、HVM のタイムゾーンは設定できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象 HVM の NTP の設定が有効に変更されたおそれがあります。</p> <p>対処 ブレードの情報を更新し、再実行してください。</p>
KASV31678-E	NTP との同期が有効になっているため、NTP サーバを無効にできません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 Compute Systems Manager のほかのユーザー、または Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象 HVM の NTP の設定が有効に変更されたおそれがあります。</p> <p>対処 ブレードの情報を更新し、再実行してください。</p>
KASV31679-E	指定した LPAR で一時的な障害が発生しています。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 -</p> <p>対処 対象 HVM を再起動してから、再実行してください。それでも問題が解決しない場合は、HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。</p>
KASV31681-E	HVM からの応答がありません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 SVP と HVM との通信がタイムアウトしました。</p> <p>対処 対象 HVM が起動していることを確認してください。また、Compute Systems Manager が SVP、および HVM と通信できることを確認するため、ブレードの情報を更新し、タスクが成功することを確認してください。</p>
KASV31686-E	この操作は HVM が受け付けませんでした。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	<p>要因 HVM のファームウェアのバージョンが対応していません。</p> <p>対処 HVM のファームウェアを更新してから再実行してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31687-E	HVM からの応答がありませんでした。(Return Code:< HvmSh リターンコード >)	<p>要因 SVP と HVM との通信中に通信エラーが発生しました。</p> <p>対処 対象 HVM が起動していることを確認してください。また、通信状態を確認するため、ブレードの情報を更新してください。通信に問題がなかった場合は、詳細な調査が必要です。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。</p>
KASV31688-E	HVM で内部エラーが発生しました。(Return Code:< HvmSh リターンコード >)	<p>要因 -</p> <p>対処 HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡してください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。</p>
KASV31689-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HVM のファームウェアのバージョンが、LPAR マイグレーションに対応していません。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 移動先の HVM のファームウェアを更新し、再実行してください。</p>
KASV31690-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 転送元と転送先の HVM 間のネットワークの帯域が一時的に不足しています。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 しばらく待ってから再実行してください。</p>
KASV31691-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動元の HBA が一時的に処理を受け付けられない状態です。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 しばらく待ってから再実行してください。</p>
KASV31692-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 移動先の HBA が一時的に処理を受け付けられない状態です。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 しばらく待ってから再実行してください。</p>
KASV31693-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	<p>要因 指定した LPAR でエラーが発生しています。(保守情報=<保守情報>)</p> <p>対処 HVM を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報を収集してから、障害対応窓口に連絡して</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ください。HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、該当機種のユーザズガイドおよび Compute Systems Manager のマニュアルを参照してください。
KASV31694-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 CPU が異なるブレード間では、コンカレントメンテナンスマイグレーションできません。(保守情報=<保守情報>) 対処 -
KASV31695-E	LPAR が Active 状態のため、操作できません。(Return Code:<HvmSh リターンコード>)	要因 - 対処 操作対象が LPAR の場合は、指定した LPAR を Deactive 状態にしてから、再実行してください。操作対象が HVM の場合は、指定した HVM 上で Active 状態のすべての LPAR を Deactive 状態にしてから、再実行してください。
KASV31696-E	指定した共有 NIC は LPAR に割り当てられていないため、通信パケットフィルタを設定できません。(Return Code:<HvmSh リターンコード>)	要因 - 対処 指定した共有 NIC を LPAR に割り当ててから再実行してください。
KASV31697-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM で、LPAR の動作に必要な CPU またはメモリーが不足しています。(保守情報=<保守情報>) 対処 -
KASV31698-E	マイグレーション状態のリカバリーに失敗しました。	要因 HVM に保存されている構成情報が不足しています。(保守情報=<保守情報>) 対処 Web コンソールまたは HVM スクリーンで HVM の構成情報を保存してから、再実行してください。操作手順は HVM のユーザズガイドで確認してください。
KASV31699-E	LPAR マイグレーションに失敗しました。	要因 移動元または移動先の HVM マイグレーションパスの設定が誤っています。(保守情報=<保守情報>) 対処 マイグレーションパスに、管理パスと異なる VNIC ネットワークセグメントまたは VLAN を設定してください。マイグレーションパスに、管理パスと異なるネットワークアドレスを設定してください。
KASV31732-E	シャーシが保守モードのため、ブレードを診断できません。	要因 - 対処 保守モードを解除してください。
KASV31733-E	電源 ON 抑止状態のため、ブレードを診断できません。	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 電源 ON 抑止状態を確認し、抑止が有効の場合は解除してください。
KASV31734-E	この操作は HVM が受け付けませんでした。(Return Code:<HvmSh リターンコード>)	要因 対象デバイス、またはブレードはこの操作をサポートしていません。 対処 対象デバイス、またはブレードの機種がこの操作のサポート対象であることを確認してください。
KASV31735-E	処理を続行できません。	要因 SVP と BMC 間の通信でエラーが発生しました。 対処 再実行してください。解決しない場合は Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集してください。また、該当する機種のユーザーズガイドを参照してシャーシの保守情報を収集したあと、障害対応窓口に連絡してください。
KASV31738-E	処理を続行できません。	要因 ブレードの初期化が完了していません。 対処 Web コンソールでブレードの初期化が完了していることを確認してから、再実行してください。
KASV31739-E	処理を続行できません。	要因 指定したブレードがありません。 対処 ブレードを搭載してから、再実行してください。
KASV31742-E	処理を続行できません。	要因 ブレードが電源 ON 状態のため実行できません。 対処 ブレードの電源を OFF にし、再実行してください。
KASV31743-E	処理を続行できません。	要因 ブレードの機種またはファームウェアのバージョンがサポート対象外です。 対処 指定したブレードの機種がサポート対象であることを確認してください。また、ファームウェアのバージョンがサポート対象外の場合、ファームウェアを更新してから、再実行してください。
KASV31744-E	幾つかのサーバでファームウェアを更新できませんでした。(<スロット番号 >)	要因 - 対処 このタスクで指定した各サーバのエラーメッセージを確認してください。
KASV31745-E	処理を続行できません。	要因 すでに別のファイルをマウントしています。 対処 マウント状態を解除したい場合は、ブレードの電源を ON にしたあとに再度ブレードの電源を OFF にしてください。
KASV31746-E	LPAR を Active 状態にできませんでした。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		1 台の HVM 上で起動できる LPAR の最大数を 超えているか、または指定した LPAR の起動抑止 設定が有効になっています。 対処 対象 HVM 上で Active 状態の LPAR 数を確認し てください。LPAR の起動抑止設定については、 該当する機種ของผู้ザーズガイドを参照してく ださい。
KASV31747-E	LPAR を Deactive 状態にできませんで した。	要因 指定した LPAR は一時的に Deactivate できない 状態になっているか、または HVM で予期しない エラーが発生したおそれがあります。 対処 しばらく待つてから、再実行してください。それ でも問題が解決しない場合は、HVM ダンプおよ び Compute Systems Manager の障害情報を収 集してから、障害対応窓口に連絡してください。 HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガ イドおよび Compute Systems Manager のマ ニュアルを参照してください。
KASV31748-E	LPAR を Reactivate できませんでし た。	要因 指定した LPAR は一時的に Reactivate できない 状態になっているか、または HVM で予期しない エラーが発生したおそれがあります。 対処 しばらく待つてから、再実行してください。それ でも問題が解決しない場合は、HVM ダンプおよ び Compute Systems Manager の障害情報を収 集してから、障害対応窓口に連絡してください。 HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガ イドおよび Compute Systems Manager のマ ニュアルを参照してください。
KASV31749-E	HVM の構成情報の保存に失敗しまし た。(Return Code:< HvmSh リター ンコード>)	要因 HVM で予期しないエラーが発生しました。 対処 該当する機種ของผู้ザーズガイドを参照して、対 象 HVM の構成情報を保存してください。それ でも問題が解決しない場合は、HVM ダンプおよ び Compute Systems Manager の障害情報を収 集してから、障害対応窓口に連絡してください。 HVM ダンプおよび Compute Systems Manager の障害情報の収集方法は、HVM のユーザーズガ イドおよび Compute Systems Manager のマ ニュアルを参照してください。
KASV31750-E	この操作は HVM が受け付けませんで した。(Return Code:< HvmSh リ ターンコード>)	要因 対象デバイス、またはブレードはこの操作をサ ポートしていません。 対処 該当する機種ของผู้ザーズガイドを参照して、対 象デバイス、またはブレードの機種がこの操作の サポート対象であることを確認してください。
KASV31751-E	HVM をシャットダウンできません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>Active 状態の LPAR の Deactivate に失敗しました。次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Compute Systems Manager のほかのユーザーまたは Compute Systems Manager 以外の製品によって、対象 HVM または LPAR が操作された。 2. 対象 HVM, または LPAR が一時的に操作できない状態になっている。 3. Compute Systems Manager, または HVM で予期しないエラーが発生した。 <p>対処 次に示す(1)~(3)の対処を実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ブレードの情報を更新して最新の状態を確認してください。 2. しばらく待ってから再実行してください。HVM ファームウェアの更新中, または LPAR のマイグレーション中の場合は, 完了するまで待ってから再実行してください。 3. (1)および(2)の対処を実行しても問題が解決しない場合は, 詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集してください。また, 該当する機種種のユーザーズガイドを参照して HVM ダンプを採取してください。資料を採取したあと, 障害対応窓口ご連絡してください。
KASV31752-E	処理を続行できません。	<p>要因 強制 PXE モードが有効に設定されています。</p> <p>対処 強制 PXE モード設定を無効にしてください。</p>
KASV31753-E	ファイルをアップロードできません。	<p>要因 シャーシ内蔵 USB メモリーの容量に空きがありません。</p> <p>対処 該当する機種種のマニュアルを参照して, シャーシに接続した USB メモリーから不要なファイルを削除し, メモリーの空き容量を確保してください。</p>
KASV31754-E	処理を続行できません。	<p>要因 マネジメントモジュールのファームウェアが対応したバージョンではありません。</p> <p>対処 指定したシャーシの機種種がサポート対象であることを確認してください。また, マネジメントモジュールのファームウェアのバージョンがサポート対象外の場合, ファームウェアを更新してから, 再実行してください。</p>
KASV31755-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	<p>要因 指定した LPAR が, Migration WWPN を使用して移動元の HVM からホストグループに接続できません。FC スイッチのゾーニング設定が正しくないか, ホストグループが Migration WWPN からの接続を受け付けない設定になっているおそれがあります。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		指定した LPAR が、Migration WWPN を使用して移動元の HVM からホストグループに接続できるよう SAN の構成を変更し、マイグレーションを再実行してください。
KASV31756-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先の HVM から、LPAR が使用しているストレージシステムに接続できません。移動先ブレードとストレージシステムが物理的に接続されていないか、FC スイッチのゾーニング設定が正しくないおそれがあります。 対処 移動先の HVM から LPAR が使用しているストレージに接続できるよう SAN の構成を変更し、マイグレーションを再実行してください。
KASV31757-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 FC スイッチのゾーニング設定で、Migration WWPN と WWPN が同じゾーンに属しているおそれがあります。Migration WWPN と WWPN が同じゾーンに属している場合、マイグレーションできません。 対処 FC スイッチのゾーニング設定を変更して、Migration WWPN と WWPN を別のゾーンに分けてください。そのあと、マイグレーションを再実行してください。
KASV31758-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 マイグレーションで使用する Migration WWPN は、別の LPAR で使用中です。 対処 マイグレーション状態のリカバリーを実行してから、マイグレーションを再実行してください。
KASV31759-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先のブレードから接続できないストレージポートがあります。移動元と移動先のブレードは、FC カードの、搭載位置と接続先のストレージポートが同じ必要があります。 対処 移動元のブレードが接続しているストレージポートに、移動先のブレードから接続できる設定になっていることを確認してください。
KASV31760-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 バージョンが異なる HVM 間でのマイグレーションはできません。 対処 移動元と同じバージョンの HVM を移動先に指定し、マイグレーションを再実行してください。
KASV31761-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 構成の異なるブレード間では、LPAR のマイグレーションをできません。 対処 移動元と構成が一致しているブレードを移動先に指定し、マイグレーションを再実行してください。
KASV31762-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		指定した LPAR が占有デバイスを使用しているため、マイグレーションできません。 対処 指定した LPAR の占有デバイスの割り当てを解除するか、または共有割り当てに変更してから、マイグレーションを再実行してください。
KASV31763-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動先に指定した LPAR 番号は使用できません。マイグレーションのタスクを登録したあとで、指定した LPAR 番号を使用する LPAR が作成されたおそれがあります。 対処 移動先に別の LPAR 番号を指定して、マイグレーションを再実行してください。
KASV31764-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 指定した LPAR はすでにマイグレーションを実行中か、マイグレーションに失敗してマイグレーション状態のリカバリーが必要な状態になっているおそれがあります。 対処 指定した LPAR に問題が発生している場合は、マイグレーション状態のリカバリーを実行してから、マイグレーションを再実行してください。
KASV31765-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 HBA デバイスのファームウェアが更新中のため、マイグレーションできません。 対処 HBA デバイスのファームウェアの更新が完了してから、マイグレーションを再実行してください。
KASV31766-I	指定した LPAR のマイグレーション状態はリカバリーできません。	要因 指定した LPAR の状態は正常です。Compute Systems Manager 以外から LPAR のリカバリーが実行されたことが考えられます。 対処 -
KASV31767-E	幾つかのブレードで IO デバイスのファームウェアを更新できませんでした。(<スロット番号>)	要因 - 対処 各ブレードのエラーメッセージを確認してください。
KASV31769-E	LPAR のマイグレーションができません。	要因 一時的に管理サーバの負荷が高くなっていることが考えられます。 対処 しばらく待ってから、再実行してください。
KASV31770-E	LPAR のマイグレーション状態のリカバリーができません。	要因 一時的に管理サーバの負荷が高くなっていることが考えられます。 対処 しばらく待ってから、再実行してください。
KASV31771-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>指定した LPAR に VF NIC が割り当てられています。VF NIC が割り当てられた LPAR はコンカレントメンテナンスマイグレーションできません。</p> <p>対処 指定した LPAR から VF NIC の割り当てを解除して、再実行してください。または、LPAR を Deactive 状態にして、シャットダウンマイグレーションしてください。</p>
KASV31772-E	LPAR をマイグレーションできません。	<p>要因 指定した LPAR に Schedule Mode が Dedicated の USB が割り当てられています。Schedule Mode が Dedicated の USB が割り当てられている LPAR はマイグレーションできません。</p> <p>対処 指定した LPAR から Schedule Mode が Dedicated の USB の割り当てを解除して、再実行してください。</p>
KASV31800-E	指定した管理対象にログインできません。	<p>要因 HA8000 に、ほかの Compute Systems Manager の設定が上限数まで登録されているため、アラート送信先の登録が拒否されました。</p> <p>対処 ほかの Compute Systems Manager の登録で不要なものを削除してから、再実行してください。アラート送信先の登録の削除の方法は、該当する機種ของผู้ザーズガイドを確認してください。</p>
KASV31801-E	未対応の HA8000 を検出しました	<p>要因 このバージョンの Compute Systems Manager で対応していない HA8000 が検出されました。</p> <p>対処 Compute Systems Manager を、検出した HA8000 に対応しているバージョンにアップグレードしてください。</p>
KASV31802-E	処理を続行できません。	<p>要因 HVM に対する操作が完了しませんでした。Compute Systems Manager 以外から HVM を操作されているか、HVM が高負荷状態にあることが考えられます。</p> <p>対処 HVM に対して操作している場合は、操作が完了してから再実行してください。HVM スクリーンでサブスクリーンを表示していたり、その状態で HVM スクリーンから切断していたりする場合でもこのエラーが発生することがあります。このエラーが継続して発生する場合は、HVM スクリーンで HVM Menu スクリーンまで戻っていることを確認してください。それでも解決しない場合は、詳細な調査が必要です。Compute Systems Manager と BladeSymphony のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV31803-E	処理を続行できません。	<p>要因</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		HA8000 の BMC へ接続しているソフトウェアの数が上限数に達しているため、処理が続行できません。 対処 HA8000 の BMC へ接続している不要なソフトウェアを切断してから、再実行してください。
KASV31804-E	HVM の設定を変更できません。	要因 指定した IP アドレスは、すでにほかのブレードの HVM に使用されています。 対処 別の IP アドレスを指定して、再実行してください。
KASV31805-E	指定した LPAR はゲスト NUMA が無効であるため、ノードごとにメモリーを設定できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 - 対処 LPAR のゲスト NUMA を有効にしてから再実行してください。
KASV31806-E	指定した LPAR はゲスト NUMA が有効であるため、ノードごとのメモリーの設定を省略できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 - 対処 ノードごとにメモリーを設定してください。
KASV31807-E	ゲスト NUMA を有効にできません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 HVM のファームウェアがゲスト NUMA に未対応か、ブレードの NUMA 設定が無効です。 対処 HVM のファームウェアを更新、またはブレードの NUMA 設定を有効にしてください。
KASV31808-E	論理プロセッサのスケジューリングモードを共有モードに変更できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 指定した LPAR は Activate 状態です。 対処 LPAR を Deactivate してから、再実行してください。
KASV31809-E	ゲスト NUMA が有効な LPAR を Activate 状態にできません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 次の原因のどちらかが考えられます。 1. 論理プロセッサのスケジューリングモードが共有モードです。 2. 論理プロセッサに割り当てる物理プロセッサの番号として Automatically が設定されています。 対処 論理プロセッサのスケジューリングモードを占有モードにしてから、論理プロセッサに割り当てる物理プロセッサの番号を指定してください。
KASV31810-E	論理プロセッサのスケジューリングモードを共有モードに変更できません。(Return Code:< <i>HvmSh</i> リターンコード>)	要因 指定した LPAR のゲストアイドルモードが MWAIT です。 対処 Compute Systems Manager では、LPAR のゲストアイドルモードを変更できません。HVM スクリーンを使用し、ゲストアイドルモードを HALT に変更してから、再実行してください。
KASV31811-E	サーバのキャッピングモードが DCMI モードになっているため、電力キャッピングを設定できません。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		SVP の Web コンソールで、DCMI モードを解除してください。
KASV31812-E	電力キャッピングの設定を変更できません。	要因 この Compute Systems Manager 以外で電力キャッピングが設定された可能性があります。 対処 サーバの情報を更新してから、電力キャッピングを設定し直してください。
KASV31816-E	Device Manager との接続時に、予期しないエラーが発生しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager と Device Manager のマニュアルを参照して Compute Systems Manager と Device Manager の保守情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV31817-E	Device Manager に接続できませんでした。	要因 接続先の Device Manager のサービスが起動していないか、接続先ホスト名/IP アドレス、プロトコル、ポート番号が誤っていることが考えられます。 対処 接続する Device Manager のサービスが起動しているか確認してください。起動している場合、管理タブの [HDvM 通信] のホスト名/IP アドレス、プロトコル、ポート番号が正しいことを確認してください。
KASV31818-E	Device Manager に接続できませんでした。	要因 認証に失敗しました。 対処 管理タブの [HDvM 通信] のユーザー名/パスワードを使用して Device Manager にログインできることを確認してください。
KASV31819-E	Device Manager に接続できませんでした。	要因 Device Manager に接続するときのホスト名/IP アドレス、またはポート番号が誤っているか、Compute Systems Manager で利用しているトラストストアに Device Manager の証明書がインストールされていない、または証明書の有効期限が切れています。 対処 Device Manager と接続するときのホスト名/IP アドレスとポート番号が正しいことを確認してください。正しい場合は Compute Systems Manager で利用しているトラストストアに Device Manager の有効な証明書をインストールしてください。
KASV31820-E	Device Manager との接続時に、Device Manager で予期しないエラーが発生しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager と Device Manager のマニュアルを参照して Compute Systems Manager と Device Manager の保守情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31821-E	Device Manager がストレージシステムとの通信に失敗したため、処理を実行できません。	要因 - 対処 Device Manager でストレージシステムと通信できる状態であることを確認してから再実行してください。
KASV31822-E	Device Manager が保持している情報とストレージシステムの情報が一致していないため、処理を実行できません。	要因 - 対処 Device Manager でストレージシステムのリフレッシュを実行してから再実行してください。
KASV31823-E	ストレージシステムがロックされているため、ストレージの設定が変更できません。	要因 - 対処 Device Manager でストレージシステムのロックが解除されたことを確認してから再実行してください。
KASV31824-E	Device Manager のリソースに対して必要な権限がないため、処理を実行できません。	要因 - 対処 管理タブの [HDvM 通信] のユーザーに、LPAR に割り当たっているホストグループを変更できる権限があることを確認してください。
KASV31825-E	Device Manager に接続できません。	要因 Device Manager がサポートしているバージョンではありません。 対処 Device Manager を Compute Systems Manager がサポートしているバージョンにアップグレードしてから再実行してください。
KASV31827-E	ポートに設定できる WWN の数が上限に達しているため、ホストグループの設定を変更できません。	要因 - 対処 ポートに設定されている不要な WWN を削除してから再実行してください。
KASV31828-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動先と移動元の HVM に設定されているマイグレーションパスの暗号強度が異なります。 対処 移動先と移動元の HVM でマイグレーションパスの暗号強度の設定を合わせてください。
KASV31829-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動元または移動先の HVM がセーフモードで動作しています。 対処 HVM のユーザーズガイドを参照して、セーフモードを解除してから再実行してください。
KASV31830-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動元の LPAR に割り当てられている 16Gb FC はコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。 対処 16Gb FC の割り当てを解除するか、シャットダウンマイグレーションを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV31831-E	LPAR をマイグレーションできません。	<p>要因 移動先の HVM は 16Gb FC が割り当てられている LPAR のコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。</p> <p>対処 移動先の HVM のファームウェアを 16Gb FC のコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応したバージョンに更新するか、シャットダウンマイグレーションを実行してください。</p>
KASV31832-E	LPAR をマイグレーションできません。	<p>要因 移動元と移動先の HVM が、16Gb FC を割り当てた LPAR のコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。</p> <p>対処 移動元と移動先の HVM のファームウェアを、16Gb FC のコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応したバージョンに更新してから再実行してください。または、シャットダウンマイグレーションを実行してください。</p>
KASV31834-E	指定したリソースにログインできません。	<p>要因 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザー名またはパスワードが間違っている。 2. アカウントがロックされている。 3. Linux/HA8000 ではないリソースにアクセスした。 <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認証情報に正しいユーザー名およびパスワードを指定してください。 2. リソースのアカウントがロックされていないことを確認してください。 3. 指定したリソースが Linux/HA8000 であることを確認してください。Linux/HA8000 でない場合は、特に対処は不要です。
KASV31835-E	処理を続行できません。	<p>要因 リソースから予期しない応答がありました。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Compute Systems Manager がサポートしているリソースであることを確認してください。Compute Systems Manager がサポートしていないリソースの場合、特に対処は不要です。 2. リソースと認証情報の組み合わせが正しいことを確認してください。 3. 通信ポートの設定を確認してください。 4. リソースが Windows の場合、DCOM または WinRM が正しく設定されていることを確認してください。 5. リソースが BladeSymphony または HA8000 の場合、次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ ソフトウェア添付資料に記載されている最新のファームウェアの要件を満たしている。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ul style="list-style-type: none"> Compute Systems Manager サーバとの通信に HTTPS プロトコルを使用する設定になっている。
KASV31836-E	処理を続行できません。	<p>要因 リソースから予期しない応答がありました。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Compute Systems Manager がサポートしているリソースであることを確認してください。Compute Systems Manager がサポートしていないリソースの場合、特に対処は不要です。 リソースと認証情報の組み合わせが正しいことを確認してください。
KASV31837-E	情報を取得できません。	<p>要因 リソースから予期しない応答がありました。</p> <p>対処 リソースが Linux であることを確認してください。リソースが Linux ではない場合は、特に対処は不要です。</p>
KASV31838-E	情報を取得できません。	<p>要因 リソースから予期しない応答がありました。</p> <p>対処 リソースが VMware ESXi であることを確認してください。リソースが VMware ESXi ではない場合は、特に対処は不要です。</p>
KASV31839-E	処理がタイムアウトしました。	<p>要因 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ホスト上で一時的に処理が遅延している。 ホスト上でユーザーに対する sudo(Linux) コマンドの設定が誤っている。 Linux ホストではないリソースに、Linux ホストの認証情報でアクセスした。 <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 再実行してください。 認証情報に root 以外のユーザー ID を指定している場合は、ホスト上でユーザーに対する sudo(Linux)コマンドの設定を確認してください。 指定したリソースが Linux ホストであることを確認してください。Linux ホストでない場合は、特に対処は不要です。
KASV31840-E	処理がタイムアウトしました。	<p>要因 ホストに前提パッケージがインストールされていません。</p> <p>対処 ソフトウェア添付資料を参照して、必要なパッケージをインストールしてください。</p>
KASV31841-E	指定したリソースに接続できません。	<p>要因 リソースまたはネットワークに問題があります。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> リソースが起動していることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. Compute Systems Manager サーバとリソースが通信できることを確認してください。ファイアウォールの設定を確認してください。</p> <p>3. 通信ポートの設定を確認してください。</p> <p>4. リソースが Windows の場合、Compute Systems Manager サーバとホストの DCOM が有効になっていることを確認してください。</p> <p>5. リソースが BladeSymphony または HA8000 の場合、次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ ソフトウェア添付資料に記載されている最新のファームウェアの要件を満たしている。 ◦ Compute Systems Manager サーバとの通信に HTTPS プロトコルを使用する設定になっている。
KASV31842-E	指定したリソースに接続できません。	<p>要因 リソースまたはネットワークに問題があります。</p> <p>対処 次の対処をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リソースが起動していることを確認してください。 2. Compute Systems Manager サーバとリソースが通信できることを確認してください。ファイアウォールの設定を確認してください。 3. 通信ポートの設定を確認してください。 4. リソースが Windows の場合、Compute Systems Manager サーバとホストの WinRM が有効になっていることを確認してください。 5. 管理対象が BladeSymphony または HA8000 の場合、次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ ソフトウェア添付資料に記載されている最新のファームウェアの要件を満たしている。 ◦ Compute Systems Manager サーバとの通信に HTTPS プロトコルを使用する設定になっている。
KASV31845-E	共有 FC の vfcID が不正なため、LPAR を Activate 状態にできません。 (Return Code:< HvmSh リターンコード >)	<p>要因 -</p> <p>対処 HBA コア占有モードの FC ポートでは、vfcID にコアの物理番号(1 からコア数まで)を設定してください。</p>
KASV31846-E	処理を続行できません。 (Return Code:< HvmSh リターンコード >)	<p>要因 この操作は HVM が受け付けませんでした。また、このバージョンの Compute Systems Manager で対応していない Return Code が検出されました。</p> <p>対処 次のどちらかの対処をしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<ol style="list-style-type: none"> HvmShのマニュアルを参照し、Return Codeに該当する対処をしてください。 HVMのバージョンに対応したCompute Systems Managerにアップグレードしてください。
KASV31847-E	HBA コア占有モードを変更できません。(Return Code:< HvmSh リターンコード>)	要因 指定した FC ポートの vfcID が割り当てられた LPAR が Activate 状態です。 対処 該当する LPAR を Deactivate してから再実行してください。
KASV31848-E	FC ポートを HBA コア占有モードにできません。(Return Code:< HvmSh リターンコード>)	要因 FC ポートを HBA コア占有モードにするためには、FC が共有モードである必要があります。 対処 FC を共有モードに設定してから再実行してください。
KASV31849-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動先の HVM が、HBA コア占有モードに対応していません。 対処 HVM のファームウェアを HBA コア占有モードに対応したバージョンに更新して、再実行してください。
KASV31850-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動元または移動先の HVM が、HBA コア占有モードの LPAR マイグレーションに対応していません。 対処 HVM のファームウェアを HBA コア占有モードの LPAR のマイグレーションに対応したバージョンに更新して、再実行してください。
KASV31851-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動元と移動先の HVM で、FC ポートの HBA コア占有モード設定が異なります。 対処 移動元と移動先 HVM の HBA コア占有モード設定を同じにして再実行してください。
KASV31852-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 HBA コア占有モードの FC ポートを、同じ vfcID で移動先に割り当てることができません。 対処 移動先の HVM で、指定した LPAR が使用している vfcID と同じ vfcID を使用できる状態にしてから、再実行してください。
KASV31853-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動先の HVM が Partition Reference Time Enlightenment に対応していません。 対処 移動先の HVM のファームウェアを Partition Reference Time Enlightenment に対応したバージョンに更新して、再実行してください。
KASV31854-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		移動元または移動先の HVM に IPv4 の IP アドレスが設定されていません。 対処 IPv4 アドレスを設定し、再実行してください。
KASV31855-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動先と移動元のブレードの MM Config Base の設定が異なります。 対処 マネジメントモジュールの Web コンソールで、MM Config Base の設定を変更し、再実行してください。
KASV31856-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動先と移動元のブレードの MM Config Base の設定が異なります。 対処 -
KASV31857-E	HBA コア占有モードを有効にできません。(Return Code:<HvmSh リターンコード>)	要因 FC の機種またはファームウェアのバージョンが HBA コア占有モードをサポートしていません。 対処 指定した FC が HBA コア占有モードのサポート対象であることを確認してください。また、FC のファームウェアのバージョンがサポート対象外の場合、ファームウェアを更新してから再実行してください。
KASV31858-E	Device Manager に接続できませんでした。	要因 Device Manager に、必要なライセンスが登録されていません。 対処 Device Manager に、Full License または Core License を登録してください。
KASV31862-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションできません。	要因 ゲスト NUMA を使用している LPAR は、ゲスト NUMA に対応していない HVM にマイグレーションできません。 対処 移動先の HVM のファームウェアを、ゲスト NUMA を使用している LPAR のマイグレーションに対応しているバージョンに更新してください。
KASV31863-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動元または移動先の HVM は、ゲストアイドルモードが MWAIT に設定された LPAR のコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。(保守情報=<保守情報>) 対処 ゲストアイドルモードが MWAIT に設定された LPAR をマイグレーションする場合は、シャットダウンマイグレーションしてください。
KASV31865-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションできません。	要因 Low Latency を使用している LPAR に対するコンカレントメンテナンスマイグレーションには対応していません。(保守情報=<保守情報>) 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Low Latency を使用している LPAR でマイグレーションする場合は、シャットダウンマイグレーションしてください。
KASV31867-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションできません。	要因 EPT1GB を使用している LPAR のコンカレントメンテナンスマイグレーションには対応していません。(保守情報=<保守情報>) 対処 EPT1GB を使用している LPAR をマイグレーションする場合は、シャットダウンマイグレーションしてください。
KASV31875-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動先の HVM は LUID 引継ぎ方式のマイグレーションに対応していません。 対処 HVM のファームウェアを、LUID 引継ぎ方式のマイグレーションに対応したファームウェアに更新してください。
KASV31876-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動先の HVM は物理 NUMA ノードバインド方式に対応していません。 対処 HVM のファームウェアを、物理 NUMA ノードバインド方式が有効な LPAR をマイグレーションできるバージョンに更新してください。
KASV31877-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動先の HVM は物理 NUMA ノードバインド方式が有効な LPAR のコンカレントメンテナンスマイグレーションに対応していません。 対処 HVM のファームウェアを、物理 NUMA ノードバインド方式が有効な LPAR をコンカレントメンテナンスマイグレーションできるバージョンに更新してください。
KASV31878-E	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動先の HVM が、物理 NUMA ノードバインド方式が有効な LPAR のマイグレーションに対応していません。 対処 HVM のファームウェアを、物理 NUMA ノードバインド方式が有効な LPAR をマイグレーションできるバージョンに更新してください。
KASV31879-E	物理 NUMA ノードバインド方式が有効な場合、Compute Systems Manager では論理プロセッサの設定はできません。(Return Code:<HvmSh リターンコード>)	要因 - 対処 HvmSh を使用して論理プロセッサを設定してください。
KASV31880-E	LPAR を Activate 状態にできません。(Return Code:<HvmSh リターンコード>)	要因 物理 NUMA ノードバインド方式が有効な場合、論理プロセッサのスケジューリングモードを占有モードにする必要があります。 対処 Compute Systems Manager では、物理 NUMA ノードバインド方式が有効な LPAR に対して論理プロセッサのスケジューリングモードの変更

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		はできません。HvmShを使用して占有モードにしてください。
KASV31881-W	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARをマイグレーションすると、リソース不足のため、移動先のHVMでLPARを起動できなくなります。	要因 移動先のHVM上では、すでに同時に稼働できる上限の数のLPARが動作しています。 対処 移動したあと、LPARの起動に失敗した場合は、HVMのユーザズガイドを参照し、対処してください。
KASV31882-W	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARをマイグレーションすると、リソース不足のため、移動先のHVMでLPARを起動できなくなります。	要因 移動先のHVMで、LPARに割り当てられるプロセッサの数が不足しています。 対処 移動したあと、LPARの起動に失敗した場合は、HVMのユーザズガイドを参照し、対処してください。
KASV31883-W	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARをマイグレーションすると、リソース不足のため、移動先のHVMでLPARを起動できなくなります。	要因 移動先のHVMで、LPARに割り当てられるメモリーが不足しています。 対処 移動したあと、LPARの起動に失敗した場合は、HVMのユーザズガイドを参照し、対処してください。
KASV31884-W	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARのマイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動先のブレードでHBAの障害が発生しています。 対処 -
KASV31885-W	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARのマイグレーションの実行は推奨しません。	要因 移動先のブレードに搭載されているNICで障害が発生しています。 対処 -
KASV31886-E	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARのコンカレントメンテナンスマイグレーションを実行できません。	要因 移動先のHVMのファームウェアが古いため、マイグレーションを実行できません。 対処 移動先のHVMのファームウェアを、移行元と同じか、またはそれ以降のバージョンに更新してください。
KASV31887-W	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARのマイグレーションの実行は推奨しません。	要因 LPARをコンカレントメンテナンスマイグレーションできますが、移動先のHVMのファームウェアが古いため、移動先に移動したあとのLPARは、移動元のHVMにコンカレントメンテナンスマイグレーションに戻すことはできません。 対処 -
KASV31888-E	LPARのマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPARのマイグレーションを実行できません。	要因 移動先のHVMが、L3キャッシュ割り当て機能に対応していません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		移動先には、L3 キャッシュ割り当て機能に対応した HVM を指定してください。
KASV31890-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR のマイグレーションはできますが、LPAR の起動はできません。	要因 指定した LPAR は起動できる設定になっていません。L3 キャッシュ割り当て機能を有効にする場合、CPU は占有で割り当てる必要があります。 対処 移動したあと、LPAR の起動に失敗した場合は、HVM のユーザーズガイドを参照し、対処してください。
KASV31891-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションすると、リソース不足のため、移動先の HVM で LPAR を起動できなくなります。	要因 移動先の HVM で、L3 キャッシュ割り当て機能を使用するためのリソースが不足しています。 対処 移動したあと、LPAR の起動に失敗した場合は、HVM のユーザーズガイドを参照し、対処してください。
KASV31892-W	LPAR のマイグレーションの構成診断で問題が見つかりました。LPAR をマイグレーションするとリソース不足になり、移動先の HVM で LPAR を起動できないことがあります。	要因 移動先の HVM で、L3 キャッシュ割り当て機能を使用するためのリソースが不足することがあります。 対処 移動したあと、LPAR の起動に失敗した場合は、HVM のユーザーズガイドを参照し、対処してください。
KASV35100-I	インストール対象のサーバマシンで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。インストールを継続すると Hitachi Command Suite 製品のサービスがすべて停止されます。問題がない場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。	要因 インストール対象のサーバマシンで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサービスが停止されても問題ない場合は、[OK] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。
KASV35101-I	管理サーバで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。アンインストールを継続すると Hitachi Command Suite 製品のサービスがすべて停止されます。問題がない場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。	要因 管理サーバで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサービスが停止されても問題ない場合は、[OK] ボタンをクリックしてアンインストールを続行してください。
KASV35500-I	デプロイメントマネージャプラグインのインストールが完了しました。	要因 - 対処 -
KASV35501-I	デプロイメントマネージャプラグインのアンインストールが完了しました。[インストール前の構成変更と確認] 画面で [キャンセル] をクリックし、インストールを終了してください。	要因 - 対処 -
KASV35502-I	デプロイメントマネージャプラグインのアンインストールが完了しました。[次へ] をクリックして、Compute	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Systems Manager のアンインストールを続行してください。	
KASV35504-I	<p>デプロイメントマネージャーをインストールするために、次のコンポーネントをあらかじめインストールしておく必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - .NET Framework 3.5 SP1 - .NET Framework 4.5.2 - Internet Information Services (IIS) 7.5, 8.0 または 8.5 <p>IIS 7.5 をインストールする場合は、次の役割を有効にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 静的なコンテンツ - ASP.NET - IIS 管理コンソール - IIS 6 メタベース互換 <p>IIS 8.0 または IIS 8.5 をインストールする場合は、次の役割を有効にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 静的なコンテンツ - ASP.NET 4.5 - IIS 管理コンソール - IIS 6 メタベース互換 	<p>要因</p> <ul style="list-style-type: none"> - <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> -
KASV35800-I	The Hitachi Command Suite services started successfully. To verify service status, select [Status] from the Start menu.	<p>要因</p> <ul style="list-style-type: none"> - <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> -
KASV35801-I	The Hitachi Command Suite services stopped successfully. To verify service status, select [Status] from the Start menu.	<p>要因</p> <ul style="list-style-type: none"> - <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> -
KASV35802-I	The Compute Systems Manager service has already started.	<p>要因</p> <ul style="list-style-type: none"> - <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> -
KASV35803-I	The Compute Systems Manager service has already stopped.	<p>要因</p> <ul style="list-style-type: none"> - <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> -
KASV35804-I	The Compute Systems Manager service is starting.	<p>要因</p> <ul style="list-style-type: none"> - <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> -
KASV35805-I	The Compute Systems Manager service is stopping.	<p>要因</p> <ul style="list-style-type: none"> - <p>対処</p> <ul style="list-style-type: none"> -
KASV36002-W	<p>インストール先のディスク容量が足りません。必要な容量を確保するか、インストール先を変更してください。</p> <p>ディスク：<ディスク>、必要な容量：<必要な容量> MB、空き容量：<空き容量> MB</p>	<p>要因</p> <p>インストール先のディスク容量が足りません。</p> <p>対処</p> <p>容量を確保するか、十分な空き容量があるほかのディスクにインストールしてください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV36003-W	インストール先のディスク容量が足りません。必要な容量を確保してください。 ディスク：<ディスク>、必要な容量：<必要な容量> MB、空き容量：<空き容量> MB	要因 インストール先のディスク容量が足りません。 対処 容量を確保してください。確保できない場合は、いったんアンインストールしたあと、別の場所に再度インストールし直してください。
KASV36004-W	アンインストールを実行すると、アンインストール確認画面の「ターゲットフォルダ」下のファイル、フォルダがすべて削除されます。 よろしいですか？	要因 Hitachi Command Suite のアンインストールに対する事前確認です。 対処 アンインストール確認画面の「ターゲットフォルダ」下のファイル、フォルダがすべて削除されても問題ない場合は、アンインストールを続行してください。
KASV36006-W	バックアップファイルの格納先として指定したフォルダはすでに存在するため、次のフォルダは一度削除されます。 よろしいですか？ <バックアップ先フォルダ> ほかのフォルダを指定する場合は、バックアップファイルの格納先を指定し直してください。継続する場合は [OK] ボタンをクリックしてください。	要因 バックアップファイルの格納先として指定したフォルダは、すでに存在します。 対処 存在するフォルダを一度削除してください。またはほかのフォルダを指定してください。
KASV36007-W	仮想メモリーの容量が不足しています。現在の仮想メモリーの空き容量は<空き容量> MB です。 Hitachi Command Suite 製品が動作するには、少なくとも<必要な容量> MB の仮想メモリーが必要です。 仮想メモリーの設定を見直して、必要な容量を確保してください。 仮想メモリーが不足していると、プログラムが起動できなったり、動作が不安定になったりするおそれがあります。 インストールを続行しますか？ 無視して続行する場合は [はい] ボタンを、中止する場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。	要因 仮想メモリーの容量が不足しています。 対処 仮想メモリーの設定を見直して、必要な容量を確保してください。
KASV36008-W	There is not enough virtual memory. The available free space is currently <i>free-virtual-memory</i> MB. Hitachi Compute Systems Manager requires at least <i>required-capacity</i> MB of free space. Modify the virtual memory setting to ensure the system has the required space. Insufficient free space may cause the system to become unstable and programs may not run properly.	要因 仮想メモリーの容量が不足しています。 対処 仮想メモリーの設定を見直して、必要であれば仮想メモリーを増やしてください。
KASV36009-W	ローカルホストへの通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。 Hitachi Command Suite 製品は、ローカルループバックアドレス(localhost および 127.0.0.1)やホスト名をあて先として通信します。	要因 ローカルホストへの通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。 対処 ローカルループバックアドレスや、ホスト名の設定を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>その際、通信エラーとなるおそれがあります。ローカルループバックアドレスや、ホスト名の設定を確認してください。</p> <p>ローカルループバックアドレスや、ホスト名が正しく設定されている場合でも、ネットワーク設定によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は、このメッセージを無視して、インストールを続行してください。インストールを続行しますか？無視して続行する場合は [はい] ボタンを、中止する場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。</p>	
KASV36010-W	<p><ホスト名または IP アドレス> に対して、通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。</p> <p>Hitachi Command Suite 製品は、<ホスト名または IP アドレス> をあて先として通信します。その際に通信エラーとなるおそれがあります。</p> <p>指定した値を確認してください。</p> <p>指定した値に問題がない場合でも、ネットワーク設定によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は、このメッセージを無視して、インストールを続行してください。</p> <p>指定した値を変更しますか？</p> <p>変更する場合は [はい] ボタンを、指定した値で続行する場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。</p>	<p>要因 指定した値に対して、通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。</p> <p>対処 指定したホスト名または IP アドレスに誤りがないことを確認してください。</p>
KASV36012-W	<p>Hitachi Command Suite cannot be installed in this OS version. Verify the supported OS versions for the Hitachi Command Suite.</p>	<p>要因 この OS には、Hitachi Command Suite をインストールできません。</p> <p>対処 Hitachi Command Suite がサポートする OS を確認してください。</p>
KASV36101-W	<p>クラスタ管理アプリケーションのリソースグループに Hitachi Command Suite 製品のサービスを登録できません。</p> <p>インストール完了後、 hcmds64clustersrvupdate コマンドを実行して、Hitachi Command Suite 製品のサービスを登録してください。</p>	<p>要因 クラスタ管理アプリケーションのリソースグループに Hitachi Command Suite 製品のサービスを登録できません。</p> <p>対処 インストール完了後、 hcmds64clustersrvupdate コマンドを実行して、Hitachi Command Suite 製品のサービスを登録してください。</p>
KASV36200-W	<p>Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。サービスの停止が遅延していると考えられます。</p> <p>[再試行] ボタンをクリックして、Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してください。</p> <p>再試行しても停止できない場合は、インストーラーを終了させ、[スタート] メニューからサービスを停止してください。</p>	<p>要因 Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。</p> <p>管理サーバが稼働中のため、サービスの停止が遅延していると考えられます。</p> <p>対処 [再試行] ボタンをクリックして、Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	それでもサービスが停止できない場合の原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	再試行しても停止できない場合は、インストーラーを終了させ、[スタート]メニューからサービスを停止してください。 それでもサービスが停止できない場合の原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV36205-W	Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しましたが、インストールは正常に完了しました。 サービスの停止が遅延しているおそれがあります。しばらく待ってからサービスを停止してください。 サービスが停止できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。 管理サーバが稼働中のため、サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 対処 再度 Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止を実行してください。 サービスが停止できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV36206-W	アンインストールが不完全な状態で終了しました。 Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。 再度インストールする場合、Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中でないことを確認してからインストールし直してください。 それでも解決しない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを使用する製品をインストールしない場合は問題ありません。	要因 Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。 対処 再度インストールする場合、Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中でないことを確認してからインストールし直してください。それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV36207-W	アンインストールが不完全な状態で終了しました。 Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。 再度インストールする場合、Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中でないことを確認してからインストールし直してください。 それでも解決しない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 Hitachi Command Suite 製品をインストールしない場合は問題ありません。	要因 Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。 対処 再度インストールする場合、Hitachi Command Suite 製品のプログラムが実行中でないことを確認してからインストールし直してください。それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV36208-W	OS を再起動するまでは、ディスクバリ機能が正しく動作しません。	要因 DCOM を有効化するために OS を再起動する必要があります。 対処 Compute Systems Manager をインストールしたマシンを再起動してください。
KASV36209-W	OS を再起動するまでは、デプロイメントマネージャーが正しく動作しません。	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 デプロイメントマネージャーをインストールした OS を再起動してください。</p>
KASV36210-W	<p>デプロイメントマネージャーのインストール途中で再起動が必要なため、デプロイメントマネージャーのインストールが完了しませんでした。OS を再起動したあとに、再度インストールを実行してください。</p>	<p>要因 デプロイメントマネージャーはインストールの途中で再起動が必要です。</p> <p>対処 OS を再起動した後に、再度デプロイメントマネージャーをインストールしてください。</p>
KASV36211-W	<p>アンインストールを実行すると、デプロイメントマネージャーのファイルがすべて削除されます。 よろしいですか？</p>	<p>要因 -</p> <p>対処 デプロイメントマネージャーのファイルが削除されても問題ない場合は、アンインストールを続行してください。</p>
KASV36212-W	<p>デプロイメントマネージャーをインストールすると、Compute Systems Manager は次のとおり古いバージョンに置き換わります。 インストール前のバージョン：7.4.1-01 インストール後のバージョン：7.4.1-00 デプロイメントマネージャーおよび Compute Systems Manager のインストール完了後、インストール前のバージョンのパッチを再度適用する必要があります。 インストールを続行しますか？</p>	<p>要因 デプロイメントマネージャーをインストールすると、Compute Systems Manager が古いバージョンに置き換わります。</p> <p>対処 デプロイメントマネージャーおよび Compute Systems Manager のインストール完了後、インストール前のバージョンのパッチを再度適用してください。</p>
KASV36213-W	<p>HCSM のアップグレードインストールをする前に、デプロイメントマネージャーのアップグレードインストールを実行する必要があります。 [デプロイメントマネージャーのセットアップ] をクリックしてデプロイメントマネージャーをアップグレードインストールしたあとに、HCSM のアップグレードインストールを実行してください。</p>	<p>要因 HCSM のアップグレードインストールをする前に、デプロイメントマネージャーのアップグレードインストールを実行する必要があります。</p> <p>対処 [デプロイメントマネージャーのセットアップ] をクリックしてデプロイメントマネージャーをアップグレードインストールしたあとに、HCSM のアップグレードインストールを実行してください。</p>
KASV36214-W	<p>次の製品をご使用の場合、すべて v8 以降にする必要があります。 - Device Manager - Tiered Storage Manager - Replication Manager - Tuning Manager - Global Link Manager インストールを続行しますか？</p>	<p>要因 -</p> <p>対処 -</p>
KASV36301-W	<p><サーバ名>サーバは起動中です。 数分待つてから、Hitachi Command Suite を使用してください。 使用できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>	<p>要因 管理サーバは起動中のため、Hitachi Command Suite は現在使用できません。</p> <p>対処 数分待つてから、Hitachi Command Suite を使用してください。起動が完了したかどうかは、Compute Systems Manager のログイン画面が表示できることで確認できます。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		使用できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV36302-W	<サーバ名>サーバが処理中のため、Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止できません。 サービスを停止する場合、数分待ってから、再度停止してください。 サービスが停止できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 管理サーバが処理中のため、Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止できません。 対処 サービスを停止する場合、数分待ってから、再度停止してください。サービスが停止できない場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV36500-W	再度 Compute Systems Manager をインストールする場合は、OS を再起動してください。	要因 - 対処 再度 Compute Systems Manager をインストールする場合は、OS を再起動してください。
KASV36501-W	次の製品をご使用の場合、すべて v8 以降にしてから運用を開始してください。 - Device Manager - Tiered Storage Manager - Replication Manager - Tuning Manager - Global Link Manager	要因 - 対処 -
KASV37001-E	<グループ名>グループのユーザーでインストールしてください。 インストールを中止します。	要因 管理者権限を持たないユーザーはインストールできません。 対処 管理者権限を持つユーザーがインストールしてください。
KASV37002-E	<グループ名>グループのユーザーでアンインストールしてください。 アンインストールを中止します。	要因 管理者権限を持たないユーザーはアンインストールできません。 対処 管理者権限を持つユーザーがアンインストールしてください。
KASV37003-E	この OS には、Hitachi Command Suite をインストールできません。 Hitachi Command Suite がサポートする OS を確認してください。	要因 インストールを実行した OS は未サポートであり、インストールできません。 対処 Hitachi Command Suite がサポートする OS を確認してください。
KASV37004-E	Server Core 環境には、Hitachi Command Suite 製品をインストールできません。 インストールを中止します。	要因 インストールを実行した Server Core 環境は未サポートであり、インストールできません。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサポート環境を確認してください。
KASV37005-E	新しいバージョンの Hitachi Command Suite がインストールされているため、ダウングレードできません。インストールを中止します。	要因 ダウングレードインストールはできません。 対処 インストールする Hitachi Command Suite のバージョンを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV37006-E	現在インストールされている<製品名>のバージョンから、アップグレードインストールできません。インストールを中止します。	要因 現在インストールされている Hitachi Command Suite 製品のバージョンからのアップグレードインストールはできません。 対処 アップグレードインストールの対象となっているバージョンを確認してください。
KASV37008-E	HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 のサービスが起動していないため、インストールできません。インストールを中止します。 HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 サービスを起動してから再度インストールしてください。	要因 HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 のサービスが起動していません。 対処 HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 のサービスを起動してからインストールしてください。
KASV37009-E	旧バージョンの Tuning Manager が大規模構成でインストールされているため、Hitachi Command Suite をインストールできません。インストールを中止します。 Hitachi Command Suite をインストールするには、Tuning Manager を 7.0.0 以降のバージョンにアップグレードしてください。または、Hitachi Command Suite をほかのサーバマシンにインストールしてください。	要因 旧バージョンの Tuning Manager が大規模構成でインストールされています。 対処 Tuning Manager を v7.0.0 以降のバージョンにアップグレードしてください。または、Hitachi Command Suite をほかのサーバマシンにインストールしてください。
KASV37010-E	インストール対象のサーバマシンで Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。このサーバマシンにインストールされている Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされており、クラスタ環境でのセットアップ手順に従ってインストールしてください。	要因 すでにインストールされている Hitachi Command Suite 製品が、クラスタ環境でセットアップされています。 対処 マニュアルを参照し、クラスタ環境でのセットアップ手順に従ってインストールしてください。
KASV37012-E	An internal error occurred. The installation will stop. Contact the customer support.	要因 内部エラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV37014-E	このサーバマシンにインストールされている Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされているため、サービスを停止できません。 マニュアルを参照し、クラスタ環境でのアンインストール手順に従ってアンインストールしてください。	要因 このサーバマシンにインストールされている Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされているため、サービスを停止できません。 対処 マニュアルを参照し、クラスタ環境でのアンインストール手順に従ってアンインストールしてください。
KASV37015-E	(Windows の場合) 共存できない Compute Systems Manager がすでにインストールされているため、インストールを中止します。 異なるインストール媒体を使用してい	要因 共存できない Compute Systems Manager がすでにインストールされているため、インストールを中止します。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>ないか確認してください。この媒体でインストールする場合は、すでにインストールされている Compute Systems Manager を先にアンインストールしてください。</p> <p>(Linux の場合)</p> <p>Installation cannot continue because the version you are trying to install is incompatible with the version running on the server. Verify that you are using the correct installation software. If yes, you must remove the existing Compute Systems Manager software, and then retry the installation.</p>	<p>この媒体でインストールする場合は、すでにインストールされている Compute Systems Manager を先にアンインストールしてください。</p>
KASV37016-E	<p>HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 のサービスが起動していないため、アンインストールできません。アンインストールを中止します。</p> <p>HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 サービスを起動してから再度アンインストールしてください。</p>	<p>要因 HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 のサービスが起動していません。</p> <p>対処 HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 サービスを起動してから再度アンインストールしてください。</p>
KASV37017-E	<p>HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 のサービスが起動しているため、インストールできません。</p> <p>インストールを中止します。HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 サービスを停止してから再度インストールしてください。</p>	<p>要因 HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 のサービスが起動しています。</p> <p>対処 HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 サービスを停止してから再度インストールしてください。</p>
KASV37018-E	<p>HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 のサービスが起動しているため、アンインストールできません。アンインストールを中止します。</p> <p>HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 サービスを停止してから再度アンインストールしてください。</p>	<p>要因 HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 のサービスが起動しています。</p> <p>対処 HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 サービスを停止してから再度アンインストールしてください。</p>
KASV37019-E	<p>Hitachi Command Suite 製品が使用する JDK が見つかりません。</p> <p>hcmdschgjdk コマンドを実行して、JDK を設定してください。</p> <p>Hitachi Command Suite 製品に同梱されていない JDK を使用する場合は、JDK を別途インストールしたあと、hcmdschgjdk コマンドを実行してください。</p>	<p>要因 Hitachi Command Suite 製品が使用する JDK の設定が壊れています。</p> <p>対処 hcmdschgjdk コマンドを実行して、JDK を設定してください。</p> <p>Hitachi Command Suite 製品に同梱されていない JDK を使用する場合は、JDK を別途インストールしたあと、hcmdschgjdk コマンドを実行してください。</p>
KASV37020-E	<p>You must run setup.exe to install Hitachi Command Suite.</p>	<p>要因 setup.exe 以外のファイルからインストーラーが起動されました。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>対処 setup.exe を実行してください。</p>
KASV37021-E	<p>インストールに必要なファイル(<ファイル名>)を読み込めません。 次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インストールメディアから Windows 上のドライブへのコピーが失敗した。 ・コピーしたファイルが Windows 上のドライブから削除された。 ・コピー先のフォルダ名に半角英数字以外の文字が使用されている。 <p>上記に該当する場合、その問題を解決してください。</p> <p>それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>	<p>要因 インストールに必要なファイルを読み込めません。 次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合インストールメディアから Windows 上のドライブへのコピーが失敗した。 ・ コピーしたファイルが Windows 上のドライブから削除された。 ・ コピー先のフォルダ名に半角英数字以外が使用されている。 <p>対処 要因に応じて、問題を解決してください。 それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KASV37022-E	<p>ファイル(<ファイル名>)の読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>	<p>要因 内部エラーのため、ファイルの読み込みに失敗しました。</p> <p>対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KASV37023-E	<p>32 ビットアプリケーション用、システム用、またはストアアプリ用のフォルダ(<インストールパス>)にはインストールできません。</p>	<p>要因 -</p> <p>対処 ほかのフォルダを指定してください。</p>
KASV37024-E	<p><IP アドレス>で稼働しているプログラムが、管理サーバのデータベースに接続しています。 Tuning Manager サーバが管理サーバのデータベースにアクセスしている可能性があります。<IP アドレス>上の Tuning Manager サーバのサービスを停止してください。</p>	<p>要因 リモート接続先のプログラムが、管理サーバのデータベースに接続しています。</p> <p>対処 リモート接続先の Tuning Manager サーバのサービスを停止してください。</p>
KASV37027-E	<p>インストールされている Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのパスが長い場合、Hitachi Command Suite をインストールできません。 インストールを中止します。</p>	<p>要因 インストールされている Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのパスが長い場合、Hitachi Command Suite をインストールできません。</p> <p>対処 次の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インストールされているすべての Hitachi Command Suite 製品のデータを、hcmdsdbtrans コマンドを使用してエクスポートします。 hcmdsdbtrans コマンドについては、マニュアル「Hitachi Command Suite Compute Systems Manager 導入・設定ガイド」を参照してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		<p>2. インストールされているすべての Hitachi Command Suite 製品をいったんアンインストールしたあと、インストールし直します。インストール時に指定する Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストールパスは、「¥Base」を含めて 72 バイト以内で指定してください。</p> <p>3. 手順 1 でエクスポートしたデータを、hcmdsdbtrans コマンドでインポートします。</p> <p>4. インストールに失敗した Hitachi Command Suite 製品を再度インストールします。</p>
KASV37029-E	Compute Systems Manager のインストーラーを同時に 2 つ以上起動することはできません。	<p>要因 Compute Systems Manager のインストーラーを同時に 2 つ以上起動しようとしています。</p> <p>対処 Compute Systems Manager のインストーラーを同時に 2 つ以上起動しないでください。</p>
KASV37030-E	デプロイメントマネージャーがすでにインストールされているため、インストールできません。	<p>要因 デプロイメントマネージャーがすでにインストールされているため、インストールできません。</p> <p>対処 デプロイメントマネージャーをアンインストールしてから、再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p>
KASV37031-E	デプロイメントマネージャーが正しくインストールされていないため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	<p>要因 デプロイメントマネージャーが正しくインストールされていないため、インストールできません。</p> <p>対処 原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV37032-E	ファイル (<ファイル名>) の読み込みに失敗しました。 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	<p>要因 内部エラーのため、ファイルの読み込みに失敗しました。</p> <p>対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV37033-E	ファイル (<ファイル名>) のコピーに失敗しました。 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	<p>要因 内部エラーのため、ファイルのコピーに失敗しました。</p> <p>対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV37037-E	Hitachi Command Suite 製品のクラスタ構成が不正です。 Hitachi Command Suite 製品のバージョン 7 とバージョン 8 でクラスタの動作モードが異なります。 バージョン 8 以降の Hitachi Command Suite 製品をすべてアンイ	<p>要因 Hitachi Command Suite 製品のクラスタ構成が不正です。 Hitachi Command Suite 製品のバージョン 7 とバージョン 8 でクラスタの動作モードが異なります。</p> <p>対処</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	インストールしてから、再度インストールしてください。	バージョン 8 以降の Hitachi Command Suite 製品をすべてアンインストールしてから、再度インストールしてください。
KASV37038-E	以前実行したクラスタ構成のセットアップ作業が完了していないため、インストールが続行できません。 バージョン 8 以降の Hitachi Command Suite 製品をクラスタ構成に移行してください。	要因 以前実行したクラスタ構成のセットアップ作業が完了していないため、インストールが続行できません。 対処 バージョン 8 以降の Hitachi Command Suite 製品をクラスタ構成に移行してください。
KASV37039-E	(Windows の場合) Hitachi Command Suite 製品の起動または停止の操作が実行中です。 (Linux の場合) A Hitachi Command Suite product is starting or stopping.	要因 しばらくしてから、再実行してください。 対処 -
KASV37040-E	次のファイルが存在するため、処理が続行できません。ファイル名を変更するか、ファイルを移動または削除してから再実行してください。 <ファイル名>	要因 メッセージに表示されたファイルが存在するため、処理が続行できません。 対処 ファイル名を変更するか、ファイルを移動または削除してから再実行してください。
KASV37041-E	システム環境変数 PATH に必要な値が設定されていないため、処理を続行できません。システム環境変数 PATH に次の値を追加してから再実行してください。 <パス> コマンドプロンプトまたは PowerShell から実行した場合は、システム環境変数 PATH に必要な値を追加したあと、コマンドプロンプトまたは PowerShell を再起動してから、再実行してください。	要因 システム環境変数 PATH に必要な値が設定されていないため、処理を続行できません。 対処 システム環境変数 PATH にメッセージで表示されたパスを追加してから再実行してください。 コマンドプロンプトまたは PowerShell から実行した場合は、システム環境変数 PATH にパスを追加したあと、コマンドプロンプトまたは PowerShell を再起動してから、再実行してください。
KASV37042-E	フォルダのパスに使用できない文字が含まれています。インストーラーは、次の文字で構成されたパスに配置してください。 A~Z a~z 0~9	要因 フォルダのパスに使用できない文字が含まれています。 対処 インストーラーは、次の文字で構成されたパスに配置してください。 A~Z a~z 0~9
KASV37043-E	指定したデータベースファイルの格納先ディレクトリに実行系ノードで作成されたデータベースファイルがすでにあります。実行系ノードとしてインストールできません。 待機系ノードとしてインストールしてください。 実行系ノードでインストールする場合、共有ディスク上のデータベース格納先ディレクトリを削除したあと、実行系ノードとしてインストールしてください。	要因 指定したデータベースファイルの格納先ディレクトリに実行系ノードで作成されたデータベースファイルがすでにあります。 対処 待機系ノードとしてインストールしてください。 実行系ノードでインストールする場合、共有ディスク上のデータベース格納先ディレクトリを削除したあと、実行系ノードとしてインストールしてください。
KASV37044-E	指定したデータベースファイルの格納先ディレクトリに実行系ノードで作成	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>されたデータベースファイルがありません。待機系ノードとしてインストールできません。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実行系ノードで指定したデータベースファイルの格納先ディレクトリを指定していない。 ・ 実行系ノードでインストールしていない。 <p>実行系ノードで指定したデータベースファイルの格納先ディレクトリを指定してください。</p> <p>実行系ノードでインストールしていない場合、実行系ノードを先にインストールしてください。</p>	<p>指定したデータベースファイルの格納先ディレクトリに実行系ノードで作成されたデータベースファイルがありません。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実行系ノードで指定したデータベースファイルの格納先ディレクトリを指定していない。 ・ 実行系ノードでインストールしていない。 <p>対処</p> <p>実行系ノードで指定したデータベースファイルの格納先ディレクトリを指定してください。</p> <p>実行系ノードでインストールしていない場合、実行系ノードを先にインストールしてください。</p>
KASV37045-E	<入力項目>を指定してください。	<p>要因</p> <p>入力項目が指定されていません。</p> <p>対処</p> <p>—</p>
KASV37046-E	データベースファイルを格納した共有ディスクが参照できません。リソースグループの所有者が別のホストに設定されているおそれがあります。リソースグループをインストールするホストに移動してください。	<p>要因</p> <p>データベースファイルを格納した共有ディスクが参照できません。</p> <p>リソースグループの所有者が別のホストに設定されているおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>リソースグループをインストールするホストに移動してください。</p>
KASV37047-E	クラスタ構成としてインストールする場合、ローカルユーザーではインストールすることはできません。ドメインユーザーでインストールしてください。	<p>要因</p> <p>クラスタ構成としてインストールする場合、ローカルユーザーではインストールすることはできません。</p> <p>対処</p> <p>ドメインユーザーでインストールしてください。</p>
KASV37048-E	データベースファイルを格納した共有ディスクを含むリソースグループが見つかりません。共有ディスクをリソースグループに登録してください。	<p>要因</p> <p>データベースファイルを格納した共有ディスクを含むリソースグループが見つかりません。</p> <p>対処</p> <p>共有ディスクをリソースグループに登録してください。</p>
KASV37049-E	データベースファイルを格納した共有ディスクが参照できません。リソースグループの所有者が別のホストに設定されているおそれがあります。リソースグループをアンインストールするホストに移動してください。	<p>要因</p> <p>データベースファイルを格納した共有ディスクが参照できません。</p> <p>リソースグループの所有者が別のホストに設定されているおそれがあります。</p> <p>対処</p> <p>リソースグループをアンインストールするホストに移動してください。</p>
KASV37050-E	Compute Systems Manager は、ネットワークドライブにあるインストールメディアからはインストールできません。ローカルマシンにあるインストールメディアを使用して再度インストールしてください。	<p>要因</p> <p>Compute Systems Manager は、ネットワークドライブにあるインストールメディアからはインストールできません。</p> <p>対処</p> <p>ローカルマシンにあるインストールメディアを使用して再度インストールしてください。</p>
KASV37051-E	(Windows の場合)	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストール先に、不正なディレクトリを検出しました。シンボリックリンクの作成先にディレクトリがあります。</p> <p>原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>(Linux の場合)</p> <p>The installation destination for Hitachi Command Suite Common Component includes an unexpected directory, which prevents the creation of a symbolic link.</p> <p>To determine the cause of the error, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p>	<p>Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのインストール先に、不正なディレクトリを検出しました。シンボリックリンクの作成先にディレクトリがあります。</p> <p>対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KASV37101-E	<p>インストール先として指定したパスに、使用できない文字が含まれています。インストール先のパスは、次の文字で指定してください。</p> <p>A~Z a~z 0~9 . _ 半角スペース</p>	<p>要因 インストール先として指定したパスに、使用できない文字が含まれています。</p> <p>対処 インストール先のパスは、次の文字で指定してください。</p> <p>A~Z a~z 0~9 . _ 半角スペース</p>
KASV37102-E	<p>64 ビットアプリケーション用のフォルダ(<フォルダ名>)にはインストールできません。ほかのフォルダを指定してください。</p> <p>アップグレードインストールの場合は、いったん Hitachi Command Suite をアンインストールしたあと、別の場所に再度インストールし直してください。</p>	<p>要因 64 ビットアプリケーション用のフォルダは、インストール先に指定できません。</p> <p>対処 64 ビットアプリケーション用のフォルダ以外のフォルダを指定してください。</p> <p>アップグレードインストールの場合は、いったん Hitachi Command Suite をアンインストールしたあと、別の場所に再度インストールし直してください。</p>
KASV37103-E	<p>インストール先として指定するパスは、64 バイト以内で指定してください。</p>	<p>要因 インストール先として指定したパスが長過ぎます。</p> <p>対処 インストール先として指定するパスは、64 バイト以内で指定してください。</p>
KASV37104-E	<p>データベースファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。ファイルの格納先のパスは、次の文字で指定してください。</p> <p>A~Z a~z 0~9 . _ 半角スペース</p>	<p>要因 データベースの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。</p> <p>対処 データベースファイルの格納先として指定するパスは、次の文字で指定してください。</p> <p>A~Z a~z 0~9 . _ 半角スペース</p>
KASV37105-E	<p>64 ビットアプリケーション用のフォルダ(<フォルダ名>)はデータベースの格納先として指定できません。ほかのフォルダを指定してください。</p>	<p>要因 64 ビットアプリケーション用のフォルダは、データベースの格納先に指定できません。</p> <p>対処 64 ビットアプリケーション用のフォルダ以外のフォルダを指定してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV37106-E	データベースファイルの格納先として指定するパスは、90 バイト以内で指定してください。	要因 データベースファイルの格納先として指定したパスが長過ぎます。 対処 データベースファイルの格納先として指定するパスは、90 バイト以内で指定してください。
KASV37109-E	指定した IPv4 アドレスまたはホスト名が長過ぎます。 IPv4 アドレスまたはホスト名は、128 バイト以内で指定してください。	要因 指定した IPv4 アドレスまたはホスト名が長過ぎます。 対処 IPv4 アドレスまたはホスト名は、128 バイト以内で指定してください。
KASV37113-E	バックアップファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 ファイルの格納先のパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 . _ 半角スペース	要因 バックアップファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 対処 ファイルの格納先のパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 . _ 半角スペース
KASV37114-E	バックアップファイルの格納先として指定するパスは、150 バイト以内で指定してください。	要因 バックアップファイルの格納先として指定したパスが長過ぎます。 対処 バックアップファイルの格納先として指定するパスは、150 バイト以内で指定してください。
KASV37115-E	予期しないエラーが発生しました。 Compute Systems Manager のインストールを中止します。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV37121-E	指定したポート番号はほかのアプリケーションが使用しています。 (競合が発生したポート番号: <SNMP Trap 受信ポート番号>)	要因 指定したポート番号がほかのアプリケーションによって使用されています。 対処 使用されていないポート番号を指定してください。
KASV37122-E	ポート番号に不正な値が指定されました。ポート番号には 1~65535 の範囲で数字を指定してください。	要因 ポート番号に不正な値が指定されています。 対処 ポート番号に 1~65535 の範囲で数字を指定してください。
KASV37123-E	インストール先にネットワークドライブは指定できません。 ローカルディスクを指定してください。	要因 インストール先にネットワークドライブを指定しています。 対処 インストール先にはローカルディスクを指定してください。
KASV37124-E	データベースファイルの格納先にネットワークドライブは指定できません。 ローカルディスクを指定してください。	要因 データベースファイルの格納先にネットワークドライブを指定しています。 対処 データベースファイルの格納先にはローカルディスクを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV37125-E	データベースのバックアップファイル格納先にネットワークドライブは指定できません。 ローカルディスクを指定してください。	要因 データベースのバックアップファイル格納先にネットワークドライブを指定しています。 対処 データベースのバックアップファイル格納先にはローカルディスクを指定してください。
KASV37126-E	(Windows の場合) データ移行処理でエラーが発生しました。 次のどちらかの要因が考えられます。 ・ 指定したディレクトリが空でない。 ・ 指定したディレクトリが読み書きできない。 指定したディレクトリが空になっていて読み書きできることを確認してから、インストールを再実行してください。 (Linux の場合) A data migration error occurred. The cause might be one of the following: - The specified folder is not empty. - The specified folder is not readable or writable. Verify that the folder is empty, readable, and writable, and then restart the installer.	要因 次のどちらかの要因が考えられます。 ・ 指定したディレクトリが空でない。 ・ 指定したディレクトリが読み書きできない。 対処 指定したディレクトリが空になっていて読み書きできることを確認してから、インストールを再実行してください。
KASV37127-E	(Windows の場合) データ移行処理でエラーが発生しました。 次のどれかの要因が考えられます。 ・ 書き込み先のディスク容量が不足している。 ・ 指定したディレクトリが空でない。 ・ 指定したディレクトリが読み書きできない。 書き込み先のディスク容量が指定したディレクトリが空になっていて読み書きできることを確認してから、インストールを再実行してください。 (Linux の場合) A data migration error occurred. The cause might be one of the following: - The destination drive has insufficient free space. - The specified folder is not empty. - The specified folder is not readable or writable. Verify that the folder is empty, readable, and writable, and then restart the installer.	要因 次のどれかの要因が考えられます。 ・ 書き込み先のディスク容量が不足している。 ・ 指定したディレクトリが空でない。 ・ 指定したディレクトリが読み書きできない。 対処 書き込み先のディスク容量が指定したディレクトリが空になっていて読み書きできることを確認してから、インストールを再実行してください。
KASV37128-E	(Windows の場合) データ移行処理でエラーが発生しました。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p> <p>(Linux の場合)</p> <p>A data migration error occurred.</p> <p>To determine the cause and resolve the problem, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p>	<p>原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KASV37129-E	<p>(Windows の場合)</p> <p>管理サーバの IP アドレスまたはホスト名が入力されていません。IP アドレスまたはホスト名を入力してください。</p> <p>(Linux の場合)</p> <p>IP address or host name cannot be empty. Specify an IP address or a host name.</p>	<p>要因</p> <p>IP アドレスまたはホスト名が入力されていません。</p> <p>対処</p> <p>IP アドレスまたはホスト名を入力してください。</p>
KASV37130-E	<p>次のパスにはインストールできません。書き込みできないドライブを指定したか、ドライブ名が不正です。書き込みのできる固定ディスクのパスを指定してください。</p> <p>- <ユーザー指定パス></p>	<p>要因</p> <p>書き込みできないドライブを指定したか、ドライブ名が不正です。</p> <p>対処</p> <p>書き込みのできる固定ディスクのパスを指定してください。</p>
KASV37131-E	<p>データベースファイルは次のパスに格納できません。書き込みできないドライブを指定したか、ドライブ名が不正です。書き込みのできる固定ディスクのパスを指定してください。</p> <p>- <ユーザー指定パス></p>	<p>要因</p> <p>書き込みできないドライブを指定したか、ドライブ名が不正です。</p> <p>対処</p> <p>書き込みのできる固定ディスクのパスを指定してください。</p>
KASV37132-E	<p>バックアップファイルは次のパスに格納できません。書き込みできないドライブを指定したか、ドライブ名が不正です。書き込みのできる固定ディスクのパスを指定してください。</p> <p>- <ユーザー指定パス></p>	<p>要因</p> <p>書き込みできないドライブを指定したか、ドライブ名が不正です。</p> <p>対処</p> <p>書き込みのできる固定ディスクのパスを指定してください。</p>
KASV37133-E	<p>エクスポートファイルは次のパスに格納できません。書き込みできないドライブを指定したか、ドライブ名が不正です。書き込みのできる固定ディスクのパスを指定してください。</p> <p>- <ユーザー指定パス></p>	<p>要因</p> <p>書き込みできないドライブを指定したか、ドライブ名が不正です。</p> <p>対処</p> <p>書き込みのできる固定ディスクのパスを指定してください。</p>
KASV37143-E	<p>クラスタ管理アプリケーションのリソースグループから Hitachi Command Suite 製品のサービスを削除できません。</p> <p>一時的にクラスタ管理アプリケーションの処理に時間がかかっていたことが考えられます。</p> <p>時間をおいてから再度インストールしてください。</p> <p>同じエラーが発生する場合、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>	<p>要因</p> <p>クラスタ管理アプリケーションのリソースグループから Hitachi Command Suite 製品のサービスを削除できません。</p> <p>一時的にクラスタ管理アプリケーションの処理に時間がかかっていたことが考えられます。</p> <p>対処</p> <p>時間をおいてから再度インストールしてください。</p> <p>同じエラーが発生する場合、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV37200-E	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV37204-E	データベースのバックアップ取得に失敗しました(<要因>)。インストールを中止します。バックアップ先のフォルダの容量が不足しているおそれがあります。バックアップ先のフォルダの容量を確認するか、別のフォルダを指定して再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 バックアップ先のフォルダの容量が不足しているおそれがあります。 対処 バックアップ先のフォルダの容量を追加し、再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV37205-E	データベースのバックアップ取得に失敗しました。インストールを中止します。サービスの停止が遅延しているおそれがあります。時間をおいてから再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 データベースのバックアップまたはエクスポート処理中に、データベースのサービス起動または停止に失敗しました。次の要因が考えられます。 ・ 管理サーバが稼働中であり、サービスの起動または停止が遅延している。 対処 時間をおいてから再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV37206-E	アンインストールが不完全な状態で終了しました。インストールされている Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを使用する製品に影響が出るおそれがあります。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 アンインストールが不完全な状態で終了しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV37208-E	デプロイメントマネージャプラグインのインストールでエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。	要因 デプロイメントマネージャプラグインのインストールでエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。
KASV37301-E	<サーバ名>サーバの初期化を確認できませんでした。しばらく待ってから Hitachi Command Suite 製品にログインしてください。	要因 次の要因が考えられます。 ・ Hitachi Command Suite 製品で使用するポート番号が、管理サーバ上のほかのプログラムで使用されている。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	<p>ログインできない場合は、次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Hitachi Command Suite 製品で使用するポート番号がほかのプログラムで使用されていないか。 ・ 仮想メモリーの容量が十分確保されているか。 ・ <code>hcmds64chgurl <コマンドオプション></code> コマンドを実行すると、URL に <ホスト名 (IP アドレス)> が表示されるか。 ・ 管理サーバ上でホスト名が名前解決できるか。 ・ 管理サーバに十分な性能があるか。 <p>問題があった場合は、マニュアル「Hitachi Command Suite Compute Systems Manager メッセージ」を参照してその問題を解決してください。それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理サーバの仮想メモリーの容量が不足している。 ・ Hitachi Command Suite 製品の URL の設定が誤っている。 ・ 管理サーバの名前解決の設定に問題がある。 ・ 管理サーバの性能が十分でない。 <p>対処</p> <p>しばらく待ってから Hitachi Command Suite 製品にログインしてください。</p> <p>ログインできない場合は、要因に応じて次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Hitachi Command Suite 製品で使用するポート番号がほかのプログラムで使用されている場合 ポート番号が重複しているプログラムを同時に使用しないでください。または、ポート番号を変更してください。 ポート番号によっては、Hitachi Command Suite 製品の設定を変更することで解決できます。Hitachi Command Suite 製品が使用するポート番号については、マニュアル「Hitachi Command Suite Compute Systems Manager 導入・設定ガイド」を参照してください。 ・ 仮想メモリーの容量が不足している場合 仮想メモリーの容量を確保してください。 ・ URL の設定が誤っている場合 <code>hcmds64chgurl</code> コマンドに <code>print</code> オプションを指定すると表示される URL に、管理サーバのホスト名 (IP アドレス) が設定されていることを確認してください。 設定されていない場合は、<code>hcmds64chgurl</code> コマンドに <code>change</code> オプションを指定して、URL を変更してください。 <code>hcmds64chgurl</code> コマンドについては、マニュアル「Hitachi Command Suite Compute Systems Manager 導入・設定ガイド」を参照してください。 ・ 名前解決の設定に問題がある場合 管理サーバのホストとローカルホストが、管理サーバ上で正しく名前解決できることを確認してください。クラスタ運用している場合は、論理ホスト名についても確認してください。 ・ 性能に問題がある場合 管理サーバが正常に動作しているかを確認し、物理メモリーや CPU の性能が十分かを確認してください。
KASV37500-E	<p>デプロイメントマネージャーのインストールでエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>	<p>要因</p> <p>デプロイメントマネージャーのインストールでエラーが発生しました。</p> <p>対処</p> <p>原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV37501-E	<p>JP1/ServerConductor/Deployment Manager がインストールされているため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。</p> <p>JP1/ServerConductor/Deployment Manager をアンインストールしてから再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p>	<p>要因 JP1/ServerConductor/Deployment Manager と Compute Systems Manager のデプロイメントマネージャーは共存できません。</p> <p>対処 JP1/ServerConductor/Deployment Manager をアンインストールしてから再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p>
KASV37502-E	<p>ディスク容量が不足しているため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。</p> <p>ディスク容量を確保してから再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p>	<p>要因 ディスク容量が不足しているため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。</p> <p>対処 ディスク容量を確保してから再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p>
KASV37503-E	<p>次のコンポーネントのどちらかがインストールされていないため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - .NET Framework 3.5 SP1 - .NET Framework 4.5.2 <p>コンポーネントをインストールしてから再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p>	<p>要因 次のコンポーネントのどちらかがインストールされていないため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • .NET Framework 3.5 SP1 • .NET Framework 4.5.2 <p>対処 コンポーネントをインストールしてから再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p>
KASV37504-E	<p>Internet Information Services(IIS)がインストールされていないため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。</p> <p>IIS をインストールしてから、再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p> <p>なお、IIS 7.5 をインストールする場合は、「静的なコンテンツ」、「ASP.NET」、「IIS 管理コンソール」、および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてください。</p> <p>また、IIS 8.0 または IIS 8.5 をインストールする場合は、「静的なコンテンツ」、「ASP.NET 4.5」、「IIS 管理コンソール」、および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてください。</p>	<p>要因 Internet Information Services(IIS)がインストールされていないため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。</p> <p>対処 IIS をインストールしてから、再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p> <p>なお、IIS 7.5 をインストールする場合は、「静的なコンテンツ」、「ASP.NET」、「IIS 管理コンソール」、および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてください。</p> <p>また、IIS 8.0 または IIS 8.5 をインストールする場合は、「静的なコンテンツ」、「ASP.NET 4.5」、「IIS 管理コンソール」、および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてください。</p>
KASV37505-E	<p>Internet Information Services(IIS)の役割が不足しているため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。</p> <p>IIS 7.5 を使用する場合は、「静的なコンテンツ」、「ASP.NET」、「IIS 管理コンソール」、および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてから、再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p> <p>IIS 8.0 または 8.5 を使用する場合は、「静的なコンテンツ」、「ASP.NET 4.5」、</p>	<p>要因 Internet Information Services(IIS)の役割が不足しているため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。</p> <p>対処 IIS 7.5 を使用する場合は、「静的なコンテンツ」、「ASP.NET」、「IIS 管理コンソール」、および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてから、再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。</p> <p>IIS 8.0 または 8.5 を使用する場合は、「静的なコンテンツ」、「ASP.NET 4.5」、</p>

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	「IIS 管理コンソール」, および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてから, 再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。	「IIS 管理コンソール」, および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてから, 再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。
KASV37506-E	Internet Information Services(IIS)のバージョンが古い場合、デプロイメントマネージャーをインストールできません。 IIS 7.5, 8.0 または 8.5 をインストールしてから, 再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。 なお, IIS 7.5 をインストールする場合は, 「静的なコンテンツ」, 「ASP.NET」, 「IIS 管理コンソール」, および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてください。 また, IIS 8.0 または 8.5 をインストールする場合は, 「静的なコンテンツ」, 「ASP.NET 4.5」, 「IIS 管理コンソール」, および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてください。	要因 Internet Information Services(IIS)のバージョンが古い場合、デプロイメントマネージャーをインストールできません。 対処 IIS 7.5, 8.0 または 8.5 をインストールしてから, 再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。 なお, IIS 7.5 をインストールする場合は, 「静的なコンテンツ」, 「ASP.NET」, 「IIS 管理コンソール」, および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてください。 また, IIS 8.0 または 8.5 をインストールする場合は, 「静的なコンテンツ」, 「ASP.NET 4.5」, 「IIS 管理コンソール」, および「IIS 6.0 メタベース互換」の役割を有効にしてください。
KASV37507-E	Internet Information Services (IIS)に「既定の Web サイト」がないため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。 IIS に「既定の Web サイト」を作成してから, 再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。	要因 Internet Information Services (IIS)に「既定の Web サイト」がないため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。 対処 IIS に「既定の Web サイト」を作成してから, 再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。
KASV37508-E	デプロイメントマネージャーがサポートしていない OS のため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。 デプロイメントマネージャーがサポートしている OS については, リリースノートを参照してください。	要因 デプロイメントマネージャーがサポートしていない OS のため、デプロイメントマネージャーをインストールできません。 対処 デプロイメントマネージャーがサポートしている OS については, リリースノートを参照してください。
KASV37509-E	Windows Installer のバージョンが古い場合、デプロイメントマネージャーをインストールできません。 Windows Installer 4.5 以降をインストールしてから, 再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。	要因 Windows Installer のバージョンが古い場合、デプロイメントマネージャーをインストールできません。 対処 Windows Installer 4.5 以降をインストールしてから, 再度 Compute Systems Manager をインストールしてください。
KASV37510-E	デプロイメントマネージャーはドメインコントローラ環境にインストールできません。	要因 ドメインコントローラ環境は未サポートのため、インストールできません。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサポート環境を確認してください。
KASV37527-E	リソースグループ名は, 1,024 バイト以内で指定してください。	要因 指定したリソースグループ名が長過ぎます。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		リソースグループ名は、1,024 バイト以内で指定してください。
KASV37528-E	論理ホスト名 (クライアントアクセスポイント) は、128 バイト以内で指定してください。	要因 指定した論理ホスト名 (クライアントアクセスポイント) が長過ぎます。 対処 論理ホスト名 (クライアントアクセスポイント) は、128 バイト以内で指定してください。
KASV37529-E	実行系ノードのホスト名は、128 バイト以内で指定してください。	要因 指定した実行系ノードのホスト名が長過ぎます。 対処 実行系ノードのホスト名は、128 バイト以内で指定してください。
KASV37530-E	待機系ノードのホスト名は、128 バイト以内で指定してください。	要因 指定した待機系ノードのホスト名が長過ぎます。 対処 待機系ノードのホスト名は、128 バイト以内で指定してください。
KASV37531-E	指定したリソースグループが見つかりません。 クラスタ管理アプリケーションで、リソースグループが登録されているか確認してください。	要因 指定したリソースグループが見つかりません。 対処 クラスタ管理アプリケーションで、リソースグループが登録されているか確認してください。
KASV37532-E	指定した論理ホスト名 (クライアントアクセスポイント) が、リソースグループに登録されていません。 クラスタ管理アプリケーションで設定を確認して、リソースグループに登録されている論理ホスト名 (クライアントアクセスポイント) を指定してください。	要因 指定した論理ホスト名 (クライアントアクセスポイント) が、リソースグループに登録されていません。 対処 クラスタ管理アプリケーションで設定を確認して、リソースグループに登録されている論理ホスト名 (クライアントアクセスポイント) を指定してください。
KASV37533-E	データベースの格納先に指定したパスに含まれる共有ディスクが、リソースグループに登録されていません。 クラスタ管理アプリケーションで設定を確認して、リソースグループに登録されている共有ディスク上のパスを指定してください。	要因 データベースの格納先に指定したパスに含まれる共有ディスクが、リソースグループに登録されていません。 対処 クラスタ管理アプリケーションで設定を確認して、リソースグループに登録されている共有ディスク上のパスを指定してください。
KASV37534-E	リソースグループ名に、使用できない文字が含まれています。次の文字は使用できません。 !"&)*^ <>	要因 リソースグループ名に、使用できない文字が含まれています。 対処 リソースグループ名に、次の文字は使用できません。 !"&)*^ <>
KASV37535-E	Hitachi Command Suite 製品は、3 台以上のサーバを使用したクラスタ構成をサポートしていません。	要因 Hitachi Command Suite 製品は、3 台以上のサーバを使用したクラスタ構成をサポートしていません。 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV37536-E	クラスタ共有ディスクへのディレクトリの作成に失敗しました。 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 内部エラーのため、ディレクトリの作成に失敗しました 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV37537-E	デプロイメントマネージャーのクラスタ設定に失敗しました。 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。	要因 内部エラーのため、デプロイメントマネージャーのクラスタ設定に失敗しました。 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV37600-E	バージョン7でデプロイメントマネージャーをインストールしている環境からバージョン8にアップグレードするには、次の手順を実行してください。 (1)バージョン7でデプロイメントマネージャーをアンインストールしてください。 (2)バージョン8にアップグレードインストールしてください。アップグレードインストールのウィザードで、"デプロイメントマネージャーをインストールします。"を選択してください。	要因 HCSM バージョン 7.x のデプロイメントマネージャーがインストールされているため HCSM バージョン 8.x にアップグレードできません。 対処 次の手順を実行してください。 1. バージョン7でデプロイメントマネージャーをアンインストールしてください。 2. バージョン8にアップグレードインストールしてください。アップグレードインストールのウィザードで、"デプロイメントマネージャーをインストールします。"を選択してください。
KASV37800-E	The Hitachi Command Suite services cannot be started.	要因 Hitachi Command Suite 製品のサービスの起動中に予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV37801-E	The Hitachi Command Suite services cannot be stopped.	要因 Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止中に予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV37802-E	Only <グループ名> group users can re-execute the command.	要因 管理者権限を持たないユーザーは実行できません。 対処 管理者権限を持つユーザーがこのコマンドを実行してください。
KASV37803-E	Unable to find file <ファイル名>.	要因 この操作に必要なファイルが見つかりません。 対処 Hitachi Command Suite を上書きインストールしたあと、再度実行してください。 それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV37804-E	An error occurred. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact the customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.	要因 予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV37805-E	An unexpected error occurred in the HCSM service. Open the HCSM login window, confirm the message and perform the corresponding action. If the problem cannot be resolved, restart the service. If the problem still cannot be resolved, detailed investigation is required. Contact the customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.	要因 Compute Systems Manager サービスは起動に失敗しています。 対処 Compute Systems Manager のログイン画面を開き、表示されるメッセージに対応する対処をしてください。 問題が解決しない場合は、サービスを再起動してください。 それでも問題が解決しない場合は、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV37900-E	An error occurred during the installation process. To determine the cause and resolve the problem, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.	要因 インストール中に予期しないエラーが発生しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

2.5 KASV40000～KASV49999

Compute Systems Manager に関するメッセージ（KASV40000～KASV49999）を次の表に示します。

表 2-5 KASV40000～KASV49999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV40000-E	予期しないエラーが発生しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV40001-E	予期しないエラーが発生しました。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40002-E	データベースからデータを取得できませんでした。	要因 - 対処 データベースを再起動してから再度操作してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV40005-E	指定したホストがありません。	要因

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		指定したホストは、管理対象外か、または削除されたおそれがあります。 対処 いったん中断し、リソースの状態を確認してください。
KASV40010-E	指定したタスクがありません。	要因 指定したタスクは削除されたおそれがあります。 対処 いったん中断し、タスクの状態を確認してください。
KASV40011-E	タスク (<タスク名>) に対応するプランがありません。	要因 指定したプランは削除されたおそれがあります。 対処 いったん中断し、再度操作してください。
KASV40013-E	ライセンス情報を取得できませんでした。	要因 - 対処 問題が解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40014-E	ライセンスキーが無効か、またはすでに登録されています。	要因 - 対処 有効なライセンスキーを登録してください。
KASV40015-E	ライセンスキーが無効か、または未登録です。	要因 - 対処 有効なライセンスキーを登録してください。
KASV40016-E	指定したライセンスキーファイルは無効です。	要因 - 対処 有効なライセンスキーファイルを指定してください。
KASV40017-E	有効なライセンスがライセンスキーファイル内にありません。ほかの製品のライセンスキーファイルを登録しようとしたおそれがあります。	要因 - 対処 有効なライセンスキーファイルを指定してください。
KASV40018-I	<製品名>のライセンスの登録が完了しました。	要因 - 対処 -
KASV40019-W	<製品名>のライセンスの登録が完了しました。非常ライセンスの有効期間は、あと<日数>日間です。<日付>に満了します。	要因 - 対処 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KASV40020-W	<製品名>のライセンスの登録が完了しました。一時ライセンスの有効期間は、あと<日数>日間です。<日付>に満了します。	要因 - 対処 期限が切れる前にライセンスを登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV40021-I	<製品名>のライセンスの登録が完了しました。期間ライセンスの有効期間は、あと<日数>日間です。<日付>に満了します。	要因 - 対処 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KASV40023-E	システム環境が不正です。	要因 仮想メモリの容量が不足しているおそれがあります。 対処 システムが仮想メモリの要件を満たしていることを確認してください。問題が解決しない場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40024-E	サーバが起動していません。	要因 - 対処 サーバの状態を確認してください。(保守情報:<保守情報>)
KASV40025-E	ライセンスキーファイルが無効です。	要因 - 対処 有効なライセンスキーファイルであることを確認してください。
KASV40026-E	永久ライセンスキーが登録されていません。	要因 - 対処 永久ライセンスキーを登録してから再度操作を実行してください。
KASV40027-E	ライセンスを登録できません。	要因 - 対処 しばらくしてから、再度操作を実行してください。
KASV40028-E	非常ライセンスキーの期限が切れています。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KASV40029-E	一時ライセンスキーの期限が切れています。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KASV40030-E	登録済みのライセンスキーの期限が切れています。	要因 - 対処 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KASV40031-I	ライセンスキーが未登録です。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV40032-I	すべての登録済みライセンスキーが有効です。	要因 - 対処 -
KASV40033-I	有効なライセンスキーまたはライセンスファイルを登録してください。	要因 - 対処 -
KASV40034-I	ドライブ容量が不足しています。	要因 - 対処 ドライブ容量を確認してください。
KASV40035-E	ライセンスキーが無効か、またはすでに登録されているライセンスキーを登録しようとしたおそれがあります。	要因 - 対処 有効なライセンスキーを登録してください。
KASV40036-I	ライセンスの登録が完了しました。	要因 - 対処 詳細は、ライセンス情報を確認してください。
KASV40037-E	ライセンスキーが無効か、またはインストールされていない製品のライセンスを登録しようとしたおそれがあります。	要因 - 対処 有効なライセンスキーを登録してください。
KASV40038-E	ライセンス情報を取得できませんでした。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40100-E	タスクの操作に必要な権限がありません。	要因 - 対処 適切な権限があるユーザーでログインしてください。
KASV40101-E	パラメーターエラーが発生しました。 (<情報>)	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40102-E	指定したタスク名はすでに使用されているため、タスクを登録できません。	要因 - 対処 タスク名を変更してください。
KASV40108-E	サーバ API を実行できません。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40110-E	サーバのサービスにアクセスできません。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40111-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。(グループ名=<グループ名>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40114-E	指定したプロパティを読み込めません。(プロパティ名=<プロパティ名>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40115-E	指定したテーブルを読み込めません。(テーブル名=<テーブル名>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40117-E	指定したユーザーを認証できません。	要因 ユーザー ID が登録されていないか、またはパスワードに誤りがあります。(ユーザー ID=<ユーザー ID >) 対処 ユーザー ID およびパスワードを確認してください。
KASV40119-E	ユーザーの設定情報を削除できませんでした。(ユーザー ID=<ユーザー ID セット>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40126-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。(ユーザー ID=<ユーザー ID >)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動し

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ていない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40127-E	アプリケーション (<アプリケーション名 >) に対する権限を持つユーザーの情報を取得できませんでした。	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが起動していることを確認してください。サーバが起動していない場合は、サーバを起動した後に再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40133-E	ユーザーの情報が見つかりません。 (ユーザー ID=<ユーザー ID >)	要因 ユーザーはすでに削除されています。 対処 操作を中断し、ユーザーを確認してください。
KASV40134-E	ユーザー (<ユーザー ID >) は存在しません。	要因 - 対処 ユーザーが登録されていることを確認してください。
KASV40135-E	指定したユーザー ID, またはパスワードは無効です。	要因 - 対処 有効なユーザー ID およびパスワードを指定してください。
KASV40136-E	サーバと通信できませんでした。(保守情報: <保守情報 >)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが開始していること、およびネットワークの状態に問題がないことを確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40138-E	入力したライセンスキーの有効期限が切れています。	要因 - 対処 有効なライセンスキーを登録してください。
KASV40139-I	アプリケーション<製品名>のライセンスキーファイルがありません。	要因 - 対処 ライセンスが未登録の状態での処理を続けます。
KASV40140-E	外部認証サーバと通信できなかったため、ユーザーを認証できません。	要因 - 対処 外部認証サーバと通信できることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV40141-E	検索条件 (<検索条件名>) が削除されているため変更できません。	要因 - 対処 検索条件をクリアしてください。
KASV40142-I	ライセンスの登録が完了しました。	要因 - 対処 詳細は、ライセンス情報を確認してください。
KASV40205-E	グローバルモニタリングエリアのデータを取得できませんでした。(レポート=<データ名>)	要因 環境が不正です。 対処 データベースが起動していることを確認してください。データベースが起動していない場合は、起動したあとに再度操作を実行してください。すでに起動している場合は、内部エラーのおそれがあります。Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40300-E	セッションの有効期限が切れました。	要因 - 対処 ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV40301-E	セッションが無効です。	要因 - 対処 ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV40302-E	サーバと通信できません。	要因 - 対処 再実行してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV40303-E	外部 API <機能名> からの返却値が不正です。	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40304-E	インストール済みの製品のファイル "<ファイル名>" がありません。	要因 インストールディレクトリの状態が不正になっているおそれがあります。 対処 上書きインストールしてください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40305-E	製品の内部ファイルへのアクセス中にエラーが発生しました。(ファイル名 "<ファイル名>", 操作名 "<操作名>")	要因 インストールディレクトリが不整合になっているか、または管理サーバプロセスが正しい権限で起動されていないことが考えられます。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		プロセスの実行権限が、製品のインストール後に変更されていないことを確認してください。製品の内部ファイルが存在しない、または壊れているおそれがある場合は、製品を上書きインストールしてください。
KASV40400-I	アプリケーションを開始しています。 (保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 -
KASV40401-I	アプリケーションの開始に成功しました。 (保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 -
KASV40402-E	アプリケーションを開始できませんでした。 (保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40403-I	アプリケーションを終了しています。 (保守情報: <保守情報>)	要因 - 対処 -
KASV40404-I	アプリケーションの終了に成功しました。	要因 - 対処 -
KASV40405-I	サーバとの接続状態をテストします。 (試行した回数: <試行した回数>, 試行する最大回数: <試行する最大回数>, 接続名: <接続名>)	要因 - 対処 -
KASV40406-I	サーバとの接続テストに成功しました。 (接続名: <接続名>)	要因 - 対処 -
KASV40407-E	サーバとの接続テストに失敗しました。 (接続名: <接続名>)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバが開始していること、およびネットワークの状態に問題がないことを確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV40426-E	指定したシャーシがありません。	要因 すでに削除されているおそれがあります。 対処 シャーシが削除されていないことを確認してください。
KASV40427-E	指定したブレードがありません。	要因 すでに削除されているおそれがあります。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		ブレードが削除されていないことを確認してください。
KASV40428-E	指定したラックマウントサーバがありません。	要因 すでに削除されているおそれがあります。 対処 ラックマウントサーバが削除されていないことを確認してください。
KASV40429-E	すでに性能監視設定に関連づいているホストを選択しました。	要因 ほかのユーザーが同じホストを操作しているおそれがあります。 対処 利用できるホストを一覧から選択してください。
KASV40432-E	ホストの BMC アドレスは変更できません。	要因 マネジメントモジュールによってアドレスは設定済みです。Compute Systems Manager サーバを使用して変更できません。 対処 -
KASV40433-E	データベースをマイグレーションできませんでした。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

2.6 KASV50000～KASV59999

Compute Systems Manager に関するメッセージ (KASV50000～KASV59999) を次の表に示します。

表 2-6 KASV50000～KASV59999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV50000-I	ログインセッションは切断されます。	要因 - 対処 -
KASV50001-E	ユーザー ID とパスワードが未入力です。	要因 - 対処 ユーザー ID およびパスワードを入力してください。
KASV50002-E	サーバと通信できません。	要因 - 対処 ネットワークの状態に問題がないこと、および HCS Compute Systems Manager Web Service が正しく起動していることを確認してください。
KASV50003-E	警告バナーを取得できません。現在、サーバの起動中か、起動できなかつたおそれがあります。	要因 - 対処 しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合は、Compute Systems

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV50004-E	ログインに必要なパラメーターが不足しています。(保守情報: <パラメーター名>)	要因 - 対処 同じエラーが発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV50005-E	予期しないエラーが発生しました。	要因 - 対処 アプリケーションを終了してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV50006-E	タスク名を入力してください。	要因 - 対処 -
KASV50007-E	タスク名が長過ぎます。	要因 - 対処 128 バイト以内のタスク名を入力してください。
KASV50008-E	時刻の入力形式に誤りがあります。	要因 - 対処 正しい時刻を HH:MM 形式 (HH は時間, MM は分) で入力してください。
KASV50009-I	ライセンスキーを入力するか、またはライセンスキーファイルを指定し、有効なライセンスキーを登録してください。	要因 - 対処 -
KASV50010-E	タスクの説明 (<ユーザー入力値のバイト数>バイト) が長過ぎます。	要因 - 対処 500 バイト以内で入力してください。
KASV50011-W	サーバとの通信が中断されました。	要因 - 対処 -
KASV50012-I	サーバを起動中です。管理対象の構成によっては約 10 分かかる場合があります。(保守情報: <コンポーネント名> 待機中)。	要因 - 対処 しばらくしてから再実行してください。
KASV50013-E	サーバを起動できませんでした。(保守情報: <コンポーネント名> 初期化エラー)	要因 - 対処 Compute Systems Manager サーバを再起動してから、ログイン画面を更新してください。同じエラーが発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV50014-E	<エラーメッセージ>	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KASV50015-E	指定したライセンスファイルに誤りがあります。(保守情報：ファイル名：<ファイル名>，ファイルサイズ：<ファイルサイズ>)	要因 - 対処 正しいライセンスファイルを使用していることを確認してください。
KASV50016-E	バージョン情報を取得できませんでした。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KASV50017-E	文字列を入力してください。	要因 - 対処 -
KASV50018-E	入力した文字列 (<入力長>バイト) は長過ぎます。	要因 - 対処 <最大長>バイト以内で入力してください。
KASV50019-E	入力値に制御文字が含まれています。	要因 - 対処 入力値を変更してください。
KASV50034-E	認証情報の操作に失敗しました。認証情報はすでに削除されています。	要因 - 対処 画面を再表示してください。
KASV50035-E	タスクはほかのユーザーによって登録されているため，この操作を実行する権限がありません。	要因 - 対処 -
KASV50036-E	選択したアラート ID はスクリプトコマンドに登録されています。	要因 - 対処 別のアラート ID を選択してください。
KASV50037-E	選択した認証情報が多過ぎます。	要因 - 対処 選択を 10 個以下にしてください。
KASV50038-E	選択した IP アドレスの範囲が多過ぎます。	要因 - 対処 選択を 10 個以下にしてください。
KASV50039-E	指定したポート番号が範囲外です。	要因 - 対処 1 から 65535 の範囲でポート番号を指定してください。
KASV50040-E	SNMP に設定できるアラート ID がありません。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		不要なアラート ID をいったん削除してから、アラート ID に対して SNMP を設定してください。
KASV50041-E	実行中のタスクは削除できません。	要因 - 対処 -
KASV50042-E	実行中のタスクだけがキャンセルできます。	要因 - 対処 -
KASV50043-E	失敗したタスクだけが履歴に移動できます。	要因 - 対処 -
KASV50044-E	待機中のタスクに対してだけスケジュールを変更できます。	要因 - 対処 -
KASV50045-E	選択したタスクのスケジュールを変更できません。	要因 このタスクは、別の実行中のタスクの完了を待っています。 対処 実行中のタスクの完了を待ってください。
KASV50046-E	指定された操作を実行する権限がありません。	要因 - 対処 ユーザー管理者権限を持つユーザーに連絡してください。
KASV50106-E	<使用できない文字> は使用できない文字です。	要因 - 対処 -
KASV50107-E	16 進数で入力してください。	要因 - 対処 -
KASV50108-E	(<最小 Lun 番号>～<最大 Lun 番号>) の範囲で LU 番号を指定してください。	要因 - 対処 -
KASV50115-E	ライセンスキーファイルをアップロードできませんでした。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV50116-E	過去の日付でスケジュールが設定されています。	要因 - 対処 未来の日付でスケジュールを設定してください。
KASV50117-E	タスク名に制御文字が含まれています。	要因 -

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		対処 タスク名を変更してください。
KASV50118-E	選択したタスクは操作できません。	要因 - 対処 タスクの状態を確認してください。
KASV50119-W	タスクの実行状態によって操作できませんでした。(タスク名=<タスク名>)	要因 - 対処 タスクの実行状態が変わるのを待ってから、必要に応じて再実行してください。
KASV50126-E	1以上の値を入力してください。	要因 - 対処 -
KASV50130-E	複数の値を入力する場合はコンマで区切ってください。	要因 - 対処 -
KASV50131-E	値の範囲を指定する場合は"-"で区切ってください。値の範囲は一組だけ指定できます。	要因 - 対処 -
KASV50132-E	この演算子では、値を一つだけ入力してください。	要因 - 対処 -
KASV50135-E	ユーザー ID が入力されていません。	要因 - 対処 ユーザー ID を入力してください。
KASV50136-E	パスワードが入力されていません。	要因 - 対処 パスワードを入力してください。
KASV50137-W	タイムアウトしました。	要因 - 対処 絞り込み条件を追加して再実行してください。
KASV50138-W	サーバの初期化が完了していないため、Compute Systems Manager のライセンス情報しか表示できません。	要因 - 対処 ほかの製品の情報を表示するには、しばらくしてからダイアログを開き直してください。
KASV50139-W	ログインしようとした製品のライセンスが登録されていません。サーバの初期化が完了していないため、詳細な情報を表示できません。	要因 - 対処 しばらくしてから画面を更新してください。
KASV50147-W	このタスクを実行すると選択したホストの電源を強制的に OFF にします。この処理を続けますか？	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50148-E	物理サーバ上のホストを強制電源 OFF するためには、管理対象が BladeSymphony であるか、BMC が設定されている必要があります。仮想マシン上のホストを強制電源 OFF するためには、仮想マシンを管理するハイパーバイザーを管理対象にする必要があります。	要因 - 対処 -
KASV50149-W	E-mail アドレスが設定されていません。E-mail による通知が必要な場合は、ユーザープロファイルに通知先アドレスを設定してください。	要因 - 対処 -
KASV50150-W	SMTP サーバが設定されていません。E-mail による通知が必要な場合は、E-mail 設定で適切な設定を実施してください。	要因 - 対処 -
KASV50151-E	タスクの開始日付を指定していません。	要因 - 対処 -
KASV50152-W	開始日付は終了日付より後に設定できません。	要因 - 対処 -
KASV50153-W	認証情報を編集すると、BMC を使う電源制御などのオペレーションに影響が出るおそれがあります。この処理を続けますか？	要因 - 対処 -
KASV50154-W	認証情報を削除すると、BMC を使う電源制御などのオペレーションに影響が出るおそれがあります。この処理を続けますか？	要因 - 対処 -
KASV50155-W	IP アドレスの指定を間違えると、別のホストに対して電源制御を実行するおそれがあります。設定する前に BMC の IP アドレスを確認してください。	要因 - 対処 -
KASV50156-W	E-mail 通知が設定されていません。	要因 - 対処 E-mail による通知が必要な場合は、E-mail 通知の設定をしてください。
KASV50157-W	操作に必要な権限がありません。	要因 - 対処 システム管理者に問い合わせてください。
KASV50158-W	あて先の数が、設定できる最大数を超過しています。	要因 - 対処 E-mail のあて先の数を 10 以下にしてください。
KASV50159-E	認証情報名 (<認証情報名>) は、すでに使われています。	要因 - 対処 別の認証情報名を指定してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV50160-E	論理グループ内のすべてのホストを削除できませんでした。	要因 - 対処 ホストを個別に選択して削除してください。
KASV50161-E	絞り込み条件またはホストが指定されていません。	要因 - 対処 絞り込み条件またはホストを指定してください。
KASV50162-W	指定した論理グループを削除すると、その配下にある論理グループも削除されます。	要因 - 対処 -
KASV50163-E	指定したパスは、現在のパスと同じです。	要因 - 対処 別のパスを指定してください。
KASV50164-E	論理グループは、31 階層までしか構成できません。	要因 - 対処 別のパスを指定してください。
KASV50165-W	Compute Systems Manager サーバに MIB ファイルが登録されていません。	要因 - 対処 MIB ファイルを登録してください。
KASV50166-W	アラート情報がありません。	要因 - 対処 Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV50167-E	選択したアラート ID がありません。削除されているおそれがあります。	要因 - 対処 -
KASV50168-W	選択した OID は、別のアラート ID に関連づけられています。この操作により、そのアラート ID との関連は削除されます。	要因 - 対処 そのアラート ID がスクリプトコマンドに登録されている場合は、スクリプトコマンドの内容も確認してください。
KASV50169-E	E-mail アドレスが空か、長過ぎます。	要因 - 対処 E-mail アドレスの長さは 1 から 256 バイトで指定してください。
KASV50170-W	E-mail による通知が必要な場合は、E-mail 通知の設定をしてください。	要因 - 対処 -
KASV50171-E	タスク情報にアクセスできません。対象のタスク情報は削除されています。	要因 - 対処 画面を再表示してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50172-E	SNMP トラップ情報にアクセスできません。対象の SNMP トラップ情報は削除されています。	要因 - 対処 画面を再表示してください。
KASV50173-E	送信元の E-mail アドレスが指定されていません。	要因 - 対処 E-mail アドレスを指定してください。
KASV50174-E	割り当てられたユーザーが削除されています。	要因 - 対処 いったんダイアログを閉じて、再度実施してください。
KASV50200-E	選択したノードに対応するオブジェクトがデータベースにありません。	要因 - 対処 ツリーの表示を更新してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV50201-E	選択したレポートを閲覧する権限がありません。	要因 - 対処 システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。(保守情報=<保守情報>)
KASV50300-E	予期しないエラーが発生しました。	要因 - 対処 システム管理者に問い合わせてください。(保守情報:<保守情報>)
KASV50301-E	サーバと接続できません。次の理由が考えられます。 (1)ネットワークに障害が発生している。 (2)サーバが停止している。 (3)一時的にサーバの負荷が高くなっている。	要因 - 対処 サーバが起動していることを確認し、再度ログインしてください。(保守情報:<保守情報>)
KASV50302-E	Compute Systems Manager サーバとの接続がタイムアウトしました。	要因 ネットワークに障害が発生していることが考えられます。または Compute Systems Manager サーバの負荷が一時的に高くなっていることが考えられます。 対処 ネットワークの障害、または Compute Systems Manager サーバが高負荷になっている原因を解決してから、再度ログインしてください。(保守情報:<保守情報>)
KASV50403-E	選択したホストが多過ぎます。	要因 - 対処 5 台以内のホストを選択してください。
KASV50404-E	ホストが一つも選択されていません。	要因 - 対処 ホストを一つ以上選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50405-E	指定できない時刻です。	要因 - 対処 ＜下限時刻＞より後の時刻を指定してください。
KASV50406-E	指定できない時刻です。	要因 - 対処 ＜上限時刻＞より前の時刻を指定してください。
KASV50407-W	性能監視が無効です。	要因 - 対処 性能監視共通設定を変更し、性能情報の取得を有効にしてください。
KASV50408-W	SNMP トラップ受信が無効です。	要因 - 対処 SNMP 共通設定を変更し、SNMP トラップ受信を有効にしてください。
KASV50409-W	推奨値より短いインターバルが指定されました。	要因 - 対処 Linux サーバの場合は 3 分以上のインターバルを指定してください。
KASV50410-W	対象となるホストの合計が、推奨される範囲を超えています。	要因 - 対処 推奨されるホストの数は 5 台までです。
KASV50411-E	性能監視設定の数が上限値に達しているため、性能監視設定を作成できません。	要因 - 対処 性能監視設定の数を 1000 個以下にしてください。
KASV50412-W	しきい値監視をする場合、性能監視共通設定でしきい値を有効にしてください。	要因 - 対処 -
KASV50414-W	このタスクを実行すると選択したブレードと、そのブレードに関連づけられたホストの電源を強制的に OFF にします。安全にホストを停止させるため、ホスト一覧から手動でシャットダウンを実行してください。	要因 - 対処 -
KASV50415-I	ブレードのメトリックが選択されていません。	要因 - 対処 -
KASV50416-E	シャーシのメトリックが選択されていません。	要因 - 対処 -
KASV50417-I	ブレードの設定が原因で、ブレードの電源が OFF できなかったおそれがあります。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		詳細についてはハードウェアのマニュアルを確認してください。
KASV50418-E	未装着の状態のスロット(スロット番号=<スロット番号>)には、この操作はできません。	要因 - 対処 操作可能なスロットを選択してください。
KASV50419-E	アラートを選択してください。	要因 - 対処 操作対象のアラートを選択してください。
KASV50420-E	選択したリソース同士に共通のキャッピング範囲がないため、電力キャッピングを開始できません。	要因 - 対処 キャッピング範囲が異なるリソースは、個別に設定してください。
KASV50421-E	入力した値はサポートされていません。	要因 - 対処 サポートされる範囲で値を入力してください。
KASV50422-W	電力キャッピングによってCPUの周波数を制限し、消費電力を抑えます。CPUの周波数を制限すると、システムの性能に影響するおそれがあります。この処理を続けますか？	要因 - 対処 -
KASV50423-E	絞り込み条件またはシャーンが指定されていません。	要因 - 対処 絞り込み条件またはシャーンを指定してください。
KASV50424-E	絞り込み条件またはサーバが指定されていません。	要因 - 対処 絞り込み条件またはサーバを指定してください。
KASV50425-W	電力監視共通設定で、電力情報の取得を有効にしてください。	要因 - 対処 -
KASV50426-E	選択したシャーンが多過ぎます。	要因 - 対処 5台までのシャーンを選択してください。
KASV50427-E	選択したサーバが多過ぎます。	要因 - 対処 5台までのサーバを選択してください。
KASV50428-I	選択したデータの範囲によっては、グラフの表示に数分掛かることがあります。	要因 - 対処 -
KASV50429-E	選択したデータの範囲が広い場合、グラフを表示できません。	要因 - 対処 選択するデータの範囲を狭くしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50430-E	選択したホストが多過ぎます。選択できるホストは、現状のライセンスでは<最大数>台までです。	要因 - 対処 登録されたライセンス数以内のホストを選択してください。
KASV50431-E	選択したホストが多過ぎます。	要因 - 対処 5台までのホストを選択してください。
KASV50432-I	性能監視設定がないか、または性能監視設定にホストの指定がありません。	要因 - 対処 性能監視設定を作成または編集してください。
KASV50433-E	選択したシャーシが多過ぎます。選択できるシャーシは、現状のライセンスでは<最大数>台までです。	要因 - 対処 登録されたライセンス数以内のシャーシを選択してください。
KASV50434-I	選択した To Do の項目を削除できません。	要因 - 対処 To Do 項目を解決してから削除してください。
KASV50435-W	電力監視設定からシャーシを削除すると、そのシャーシおよびシャーシ内のブレードの収集済みの電力情報も削除されます。削除処理には数分かかることがあります。	要因 - 対処 -
KASV50436-W	電力監視設定を削除すると、監視対象のシャーシおよびシャーシ内のブレードの収集済みの電力情報も削除されます。削除処理には数分かかることがあります。	要因 - 対処 -
KASV50437-W	性能監視設定からホストを削除すると、そのホストの収集済みの性能情報も削除されます。削除処理には数分かかることがあります。	要因 - 対処 -
KASV50438-W	性能監視設定を削除すると、監視対象ホストの収集済み性能情報も削除されます。削除処理には数分かかることがあります。	要因 - 対処 -
KASV50439-W	現用ブレードおよび予備ブレードが未テストの場合は、あとで必ずテストを実施してください。	要因 - 対処 -
KASV50440-W	ホストが Compute Systems Manager で管理されていない場合は、電源 OFF の方法を変更してください。	要因 - 対処 -
KASV50441-E	構成の異なるブレード同士を、同じ N+M コールドスタンバイグループに入れることはできません。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50442-W	N+M コールドスタンバイグループを削除しようとしています。	要因 - 対処 -
KASV50443-W	少なくとも 1 台の予備ブレードがないと、現用ブレードからの切り替えは実行できません。	要因 - 対処 -
KASV50444-E	選択したペアでの切り替えは、備考列の問題が解決されないと実行できません。	要因 - 対処 -
KASV50445-E	選択したペアでの切り戻しは、備考列の問題が解決されないと実行できません。	要因 - 対処 -
KASV50446-E	選択したペアでの予備ブレードの現用化は、備考列の問題が解決されないと実行できません。	要因 - 対処 -
KASV50447-E	選択したペアでの切り替え状態復旧は、備考列の問題が解決されないと実行できません。	要因 - 対処 -
KASV50448-I	電力監視設定がないか、または電力監視設定にシャーシの指定がありません。	要因 - 対処 -
KASV50449-I	電力監視設定がないか、または電力監視設定にサーバの指定がありません。	要因 - 対処 -
KASV50450-E	現用ブレードの数は、現状のライセンスで指定できる<最大数>台以下にしてください。	要因 - 対処 現状のライセンスで指定できる範囲で現用ブレードを選択してください。
KASV50451-I	スクリプトコマンドが未設定です。	要因 - 対処 -
KASV50452-I	関連するアラート情報がありません。	要因 - 対処 -
KASV50453-I	このアラートに関連する N+M コールドスタンバイタスクはありませんでした。関連する画面への移動は実行しません。	要因 このブレードが N+M コールドスタンバイ切り替える構成に設定されていなかったか、すでにタスクが削除されています。 対処 -
KASV50454-W	関連するアラート ID を解決してから、このアラートに対処してください。	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -
KASV50455-I	電力情報がありません。	要因 - 対処 電力情報の取得を有効にしてください。
KASV50456-I	性能情報がありません。	要因 - 対処 性能情報の取得を有効にしてください。
KASV50457-E	絞り込み条件または仮想マシンマネージャが指定されていません。	要因 - 対処 絞り込み条件または仮想マシンマネージャを指定してください。
KASV50458-E	絞り込み条件またはハイパーバイザーが指定されていません。	要因 - 対処 絞り込み条件またはハイパーバイザーを指定してください。
KASV50459-E	絞り込み条件または仮想マシンが指定されていません。	要因 - 対処 絞り込み条件または仮想マシンを指定してください。
KASV50460-E	選択可否列がエラーになっているブレードは、N+M コールドスタンバイグループに追加できません。	要因 - 対処 選択可否列にエラーが表示されていないブレードを選択してください。
KASV50462-E	エクスポートできるデータがありません。	要因 - 対処 情報取得設定が有効になっていることを確認してください。情報が無い場合は、情報取得間隔が経過するまで待ってください。
KASV50463-W	ブレードに関連づけられたホストは、N+M コールドスタンバイの処理中にシャットダウンされます。	要因 - 対処 -
KASV50464-I	N+M コールドスタンバイのタスクは削除されました。	要因 - 対処 -
KASV50465-I	関連するリソースがないため、リンクは閲覧履歴から削除されます。	要因 - 対処 -
KASV50466-E	切り替えテストができないペアが選択されています。	要因 - 対処 必要な対処をして問題を解決してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50470-I	ハイパーバイザーが Compute Systems Manager の管理対象でないため、電源操作ができません。	要因 - 対処 -
KASV50471-I	仮想マシンを実行させるハイパーバイザーが Compute Systems Manager の管理対象でないため、仮想マシンの電源操作ができません。	要因 - 対処 -
KASV50472-I	選択したハイパーバイザーは Compute Systems Manager の管理対象でないため、KVM に接続できません。	要因 - 対処 -
KASV50473-E	VMM Web クライアントが起動できませんでした。	要因 - 対処 VMM Web クライアントを起動するには、 [VMM 設定に移動] をチェックし、[OK] ボタンをクリックして、VMM 設定を作成または変更してください。
KASV50474-W	このタスクを実行すると選択したラックマウントサーバと、そのラックマウントサーバに関連づけられたホストの電源を強制的に OFF にします。安全にホストを停止させるため、ホスト一覧から手動でシャットダウンを実行してください。	要因 - 対処 -
KASV50475-W	このタスクを実行すると選択したサーバと、そのサーバに関連づけられたホストの電源を強制的に OFF にします。安全にホストを停止するため、ホスト一覧から手動でシャットダウンを実行してください。	要因 - 対処 -
KASV50476-W	電力監視設定を削除すると、監視対象のラックマウントサーバの収集済みの電力情報も削除されます。削除処理には数分掛かることがあります。	要因 - 対処 -
KASV50477-W	電力監視設定からラックマウントサーバを削除すると、そのサーバの収集済みの電力情報も削除されます。削除処理には数分掛かることがあります。	要因 - 対処 -
KASV50478-E	選択できるラックマウントサーバの上限は<最大数>台までです。	要因 - 対処 現状のライセンスで認められる最大数までのラックマウントサーバを選択してください。
KASV50479-E	ラックマウントサーバのメトリックを選択していません。	要因 - 対処 ラックマウントサーバのメトリックを選択してください。
KASV50480-W	システムリストアを実行すると、リストア先のサーバの OS を上書きします。処理を続行しますか？	要因 - 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		-
KASV50481-W	システムリストアを実行すると、リストア先の VM の OS を上書きします。処理を続行しますか？	要因 - 対処 -
KASV50482-I	選択したサーバは、Web コンソールを使った情報取得をサポートしていません。	要因 - 対処 使用可能なサーバを選択してください。
KASV50483-E	デプロイメントマネージャーが管理するリソース数が、ライセンスの上限を超えています。	要因 - 対処 リソースを管理するのに十分な数のライセンスキーまたはライセンスファイルを登録してください。
KASV50484-E	選択したリソースにハードウェアドライバグループが設定されていないか、または正しくないハードウェアドライバグループが設定されています。	要因 - 対処 すべてのリソースに正しいハードウェアドライバグループを設定してください。
KASV50485-I	選択したサーバは、Web コンソールの起動をサポートしていません。	要因 - 対処 -
KASV50486-W	このタスクを実行すると、Compute Systems Manager サーバは選択したリソースの電源を OFF にします。選択したリソースがハイパーバイザーの場合、そのハイパーバイザー上で動作している VM も電源を OFF にします。	要因 - 対処 ハイパーバイザーの電源を OFF にする場合、そのハイパーバイザー上で動作している VM の電源を OFF にしてよいか確認してください。
KASV50487-W	スナップショットの対象をディスク構成情報から選択する場合、スナップショットタスクを実行する前にディスク構成チェックを実行してリソースの情報を取得してください。	要因 - 対処 -
KASV50488-W	バックアップの対象をディスク構成情報から選択する場合、システムバックアップの前にディスク構成チェックを実行してリソースの情報を取得してください。	要因 - 対処 -
KASV50489-W	イメージファイルが見つかりません。	要因 - 対処 正しいイメージファイルのパスを指定してください。
KASV50490-E	フォーマットが不正です。	要因 - 対処 正しいフォーマットを入力してください。
KASV50491-E	追加した MAC アドレス設定が追加可能最大数を超えました。	要因 - 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		不要な MAC アドレス設定を削除し、4 個までにしてください。
KASV50492-W	マスターイメージデプロイを実行すると、デプロイ先のサーバの OS を上書きします。処理を続行しますか？	要因 - 対処 -
KASV50493-W	マスターイメージデプロイを実行すると、デプロイ先の VM の OS を上書きします。処理を続行しますか？	要因 - 対処 -
KASV50494-I	デプロイメントマネージャーは UEFI ブートモードの管理対象リソースをサポートしていません。	要因 - 対処 UEFI ブートモードのリソースを、デプロイメントマネージャーの管理対象に追加しないでください。
KASV50495-W	JP1/Base がインストールされていないか、またはイベントサーバが停止しています。	要因 - 対処 サポートされている JP1/Base のバージョンがインストールされていることを確認してください。インストールされている場合は、イベントサーバが起動していることを確認してください。
KASV50496-W	ハードウェアドライバーグループが設定されていないデプロイメントマネージャーの対象リソースがあります。	要因 - 対処 -
KASV50497-W	バックアッププロファイルが設定されていないリソースがあります。	要因 - 対処 -
KASV50498-W	リストアップファイルが設定されていないリソースがあります。	要因 - 対処 -
KASV50499-W	スナップショットプロファイルが設定されていないリソースがあります。	要因 - 対処 -
KASV50500-W	デプロイメントプロファイルが設定されていないリソースがあります。	要因 - 対処 -
KASV50501-E	ネットワーク設定を追加できません。	要因 7 個のネットワーク設定がすでに登録されています。 対処 -
KASV50502-E	デバイス名が指定されていないネットワーク設定が 1 個以上あります。	要因 - 対処 すべてのネットワーク設定にデバイス名を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50503-W	MAC アドレスをサーバ, LPAR, または VM からコピーすると, ネットワーク設定も上書きされます。処理を続行しますか?	要因 - 対処 -
KASV50504-I	指定されたリソースの情報が見つかりません。	要因 表示しようとしたリソースがすでに削除されている可能性があります。 対処 操作を中断し, リソースが管理対象になっていることを確認してください。
KASV50505-I	MAC アドレスをサーバ, LPAR, または VM からコピーすると, ネットワーク設定も上書きされます。MAC アドレスをコピーした場合, ネットワーク設定のデバイス名を指定してください。	要因 - 対処 -
KASV50506-I	キャッピング範囲はサーバによって異なります。	要因 - 対処 キャッピング範囲に関して, 対象サーバのマニュアルを参照してください。
KASV50507-E	選択したリソースが多すぎます。選択できるリソースは, 現状のライセンスでは<管理可能なリソース数>台までです。	要因 - 対処 登録されたライセンス数以内のリソースを選択してください。
KASV50508-E	管理されているリソースが見つかりません。	要因 - 対処 管理対象のリソースがあることを確認してください。
KASV50509-E	デバイス名に"eth0"が指定されたネットワーク設定がありません。	要因 - 対処 デバイス名に"eth0"が指定されたネットワーク設定を作成してください。
KASV50510-E	選択可否列にエラーがあるリソースは追加できません。	要因 - 対処 選択可否列が OK になっているリソースだけを選択してください。
KASV50511-W	選択可否列がエラーになっているリソースを選択しています。選択したリソースのファームウェアは更新できません。	要因 - 対処 選択可否列が OK になっているリソースを選択してください。
KASV50512-E	ファームウェアを更新するには選択可否列が OK になっているリソースを選択してください。	要因 - 対処 -
KASV50513-E	指定したファームウェアのファイルがありません。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50514-W	対象シャーシのマネジメントモジュールのファームウェアを更新している間は、シャーシとそのシャーシに搭載されているすべてのブレードにアクセスできなくなります。ファームウェア辞書と装置パラメーターの更新だけの場合はアクセスできます。実行しますか？	要因 - 対処 -
KASV50515-I	電源 ON のブレードにファームウェアを適用するにはブレードの再起動が必要です。電源 OFF のブレードの場合は、タスク実行後にファームウェアが自動的に適用されるため、ブレードの電源操作の必要はありません。	要因 - 対処 ファームウェアバージョンおよび再起動要否を確認するためにリソースタブのブレード情報を参照してください。
KASV50516-E	ファームウェアのファイルをアップロードできませんでした。(保守情報=<保守情報>)	要因 - 対処 エラーが繰り返し発生する場合は、Compute Systems Manager のマニュアルを参照して障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV50517-E	ファームウェアのファイルをアップロードできませんでした。	要因 指定したファームウェアのファイルが間違っていたか、Compute Systems Manager サーバがネットワークに問題がある可能性があります。 対処 次の対処を実施してください。 1. 指定したファイルがファームウェアのファイルであることを確認してください。 2. Compute Systems Manager サーバが正常に動作していることを確認してください。 3. Compute Systems Manager サーバのネットワークの通信に問題がないことを確認してください。
KASV50518-E	ファームウェアのファイルをアップロードできません。	要因 指定したファイルがないか、ファイルにアクセスできない状態であることが考えられます。または Compute Systems Manager サーバの負荷が一時的に高くなっていることが考えられます。 対処 ファイルがあること、およびアクセス権限を確認し、再実行してください。同じエラーが発生する場合は、Compute Systems Manager サーバの負荷状態を確認し、再実行してください。
KASV50519-E	指定したファイルが読み込めませんでした。	要因 ファームウェアのファイルに対する十分な権限がありません。 対処 選択したファイルに対する権限を確認し、再度実行してください。
KASV50521-W	このタスクを実行すると選択したブレードと、そのブレードに関連づけられたホストをリセットします。ホストを安全にシャットダウンした後で起動させるため、ホスト一覧から手動で再起動を実行してください。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50522-E	ファイル名がデフォルトファイル名から変更されているか、不正なファイル名のファイルが選択されています。	要因 - 対処 次の対処を実施してください。 1. ファームウェアファイル以外のファイルを指定していないことを確認してください。 2. ファイル名が正しいことをファームウェアのファイルと共に入手したドキュメントで確認してください。 3. 再度ファームウェアの更新を行ってください。
KASV50523-W	このタスクを実行すると選択したラックマウントサーバと、そのラックマウントサーバに関連づけられたホストをリセットします。ホストを安全にシャットダウンした後で起動させるため、ホスト一覧から手動で再起動を実行してください。	要因 - 対処 -
KASV50524-W	このタスクを実行すると選択したサーバと、そのサーバに関連づけられたホストをリセットします。ホストを安全にシャットダウンした後で起動させるため、ホスト一覧から手動で再起動を実行してください。	要因 - 対処 -
KASV50525-I	選択した LPAR またはサーバが見つかりませんでした。	要因 LPAR またはサーバが削除されているおそれがあります。 対処 LPAR もしくはサーバが削除されていないこと、または管理対象から外されていないことを確認してください。
KASV50526-E	LPAR を作成できません。	要因 LPAR 数が作成できる上限数に達しています。 対処 -
KASV50528-E	選択可否列がエラーになっているリソースは追加できません。	要因 - 対処 選択可否列が OK になっているリソースだけを選択してください。
KASV50530-W	この USB デバイスはほかの LPAR に Attach されています。指定した LPAR へ Attach すると、先に Attach していた LPAR は切断され使用できなくなります。処理を続行しますか？	要因 - 対処 -
KASV50531-W	ブレード上に LPAR があります。N+M コールドスタンバイの切り替えテストを実行すると、デフォルトの設定では、HVM が起動するとすぐに切り戻しを開始します。このため、LPAR 上のホストはシャットダウンしないまま停止することがあります。	要因 - 対処 [N+M コールドスタンバイテストの詳細設定]を開き、[切り替え後、切り戻しを開始するまでの待ち時間]を有効にして、予備ブレード上のホストが起動するまでの十分な待ち時間を設定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50532-E	マイグレーション状態のリカバリーを実行できません。	要因 指定した LPAR のマイグレーション状態はリカバリーが必要な状態ではないか、HVM が起動していません。 対処 指定した LPAR のマイグレーション状態はリカバリーが必要な状態であること、および HVM が起動していることを確認してください。
KASV50533-E	移動元と移動先の HVM ID が同じ場合、LPAR をマイグレーションできません。	要因 - 対処 -
KASV50534-E	停止、または不明な状態の HVM に対しては、LPAR のマイグレーションを実行できません。	要因 - 対処 サーバの電源を ON にするか、サーバの情報を更新してから、マイグレーションを再実行する HVM を選択してください。
KASV50535-E	選択した HVM には共有 NIC が見つかりませんでした。	要因 - 対処 共有 NIC がある HVM を選択してください。
KASV50536-E	LPAR をマイグレーションできません。	要因 移動先 HVM に LPAR 番号の空きがないため、指定した LPAR を移動できません。 対処 -
KASV50537-E	すでに同じのセグメント(<セグメント名>)の NIC が設定されています。	要因 - 対処 NIC のセグメントを変更してください。
KASV50538-W	すでに同じのセグメント(<セグメント名>)の NIC が設定されています。	要因 - 対処 同じネットワークセグメントを使用することが意図した設定であることを確認してください。
KASV50539-W	HVM の設定を変更すると、管理対象 LPAR に対するリソースの割り当て、または管理対象 LPAR の動作に影響するおそれがあります。	要因 - 対処 -
KASV50540-I	HVM を再起動します。	要因 - 対処 -
KASV50541-I	シャーン内のすべての HVM のファームウェアをアップデートします。	要因 - 対処 -
KASV50542-E	ブレードが稼働中のため、設定を変更できません。	要因 - 対処 ブレードの電源を OFF にしてから、再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50543-E	停止中の HVM に対して、設定の変更はできません。	要因 - 対処 HVM を起動してから、再実行してください。
KASV50544-E	停止中の HVM に対して、構成情報の保存はできません。	要因 - 対処 HVM を起動してから、再実行してください。
KASV50545-E	停止中の HVM に対して、LPAR の作成はできません。	要因 - 対処 HVM を起動してから、再実行してください。
KASV50546-E	HVM が停止しているため、設定を変更できません。	要因 - 対処 HVM を起動してから、再実行してください。
KASV50547-E	状態が不明の LPAR に対して、設定の変更はできません。	要因 - 対処 LPAR が動作するブレードの情報を更新してから、再実行してください。
KASV50548-E	Activate 状態の LPAR は削除できません。	要因 - 対処 LPAR を Deactivate してから、再実行してください。
KASV50549-W	Activate 状態の LPAR の設定を変更する場合、一部の項目だけ反映されてタスクが失敗することがあります。	要因 - 対処 -
KASV50550-W	設定対象の HVM 上に Activate 状態の LPAR があります。設定を変更すると、一部の項目だけ反映されてタスクが失敗することがあります。	要因 - 対処 -
KASV50551-W	マスターイメージをデプロイすると、デプロイ先の LPAR の OS を上書きします。処理を続行しますか?	要因 - 対処 -
KASV50552-E	選択したサーバに対して HVM の操作を実行できません。	要因 選択したサーバが、HVM のサポート対象外の機種です。 対処 サポートしているサーバを選択してください。
KASV50553-I	サーバが選択されていないか、または選択したサーバにはすでにライセンスが適用されています。	要因 - 対処 -
KASV50554-I	HVM と LPAR を管理するためには Logical Partitioning Manager プラグインライセンスを登録してください。	要因 - 対処 -
KASV50555-W	共有 NIC の数を変更すると、仮想 NIC の設定が初期化されます。	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 設定済みの仮想 NIC がある場合は、この操作を実行してから、仮想 NIC を設定し直してください。[Virtual NIC 編集] ボタンで、設定を変更できます。
KASV50556-E	ライセンス数を超える<リソース種別>を選択したため、処理を実行できません。	要因 - 対処 ライセンス数の範囲内で<リソース種別>を選択してください。
KASV50557-E	HVM が起動していないため、LPAR を削除できません。	要因 - 対処 HVM を起動してから、LPAR を削除してください。
KASV50558-E	既存の設定内容が変更されていないため、更新できません。	要因 - 対処 設定内容を変更してから、再実行してください。
KASV50559-E	Activate 状態の LPAR に対してシャットダウンマイグレーションを実行できません。	要因 - 対処 Activate 状態の LPAR に対してコンカレントメンテナンスマイグレーションを実行するか、Deactivate 状態の LPAR に対してシャットダウンマイグレーションを実行してください。
KASV50560-E	Deactivate 状態の LPAR に対してコンカレントメンテナンスマイグレーションを実行できません。	要因 - 対処 Activate 状態の LPAR に対してコンカレントメンテナンスマイグレーションを実行するか、Deactivate 状態の LPAR に対してシャットダウンマイグレーションを実行してください。
KASV50561-E	選択した LPAR をマイグレーションできません。(マイグレーション状態:<マイグレーション状態>)	要因 マイグレーションのタスクが実行中か、またはマイグレーション状態がリカバリー要になっています。 対処 マイグレーションのタスクが実行中の場合は、タスクが完了するまで待ってください。マイグレーション状態がリカバリー要の場合は、リカバリーしてから再実行してください。
KASV50562-W	選択した LPAR はデプロイメントリソースに登録されています。LPAR を削除したあと、デプロイメントリソースからも削除してください。	要因 - 対処 -
KASV50563-E	絞り込み条件または LPAR が指定されていません。	要因 - 対処 絞り込み条件または LPAR を指定してください。
KASV50564-I	HVM に対して処理できません。	要因 選択したサーバは HVM の動作モードが有効になっていません。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		選択したサーバで HVM に対する処理を実行する場合、HVM の動作モードを有効にしてください。
KASV50565-I	HVM に対する処理を実行できません。	要因 選択したブレードが論理分割の対象ブレードとして追加されていません。 対処 対象ブレードに追加してから、再実行してください。
KASV50566-E	選択したサーバでは、マイグレーションおよび構成チェックできません。	要因 選択したブレードが論理分割の対象ブレードとして追加されていません。 対処 対象ブレードに追加してから、再実行してください。
KASV50567-E	物理プロセッサ数を超える論理プロセッサ数は設定できません。	要因 - 対処 物理プロセッサ数以下の論理プロセッサ数を指定してください。
KASV50569-E	HVM の電源を OFF にできません。	要因 HVM が起動していません。 対処 -
KASV50570-W	LPAR <リソース>のリソース割り当てに失敗しました。(LPAR No. = <LPAR 番号>)	要因 HVM で利用できるリソースが不足しています。 対処 HVM で利用できるリソースを確認してください。
KASV50571-W	VNIC System No. <VNIC System No >は、ほかの HVM (<HVM ID >) で使用しています。	要因 同じ VNIC System No.を使用する場合、LPAR の MAC アドレスも同じにする必要があります。 対処 異なる MAC アドレスを使用する場合は、VNIC System No.を変更してください。
KASV50572-W	HVM ID <HVM ID >はすでに使用されています。	要因 - 対処 異なる HVM ID を指定してください。
KASV50573-W	ブレード上でホストが稼働しています。対象のブレードで動作モードを HVM に変更すると、ホストとブレードの関連が削除されます。	要因 - 対処 ホストが不要な場合は、削除してください。ホストを使用する場合は、ほかのブレードで HVM を使用してください。
KASV50574-W	ブレード上で LPAR が稼働しています。ブレードの動作モードを Basic に変更すると、ホスト、LPAR、およびブレードの関連が削除されます。	要因 - 対処 ブレード上で稼働する LPAR のホストを削除してから、ブレードの動作モードを変更してください。
KASV50575-E	指定したデプロイテンプレートは削除されています。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		適切なデプロイテンプレートを選択し、再実行してください。
KASV50576-E	プロセッサグループを作成できません。	要因 指定した HVM で作成できるプロセッサグループ数の上限に達しています。 対処 -
KASV50577-W	MAC アドレス(<MAC アドレス>)はほかの LPAR ですで使用されています。同じ MAC アドレスの LPAR を同時に起動すると、ネットワークに問題が起きるおそれがあります。	要因 - 対処 -
KASV50578-E	グループ番号が 0 の Processor Group は削除できません。	要因 - 対処 -
KASV50579-I	Group 番号 0 は、デフォルトの Processor Group です。Processor Group に所属している Physical Processor のチェックを外すと、Group 番号 0 に所属を変更します。	要因 - 対処 -
KASV50581-E	選択したサーバが見つかりません。	要因 ブレードの搭載位置が変更された、もしくはサーバが削除された、または管理対象から外されているおそれがあります。 対処 サーバの情報を更新してから、管理対象であることを確認してください。
KASV50582-E	指定した Group Name はすでにあります。(Group Name = <グループ名>)	要因 - 対処 異なる Group Name を指定してください。
KASV50583-W	IP アドレス (<IP アドレス>) はすでに使用されています。	要因 - 対処 異なる IP アドレスを指定してください。
KASV50584-E	LPAR のマイグレーションに失敗しました。	要因 移動元と移動先のブレードのタイプが異なります。 対処 移動元と同じサーバ名の移動先を選択してください。
KASV50585-E	LPAR が Deactivate 状態であるため、USB デバイスを Attach できません。	要因 - 対処 LPAR を Activate してから、USB デバイスを Attach してください。
KASV50586-W	LPAR 上でホストが稼働しています。LPAR を削除すると、LPAR とホストの関連が削除されます。	要因 - 対処 LPAR 上で稼働するホストを削除してから、LPAR を削除してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50587-E	選択可否列がエラーになっているリソースは追加できません。	要因 - 対処 選択可否列が OK になっているリソースだけを選択してください。
KASV50588-E	LPAR に割り当てられている Processor Group がありません。	要因 - 対処 Processor Group を割り当ててから、再実行してください。
KASV50589-E	指定した LPAR に VNIC を追加できません。	要因 LPAR に割り当てられる VNIC の数が上限に達しています。 対処 -
KASV50590-E	選択したリソースを削除できません。 選択したリソースはデプロイメントマネージャーに登録されています。	要因 - 対処 選択したリソースを削除する場合は、デプロイメントリソースから削除してから、再実行してください。
KASV50591-E	対象となるデータ量が多いため、データをエクスポートできません。	要因 - 対処 選択する期間を短くするか、古いデータを手動で削除してください。
KASV50592-W	システムリストアを実行すると、リストア先の LPAR の OS を上書きします。 処理を続行しますか？	要因 - 対処 -
KASV50593-E	共有 NIC または仮想 NIC が割り当てられていない LPAR を、LPAR 作成ウィザードでは作成できません。	要因 - 対処 次のどちらかの操作を実行して、対象 LPAR に共有 NIC または仮想 NIC を割り当ててください。 1. Shared NIC Segment 数を増やして、共有 NIC を割り当てる。 2. Virtual NIC Segment 数を増やして、仮想 NIC を割り当てる。
KASV50594-E	LPAR から USB を Detach できません。	要因 LPAR に USB が Attach されていません。 対処 -
KASV50595-E	自動予備診断タスクのスケジュールはタスクリスケジュールダイアログからは変更できません。	要因 - 対処 自動予備診断タスクのスケジュールを変更するには、N+M コールドスタンバイグループ設定編集画面から自動予備診断タスクの設定を変更してください。
KASV50596-I	N+M コールドスタンバイグループの設定を編集すると、そのグループにすでに設定されている自動予備診断タスクのタスク名が変更されます。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50597-I	自動予備診断タスクを削除しても、そのタスクを設定した N+M コールドスタンバイグループの自動予備診断の状態は有効のままです。	要因 - 対処 -
KASV50598-W	予備ブレードへの自動切り替えが発生しても E-mail 通知されません。	要因 System アカウントの E-mail アドレスが設定されていません。 対処 E-mail 通知が必要な場合は、System アカウントのプロファイルに E-mail アドレスを設定してください。
KASV50599-I	自動予備診断タスクをキャンセルしても、そのタスクを設定した N+M コールドスタンバイグループの自動予備診断の状態は有効のままです。	要因 - 対処 -
KASV50600-E	タスクを登録できません。	要因 指定したタスクの開始日時、または終了日時に誤りがあります。 対処 正しい開始日時と終了日時を指定して、再度登録してください。
KASV50601-I	Windows ホストを探索するためには、探索対象の WinRM の設定を有効にしておく必要があります。	要因 - 対処 -
KASV50602-E	タスクを実行できません。	要因 前回未探索の IP アドレスの探索条件を選択していません。 対処 前回未探索の IP アドレスの探索条件を選択してください。
KASV50603-I	詳細情報画面を起動中です。	要因 - 対処 しばらくしてから再実行してください。
KASV50604-E	操作できるリソースがありません。	要因 - 対処 リソースが削除、または管理対象から外されていないことを確認してください。
KASV50605-I	< Plug-in 名 > をダッシュボードに表示するにはプラグインライセンスを登録する必要があります。	要因 - 対処 -
KASV50606-W	タスクを実行すると、HVM を起動するため、タスク完了までに 30 分以上掛かることがあります。	要因 - 対処 -
KASV50607-E	選択したタスク (< タスク名 >) の詳細情報を参照できません。	要因 タスクを登録したユーザーではない、かつ All Resources に対するロールも割り当てられていません。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KASV50608-E	選択したタスクを操作できません。	要因 タスクを登録したユーザーではありません。 対処 タスクを登録したユーザー、または All Resources に対する Admin ロールを割り当てられたユーザーに操作を依頼してください。
KASV50609-E	VMM Web クライアントを起動できません。	要因 VMM ブラウザ設定が作成されていないか、または設定された VMM に接続できません。 対処 システム管理者に問い合わせてください。
KASV50610-W	影響を受ける<リソースタイプ>に表示できないリソースがあります。	要因 ロールを持たないリソースが含まれています。 対処 このまま実行してよいことを確認してください。また、リソースに対するロールが適切なことをシステム管理者に問い合わせてください。
KASV50611-E	指定したユーザーグループが見つかりません。	要因 ユーザーグループがすでに削除されていることが考えられます。 対処 ユーザーグループが削除されていないことを確認し、存在するユーザーグループを選択し直して、削除操作を再実行してください。
KASV50612-I	ユーザーの権限を下げると、以前に登録されたタスクが失敗するおそれがあります。	要因 - 対処 -
KASV50613-E	設定を変更できません。	要因 Compute Systems Manager では VF NIC の変更をサポートしていません。 対処 -
KASV50614-E	指定した USB の Schedule Mode が Dedicated のため、自動 Attach 設定を変更できません。	要因 - 対処 Schedule Mode が Exclusive Shared の USB を選択してください。
KASV50615-W	このグループは移動できません。	要因 システムが作成した論理グループです。 対処 ユーザーが作成した論理グループを選択してください。
KASV50616-E	Schedule Mode が Dedicated の USB は、Attach 操作で LPAR に割り当てることはできません。Assign した LPAR を Activate する必要があります。	要因 - 対処 次の対処をしてください。 1. 指定した USB を Assign している LPAR を Deactivate する。 2. USB を割り当てたい LPAR を Deactivate してから、Assign し Activate する。
KASV50617-E	Schedule Mode が Dedicated の USB は、Detach 操作で LPAR への割り当て	要因 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	を解除できません。Attach している LPAR を Deactivate する必要があります。	対処 指定した USB を Attach している LPAR を Deactivate してください。
KASV50618-E	サーバをプロファイルに追加できません。	要因 - 対処 選択可否列が OK になっているサーバを選択してください。
KASV50619-I	リモート KVM に接続できません。	要因 - 対処 Web コンソールを起動し、リモート KVM に接続してください。
KASV50620-E	ファームウェアアップデートできません。	要因 適用できないファイルが選択されています。 対処 ファームウェアファイルが正しいことをファームウェアのファイルとともに入手したドキュメントで確認し、再実行してください。
KASV50621-W	IPv6 アドレスの形式が不正、または不正な文字列が CSV ファイルに含まれています。<行数>行分の指定をスキップしました。	要因 - 対処 -
KASV50622-E	IPv6 アドレスの読み込みに失敗しました。	要因 形式が正しい IPv6 アドレスが CSV ファイルにありません。 対処 -
KASV50623-E	IP アドレスが 1,025 個以上選択されています。	要因 - 対処 選択する IP アドレスは 1,024 個以下にしてください。
KASV50624-I	すでに追加されている IP アドレスと CSV ファイルの IP アドレスの合計が 2,049 個以上です。(CSV ファイルの始めから<アドレス数>個を追加し、それよりあとはスキップしました。)	要因 - 対処 -
KASV50626-I	アラートがユーザー定義の最大保存数を超過している場合は、古いアラートの削除をすぐに実行します。削除にはしばらく時間が掛かります。	要因 - 対処 -
KASV50627-E	指定された CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	要因 次の理由が考えられます。 1. ファイルがない。 2. ファイルが大きすぎる。 3. ファイルにアクセスできない。 対処 ファイルがあること、ファイルのサイズが 100KB 以下であること、およびアクセス権限を確認し、再実行してください。
KASV50628-E	ゲスト NUMA が有効になっているため、この LPAR は設定を変更できません。	要因 - 対処 -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Compute Systems Manager では、ゲスト NUMA を有効にした LPAR のメモリー設定を変更できません。HVM スクリーンを使用して、LPAR のメモリー設定を変更してください。
KASV50629-W	この LPAR の現在の設定は、Activate できない状態です。	要因 - 対処 ゲスト NUMA を使用する場合は、論理プロセッサのスケジューリングモードを占有に変更してから、割り当てる物理プロセッサ番号を指定する必要があります。
KASV50630-W	<ロール名>ロールが割り当てられていないリソースのアラートは削除の対象外になりました。	要因 - 対処 所属するユーザーグループに、アラート発生元のリソースに対する適切なロールが割り当てられていることを確認し、再実行してください。
KASV50631-E	選択したアラートは削除できません。	要因 アラート発生元のリソースに、<ロール名>ロールが割り当てられていません。 対処 所属するユーザーグループに、アラート発生元のリソースに対する適切なロールが割り当てられていることを確認し、再実行してください。
KASV50632-E	[Virtual NIC 設定編集] では、LPAR に共有 NIC または仮想 NIC を割り当てない設定はできません。	要因 - 対処 [Virtual NIC 追加] ボタンをクリックして、対象 LPAR に共有 NIC または仮想 NIC を割り当ててください。
KASV50633-E	[プライベート論理グループ] の直下には移動できません。	要因 [プライベート論理グループ] の直下は、システムが作成する論理グループしか配置できません。 対処 別の移動先を選択してください。
KASV50638-W	IPv4 射影アドレス、IPv4 互換アドレスまたは未定義アドレスが CSV ファイルに含まれています。<行数>行分の指定をスキップしました。	要因 - 対処 -
KASV50640-E	指定できるリソースグループがありません。	要因 リソースグループがすでに削除されていることが考えられます。 対処 リソースグループが削除されていないことを確認してください。
KASV50641-E	選択可否列にエラーがある FC は LPAR に割り当てられません。	要因 - 対処 選択可否列が OK になっている FC を選択してください。
KASV50642-E	Device Manager との通信設定を無効にできません。	要因 マイグレーション WWPN の自動登録設定が有効になっています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		マイグレーション WWPN の自動登録設定を無効にしてから、再実行してください。
KASV50643-I	マイグレーション WWPN の自動登録設定を有効にできません。	要因 Device Manager との通信設定が無効になっています。 対処 Device Manager との通信設定を有効にしてから、再実行してください。
KASV50644-I	Deactivate 状態の LPAR では、メモリーノードの設定値を表示します。 Activate 状態の LPAR では、実際に割り当てられているノード番号を表示します。	要因 - 対処 -
KASV50646-W	N+M グループのブレード間で、異なる HVM ライセンスが適用されています。 HVM ライセンスの起動できる LPAR 台数が、現用ブレードより予備ブレードの方が少ないと、切り替え後に LPAR の起動に失敗するおそれがあります。	要因 - 対処 現用ブレードと予備ブレードの HVM ライセンスを確認してください。[HVM モデル] 列で確認できます。
KASV50647-E	設定を変更できません。	要因 占有モードとして設定されている CNA デバイスの [Personality] が FCoE, iSCSI または OTHER の場合は、Compute Systems Manager からはデバイスの割り当て、および割り当ての解除ができません。 対処 -
KASV50649-E	設定を変更できません。	要因 CNA デバイスの [Personality] が FCoE, iSCSI または OTHER の場合は、Compute Systems Manager からは [Schedule Mode] 変更できません。 対処 -
KASV50650-W	サーバの MAC アドレス情報が取得できないため、デプロイメントリソースに追加できません。	要因 - 対処 [MAC アドレス編集] ボタンをクリックして、PXE ブートができるネットワークカードの MAC アドレスを指定してください。
KASV50651-I	選択したリソースには MAC アドレスが自動で設定されています。編集する必要はありません。	要因 - 対処 -
KASV50652-W	未設定の項目があったため、そのリソースの追加をスキップします。	要因 - 対処 スキップして続行する場合は [OK] ボタンを、設定し直す場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。
KASV50653-E	指定した MAC アドレス (<MAC アドレス>) は、ほかの追加対象のデプロイメントリソースと重複しています。	要因 - 対処 正しい MAC アドレスを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV50654-E	指定した MAC アドレス (<MAC アドレス>) は、ほかの管理対象リソースまたは追加済みのデプロイメントリソースと重複しています。	要因 指定した MAC アドレスか、ほかの追加済みのデプロイメントリソースで指定した MAC アドレスが誤っています。 対処 正しい MAC アドレスを指定してください。

2.7 KASV70000～KASV79999

Compute Systems Manager に関するメッセージ (KASV70000～KASV79999) を次の表に示します。

表 2-7 KASV70000～KASV79999 : Compute Systems Manager に関するメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KASV70305-I	Hitachi Command Suite services must stop during the installation. Continue? (y/n):	要因 - 対処 -
KASV70306-I	Hitachi Command Suite services must stop during the removal. Continue? (y/n):	要因 - 対処 -
KASV70309-I	Installation was canceled.	要因 - 対処 -
KASV70310-I	Removal was canceled.	要因 - 対処 -
KASV71001-W	An attempt to stop the Hitachi Command Suite services failed. Stopping the services may be delayed. Type y to retry stopping the services, or n to cancel. (y/n):	要因 システムが稼働中のため、サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 対処 Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止する場合は"y", 中止する場合は"n"を入力してください。
KASV71009-W	The installer cannot start because there is not enough temporary space. Ensure that the system meets the free space requirement. Directory: <i>directory</i> , Required: <i>required-space</i> MB, Available: <i>free-space</i> MB	要因 起動に必要な一時使用領域が不足しています。 対処 リリースノートを参照して、必要な容量を確保してください。
KASV71010-W	The removal cannot start because there is not enough temporary space. Directory: <i>directory</i> , Required: <i>required-space</i> MB, Available: <i>free-space</i> MB	要因 起動に必要な一時使用領域が不足しています。 対処 リリースノートを参照して、必要な容量を確保してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV71201-W	The entered value is invalid. Type y to re-enter or n to cancel. (y/n):	要因 入力した値が誤っています。 対処 再入力する場合は"y", 中止する場合は"n"を入力してください。
KASV71202-W	The entered value is invalid. Type y to re-enter, n to cancel, or e to edit. (y/n/e):	要因 入力した値が誤っています。 対処 再入力する場合は"y", 中止する場合は"n", 編集する場合は"e"を入力してください。
KASV71203-W	The entered value is invalid. Return to the setting information screen.	要因 入力した値が誤っています。 対処 -
KASV71204-W	An Invalid value was entered 3 times in row. Returning to the setting information screen.	要因 誤った値の入力が 3 回続きました。 対処 -
KASV71206-W	The entered value is invalid. Type i to ignore or c to edit. (i/c):	要因 入力した値が誤っています。 対処 続行する場合は"i", キャンセルする場合は"c"を入力してください。
KASV71207-W	The entered value is invalid. Type r to re-check, i to ignore, or c to cancel. (r/i/c):	要因 入力した値は使用できません。 対処 再チェックする場合は"r", 入力した値で続行する場合は"i", キャンセルする場合は"c"を入力してください。
KASV71208-W	The entered port number is invalid. Type e to re-enter or n to cancel. (e/n):	要因 入力した数値が 1 から 65535 の範囲ではありません。 対処 再入力する場合は"e", インストールを中止する場合は"n"を入力してください。
KASV71209-W	The entered port number is invalid. Enter a value between 1 and 65535.	要因 入力した数値が 1 から 65535 の範囲ではありません。 対処 1 から 65535 の範囲の数値を指定してください。
KASV72006-E	The specified directory cannot be used as the installation directory. Specify another directory. Note that any of the following directories cannot be specified: - /usr - /usr/local - /var - The root directory (/)	要因 入力したディレクトリは、インストール先に指定できません。 対処 次のディレクトリは指定できません。それ以外のディレクトリを入力してください。 /usr /usr/local /var ルートディレクトリ(/)
KASV72008-E	The database file path contains an invalid character. Specify a database file path using the following characters:	要因 データベースの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 対処

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	A-Z a-z 0-9 _ /	データベースファイルの格納先として指定するパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 . _ /
KASV72010-E	The installation path contains an invalid character. Specify an installation path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ /	要因 インストール先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 対処 インストール先として指定するパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 _ /
KASV72023-E	The backup file path contains an invalid character. Specify a backup file path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ /	要因 バックアップファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 対処 バックアップファイルの格納先として指定するパスは、次の文字で指定してください。 A-Z a-z 0-9 _ /
KASV72024-E	The following kernel parameters are smaller than the minimum requirement. <i>Setting Information</i> <i>Action to take</i>	要因 カーネルパラメーターが、下限値より小さいです。 対処 メッセージ内の設定手順を参照して、カーネルパラメーターを設定し直してください。
KASV72025-E	The following shell limits are smaller than the minimum requirement. <i>Setting Information</i> <i>Action to take</i>	要因 limit 値が、下限値より小さいです。 対処 メッセージ内の設定手順を参照して、limit 値を設定し直してください。
KASV72026-E	The mount path contains an invalid character. Specify a mount path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ /	要因 マウントパスに使用できない文字が含まれています。 対処 マウントパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 _ /
KASV72027-E	A symbolic link is included in the installation destination path: <i>Path</i>	要因 - 対処 インストール先のパスを変更してください。
KASV72101-E	A non-root user cannot perform an installation. Log in as root, and then start the installer.	要因 root 以外のユーザーはインストールできません。 対処 root でログインし直してから、インストールしてください。
KASV72102-E	A non-root user cannot perform a removal. Log in as root, and then restart the removal program.	要因 root 以外のユーザーはアンインストールできません。 対処 root でログインし直してから、アンインストールしてください。
KASV72103-E	Hitachi Command Suite cannot be installed on this OS version. Refer to the Release Note to verify the supported OS versions for the Hitachi Command Suite.	要因 この OS のバージョンには、Hitachi Compute Systems Manager をインストールできません。 対処

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
		リリースノートを参照して、Hitachi Compute Systems Manager がサポートする OS のバージョンを確認してください。
KASV72104-E	This installer is dedicated to <i>OS name or architecture name</i> . The OS or architecture of the installation target is not supported. Refer to the Release Note to verify the supported OS and architecture for the Hitachi Command Suite.	要因 実行したインストーラは、インストール先の OS またはアーキテクチャに対応していません。 対処 リリースノートを参照して、Hitachi Compute Systems Manager がサポートする OS とアーキテクチャを確認してください。
KASV72106-E	There is no installed JDK that meets the software requirement of the Hitachi Command Suite. Install the required JDK version.	要因 Hitachi Command Suite が前提とする JDK がインストールされていません。 対処 リリースノートを参照して、必要な JDK をインストールしてください。
KASV72107-E	A file in the installation media cannot run. The media might have been mounted with the mount command noexec option. Mount the media again without using the noexec option.	要因 インストールメディアをマウントしたときに、mount コマンドの noexec オプションが指定されたと考えられます。 対処 noexec オプションを指定しないで再度マウントしてください。
KASV72108-E	A file in the installation media cannot run. The installation media may be damaged. To determine the cause and resolve the problem, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.	要因 インストールメディアが壊れているおそれがあります。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KASV72109-E	File (<i>file name</i>), required for installation, cannot be read. The cause might be one of the following: - The files on the installation media are damaged. - The mount point contains a invalid character other than one-byte alphanumeric characters or "_". Verify that the mount point does not contain invalid characters. If the problem still persists, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.	要因 インストールに必要なファイルを読み込めません。 次のどちらかの要因が考えられます。 ・ インストールメディアが壊れている。 ・ マウントポイントに半角英数字および"_"以外の文字が使用されている。 対処 マウントポイントに半角英数字および"_"以外の文字が使用されていないか確認してください。それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。
KASV72111-E	/usr/bin/perl is not found. Install the Perl package.	要因 /usr/bin/perl がありません。 対処 Perl パッケージをインストールしてください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV72112-E	File "hinstsetup.tar", required for installation, cannot be read. The cause might be one of the following: - The files in the installation media are damaged. - The mount point contains a invalid character other than one-byte alphanumeric characters or "_". Verify that the mount point contains invalid characters. If the problem persists, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.	要因 インストールに必要なファイルを読み込めません。 次のどちらかの要因が考えられます。 ・ インストールメディアが壊れている。 ・ マウントポイントに半角英数字および"_"以外の文字が使用されている。 対処 マウントポイントに半角英数字および"_"以外の文字が使用されていないか確認してください。 それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV72114-E	Installation cannot run because a removal of Compute Systems Manager is already running. Complete the removal, and then perform installation again.	要因 Compute Systems Manager のアンインストールが実行中のため、インストールを中止します。 対処 Compute Systems Manager のアンインストールが完了してから、インストールを再実行してください。
KASV72115-E	Another instance of HCSM installer is already running. Complete the current installation, and then run the installation again.	要因 Compute Systems Manager のインストールがすでに実行中です。 対処 実行中の Compute Systems Manager のインストールが完了してから、インストールを再実行してください。
KASV72116-E	A removal cannot run in the current directory <i>Current directory</i> . Change the current directory to /root, and then start the removal again.	要因 カレントディレクトリが/rootではありません。 対処 カレントディレクトリを/rootに移動してから、アンインストールを再実行してください。
KASV72117-E	Another removal of HCSM installer is already running.	要因 Compute Systems Manager のアンインストールがすでに実行中です。 対処 -
KASV72118-E	Removal cannot run because an installation of Compute Systems Manager is already running. Complete the installation, and then run the removal again.	要因 Compute Systems Manager のインストールが実行中のため、アンインストールを中止します。 対処 Compute Systems Manager のインストールが完了してから、アンインストールを再実行してください。
KASV72119-E	Installation will be canceled because the /tmp directory is not found. Create the /tmp directory, and then start the installation again.	要因 /tmp ディレクトリがありません。 対処 /tmp ディレクトリを作成してから、インストールを再実行してください。

メッセージ ID	メッセージテキスト	説明
KASV72120-E	Removal will be canceled because the /tmp directory is not found. Create the /tmp directory, and then start the removal again.	要因 /tmp ディレクトリがありません。 対処 /tmp ディレクトリを作成してから、アンインストールを再実行してください。
KASV72309-E	The HiRDB service cannot be started. A detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.	要因 HiRDB サービスの開始に失敗しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KASV72316-E	An attempt to execute the <i>command-name</i> command failed. A detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.	要因 コマンドの実行に失敗しました。 対処 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。

Compute Systems Manager が出力するアラート

この章では、Compute Systems Manager が出力するアラートについて説明します。

□ 3.1 0x0000～0x12FF

3.1 0x0000～0x12FF

Compute Systems Manager が出力するアラート（0x0000～0x12FF）を次の表に示します。

表 3-1 0x0000～0x12FF : Compute Systems Manager が出力するアラート

アラート ID	アラートレベル	イベント ID (JP1 アラート通知)	アラートテキスト	対処	備考		
0x0000	情報	0x00012410	ホストから SNMP トラップを受信しました。	アラートを定義した SNMP トラップの内容に応じて対処してください。	ここで記載している内容は、サンプルとして提供しているものであり、ユーザーが変更できます。		
0x0001	警告	0x00012411	ホストで警告レベルの SNMP トラップが発生しました。				
0x0002	障害	0x00012412	ホストで障害レベルの SNMP トラップが発生しました。				
0x0010	障害	0x00012412	ホスト上のドライバーで障害レベルの SNMP トラップが発生しました。				
0x0011	警告	0x00012411	ホスト上のドライバーで警告レベルの SNMP トラップが発生しました。				
0x0012	障害	0x00012412	ホスト上のドライバーが使用できない状態です。				
0x0300	障害	0x00012412	ホスト上のサービスで障害レベルの SNMP トラップが発生しました。				
0x0301	警告	0x00012411	ホスト上のサービスで警告レベルの SNMP トラップが発生しました。				
0x0302	障害	0x00012412	ホスト上のサービスの起動に失敗しました。				
0x0303	障害	0x00012412	ホスト上のサービスが予期せず停止しました。				
0x0600	障害	0x00012412	ハイパーバイザーで障害レベルの SNMP トラップが発生しました。				
0x0601	警告	0x00012411	ハイパーバイザーで警告レベルの SNMP トラップが発生しました。				
0x0700	障害	0x00012412	仮想マシンで障害レベルの SNMP トラップが発生しました。				
0x0701	警告	0x00012411	仮想マシンで警告レベルの SNMP トラップが発生しました。				
0x1000	障害	0x00012412	CPU 使用率が、性能監視設定で指定した障害のしきい値を超えました。			性能情報を確認して、問題があれば対処してください。	-
0x1001	警告	0x00012411	CPU 使用率が、性能監視設定で指定した警告のしきい値を超えました。				

アラートID	アラートレベル	イベントID (JP1 アラート通知)	アラートテキスト	対処	備考
0x1010	障害	0x00012412	メモリー使用率が、性能監視設定で指定した障害のしきい値を超えました。		
0x1011	警告	0x00012411	メモリー使用率が、性能監視設定で指定した警告のしきい値を超えました。		
0x1020	障害	0x00012412	ディスク使用率が、性能監視設定で指定した障害のしきい値を超えました。		
0x1021	警告	0x00012411	ディスク使用率が、性能監視設定で指定した警告のしきい値を超えました。		
0x1030	障害	0x00012412	ディスク I/O 量が、性能監視設定で指定した障害のしきい値を超えました。		
0x1031	警告	0x00012411	ディスク I/O 量が、性能監視設定で指定した警告のしきい値を超えました。		
0x1032	障害	0x00012412	I/O 待ちキューの長さが、性能監視設定で指定した障害のしきい値を超えました。		
0x1033	警告	0x00012411	I/O 待ちキューの長さが、性能監視設定で指定した警告のしきい値を超えました。		
0x1040	障害	0x00012412	ネットワークパケットが、性能監視設定で指定した障害のしきい値を超えました。		
0x1041	警告	0x00012411	ネットワークパケットが、性能監視設定で指定した警告のしきい値を超えました。		
0x1100	警告	0x00012411	ブレードの構成情報が変更され、N+M コールドスタンバイができなくなりました。N +M コールドスタンバイグループ内の現用および予備ブレードのブレード状態を参照して対処してください。	N+M コールドスタンバイグループ内の現用および予備ブレードのブレード状態を参照して対処してください。	
0x1200	障害	0x00012412	未対応のアラートが発生しました。(保守情報:<保守情報>)	管理対象サーバに対応している Compute Systems Manager のバージョンを確認し、Compute Systems Manager をアップグレー	

アラート ID	アラートレベル	イベント ID (JP1 アラート通知)	アラートテキスト	対処	備考
				ドしてください。	

このマニュアルの参考情報

ここでは、このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明します。

- [A.1 関連マニュアル](#)
- [A.2 このマニュアルでの表記](#)
- [A.3 英略語](#)
- [A.4 KB（キロバイト）などの単位表記について](#)

A.1 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- *Hitachi Command Suite Compute Systems Manager ユーザーズガイド* (3021-9-096)
- *Hitachi Command Suite Compute Systems Manager 導入・設定ガイド* (3021-9-097)
- *Hitachi Command Suite Compute Systems Manager CLI リファレンスガイド* (3021-9-099)
- *Hitachi Command Suite Compute Systems Manager REST API リファレンスガイド* (3021-9-101)
- *Hitachi Command Suite メッセージ* (3021-9-011)

A.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品名を次のように表記しています。

表記	製品名
Device Manager	Hitachi Device Manager
Global Link Manager	Hitachi Global Link Manager
JDK	Java Development Kit
Linux	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">• Oracle Enterprise Linux®• Oracle Linux®• Red Hat Enterprise Linux®• SUSE Linux® Enterprise Server
Replication Manager	Hitachi Replication Manager
Tiered Storage Manager	Hitachi Tiered Storage Manager
Tuning Manager	Hitachi Tuning Manager
VMware ESXi	VMware vSphere® ESXi™

A.3 英略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
API	Application Programming Interface
BMC	Baseboard Management Controller
CLI	Command Line Interface
CNA	Converged Network Adapter
CSV	Comma-Separated Values
DCMI	Data Center Management Interface
DCOM	Distributed Component Object Model
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
EFI	Extensible Firmware Interface
FC	Fibre Channel
FCoE	Fibre Channel over Ethernet
GUI	Graphical User Interface

英略語	英字での表記
HBA	Host Bus Adapter
HVM	Hitachi Virtualization Manager
I/O	Input/Output
IPMI	Intelligent Platform Management Interface
LPAR	Logical PARTition
LU	Logical Unit
MAC	Media Access Control
MIB	Management Information Base
NIC	Network Interface Card
NTP	Network Time Protocol
NUMA	Non-Uniform Memory Access
OID	Object IDentifier
PCI	Peripheral Component Interconnect
PXE	Preboot eXecution Environment
SAN	Storage Area Network
SMP	Symmetrical Multi Processing
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SOAP	Simple Object Access Protocol
SR-IOV	Single Root I/O Virtualization
SSH	Secure SHell
SVP	SerVice Processor
UEFI	Unified Extensible Firmware Interface
VF	Virtual Function
VM	Virtual Machine
VNIC	Virtual Network Interface Card
WinRM	Windows Remote Management
WMI	Windows Management Instrumentation
WOL	Wake-On-Lan
WWN	World Wide Name
WWPN	World Wide Port Name
XML	eXtensible Markup Language

A.4 KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト）、1MB（メガバイト）、1GB（ギガバイト）、1TB（テラバイト）はそれぞれ $1,024$ バイト、 $1,024^2$ バイト、 $1,024^3$ バイト、 $1,024^4$ バイトです。

